

(6回路シーンコントローラー 高機能タイプ)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。

お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

※施工手順

本体設置準備 ⇒ 負荷結線 ⇒ 本体設置 ⇒ 点灯確認 ⇒ 負荷設定

目次

はじめに

■安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S2

シーンコントローラーについて

■仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S3

■接続できる照明器具(負荷)について・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S4

施工について

■各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S5

■システム図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S6

■施工前の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S7

■施工上に関するお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S7

■配線図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S7～S10

■施工手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S11

■点灯確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S14

負荷の設定方法 **!** 正常に動作させるために必ず行ってください。

■負荷設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S15

故障かな?と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S16

ご使用に関して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.S17

安全上のご注意

必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下図は図記号の一例です。)

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。



してはいけない内容です。

警告

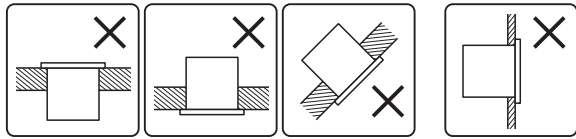
●取付面

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。

- 指定場所以外には取付けない
火災・落下の原因となります。
※この器具は壁面取付専用(埋込式)です。



厳守



- 取付面の強度を確保する
取付面が強度不足の場合、落下の原因となります。



水ぬれ禁止

- 湿気の多い場所や屋外では使用しない
火災・感電の原因となります。
※この器具は非防水です。

- 周囲温度 5～35℃以外では使用しない
火災の原因となります。

- ガス機器等の温度の高くなるものの近くに取付けない
火災の原因となります。

- 器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない
火災・感電・落下の原因となります。



禁止

- 最大負荷容量を超えて使用しない
発熱し、火災の原因となります。取付状態によって最大負荷容量が異なります。
下記の範囲内でご使用ください。
取付壁面断熱施工なし：6回路合計 900VA
取付壁面断熱施工あり：6回路合計 450VA
※1回路あたりの接続可能容量は「適合負荷について」(P.54)をご参照ください。

- 負荷側にコンセントを設置しない
発熱し、火災の原因となります。

- 負荷、配線を短絡させない
破損の原因となります。

●その他

- 取付けは器具本体表示または本説明書に従って確実に
取付けに不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電の原因となります。

- 曲がったり、傷ついたり、変色した電線を使用しない。
火災の原因となります。

- 電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

- LANケーブル・コネクタは最後まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災・操作不良の原因となります。

- 器具を壁面の造営材・ダクト等の設備に接触させない
火災・感電の原因となります。

- 屋内配線の電源・LANケーブル等は器具に接触させない
火災・感電の原因となります。

- 当社製適合照明器具を使用する
指定以外の照明器具と組み合わせて使用すると、火災・故障の原因となります。

※照明器具の注意事項については、照明器具の説明書をご確認ください。



分解禁止

- 器具の改造、部品の変更は行わない
火災・感電・落下等の原因となります。

注意

厳守

- 器具には寿命があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。
※目安として、使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間使用。
周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。



禁止

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付ける
乾燥が不十分な場合、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

- リモコンを落としたり、踏まない
故障の原因となります。

仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品名	6回路シーンコントローラー	
品番	DP-41924E / DP-41924BE	
定格電圧	交流 100V	
周波数	50/60Hz共用	
使用温度／相対湿度	5～35℃／40～85%RH	
回路数	6回路	
記憶シーン数	6シーン	
OFFタイマー	10・30秒・1・10・30・60分から設定	
シーン・回路の切替時間	0～60秒・2～99分の範囲で設定(初期設定2秒)	
負荷容量	断熱施工なし	900VA
	断熱施工あり(※1)	450VA
適合調光信号線(※2)		CPEV-1P ϕ 0.9～1.2(シールド付)
適合LANケーブル(※3)		カテゴリ5以上 STPケーブル ストレート(EIA/TIA-568B)

※1：接続負荷ではなく、本器取付壁面が断熱施工の場合です。

※2：1回路あたり最大100m以内で使用してください。

※3：総配線長50m以内で使用してください。

●スイッチボックス取付専用です。〔4個用スイッチボックス(カバー付)金属製〕

●適合照明器具専用です。

●子器、ブースターを使用する場合は、必ず適合子器、ブースターを使用してください。

＜適合部品(別売)＞

品名		品番
6回路シーンコントローラー子器		DP-41925E / DP-41925BE
6回路シーンコントローラー ブースター	逆位相制御・調色调光信号線不要タイプ	DP-41926E / DP-41926BE
	PWM制御・ON/OFF	DP-41927 / DP-41927B
	位相制御・調色调光信号線不要タイプ	DP-42053E / DP-42053BE

接続できる照明器具(負荷)について

- 接続する負荷によって負荷設定をする必要があります。
「負荷」とはシーンコントローラーに接続する照明器具のことを指します。
 - リモコン照明器具、センサー機能付照明器具、プルレス機能付照明器具は接続できません。
 - 1回路に違う種類の負荷を混在させないでください。必ず同じ負荷を接続してください。
(負荷の種類は下記をご参照ください。)
 - 他社製の蛍光灯、LED照明器具、電子トランスは接続できません。
 - 当社指定以外のLEDランプは接続できません。
 - シーンコントローラーの6回路総負荷容量は900VA(※450VA)までです。
(※取付壁面が断熱施工時の負荷容量です。)
 - 各回路に接続できる負荷容量は、種類により異なります。
- ※適合負荷はP.S4、負荷設定の方法はP.S15をご参照ください。

●負荷の種類

- L1：LED調光モード(逆位相制御)
- L2：白熱灯調光モード(逆位相制御)
- L3：ON-OFFモード
- L4：LED調光モード(PWM制御)
- L5：LED調光・調色モード(PWM制御)
- L6：LED調光・調色モード(信号線不要タイプ)

適合負荷

●接続する負荷によって負荷設定をする必要があります。

※リモコン照明器具、センサー機能付照明器具、プルレス機能付照明器具は接続できません。

※設定方法はP.S15をご参照ください。

断熱施工なし 6回路合計 900VAまで

負荷の種類	接続可能容量(1回路あたり)
LED(PWM制御 調色・調光タイプ)	器具台数10台(※)まで、但し300VAまで
LED(PWM制御 調光タイプ)	器具台数20台まで、但し300VAまで
LED(PWM制御タイプ)温調タイプ	器具台数20台まで、但し300VAまで
LED(信号線不要 調色調光タイプ)	1台～300VAまで
LED(調光タイプ)	1台～300VAまで
LED(非調光タイプ)	1台～300VAまで
LED電球タイプ	3灯～300VAまで
LED DECO-S	3灯～300VAまで
白熱灯	300Wまで

断熱施工あり 6回路合計 450VAまで

負荷の種類	接続可能容量(1回路あたり)
LED(PWM制御調色・調光タイプ)	器具台数5台(※)まで、但し200VAまで
LED(PWM制御調光タイプ)	器具台数10台まで、但し200VAまで
LED(PWM制御タイプ)温調タイプ	器具台数10台まで、但し200VAまで
LED(信号線不要 調色調光タイプ)	1台～200VAまで
LED(調光タイプ)	1台～200VAまで
LED(非調光タイプ)	1台～200VAまで
LED電球タイプ	3灯～200VAまで
LED DECO-S	3灯～200VAまで
白熱灯	200Wまで

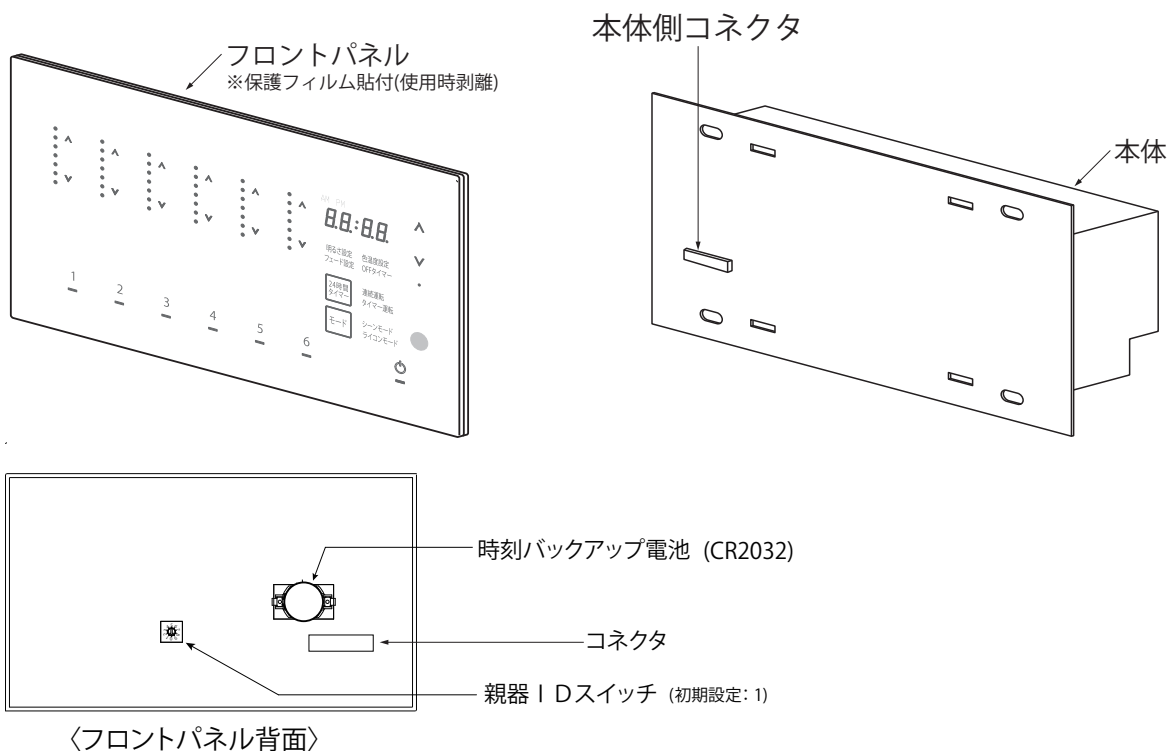
【LED信号線不要 調色調光タイプについて】

以下の動作になる場合がありますが、器具の仕様によるものであり、異常ではありません。

- ・シーン切替時に他の器具に比べて動作が遅い場合があります
- ・オフタイマー経過後、消灯するまで最大約8秒かかる場合があります。
- ・電源投入直後、負荷設定時に初期化動作(点灯→消灯)が実施されます。

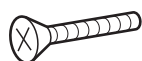
各部の名称

※下図は、簡略した図です。

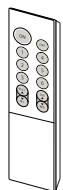


付属部品

取付けする前にまず付属部品をご確認ください



□取付ネジ(4本)



□リモコン送信機



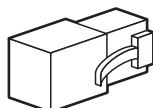
□リモコンホルダー



□サラ木ネジ(2本)

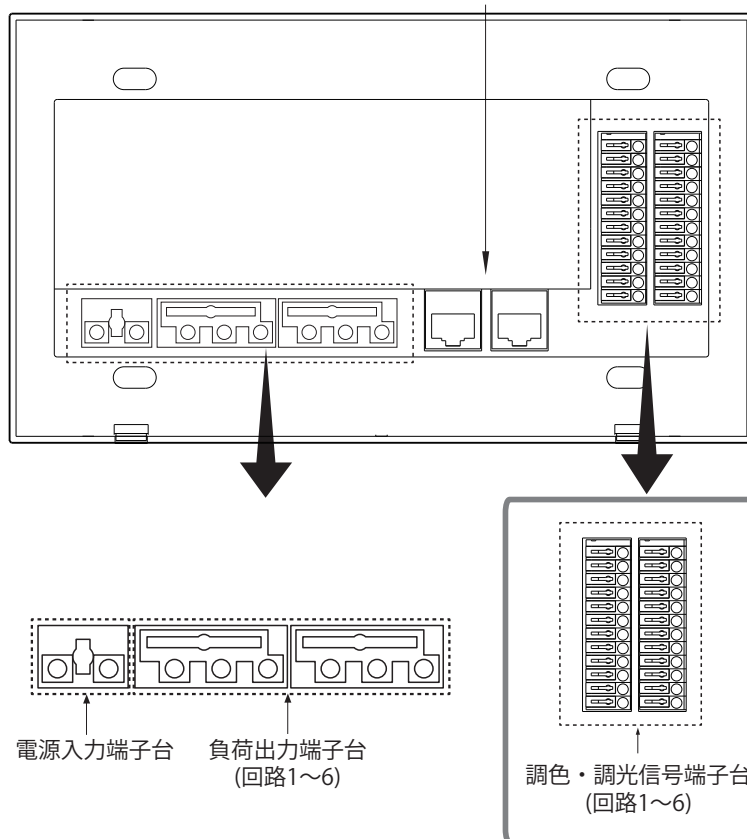


□単4形電池(2本)



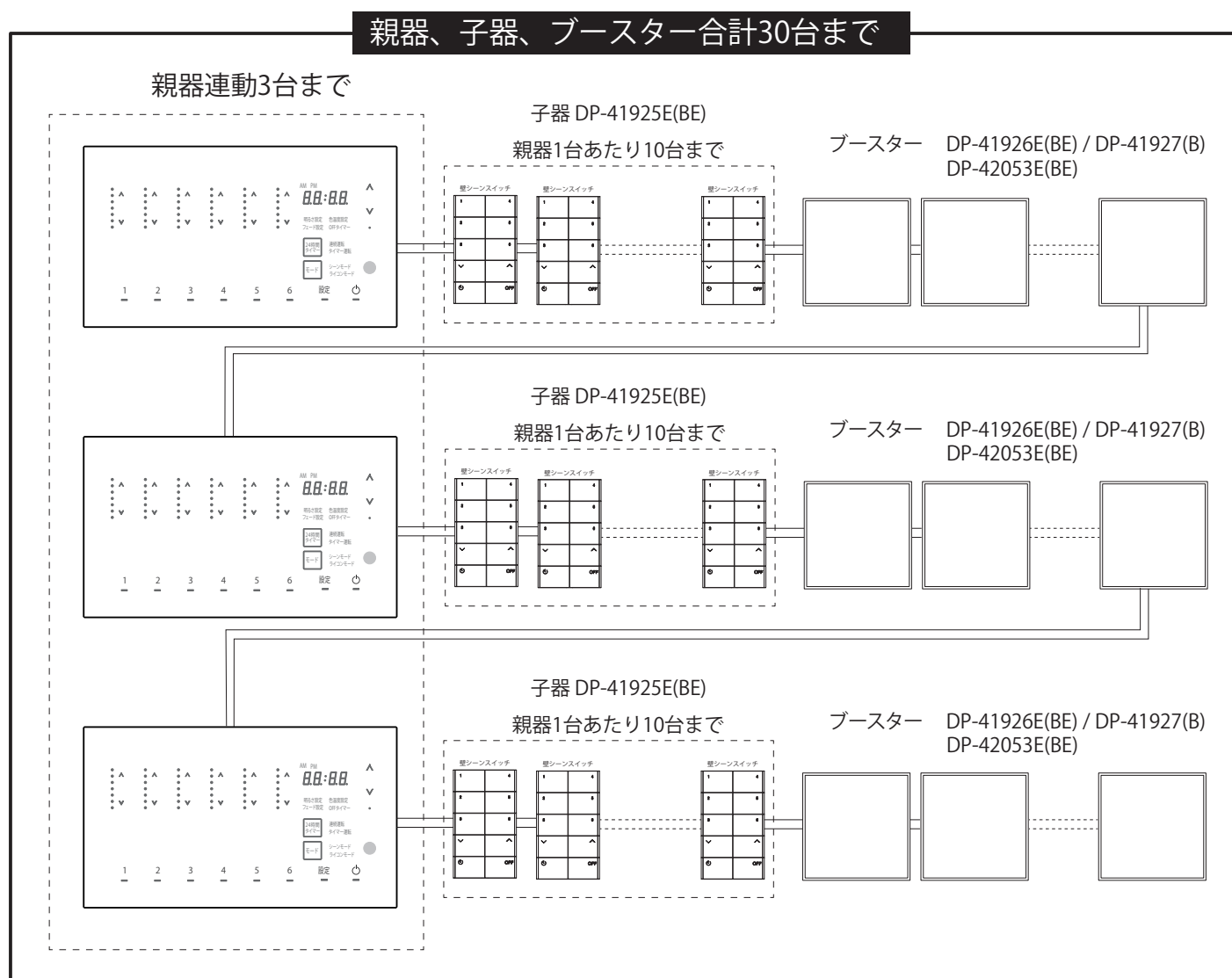
□終端コネクタ(2個)

＜本体裏面＞



システム図

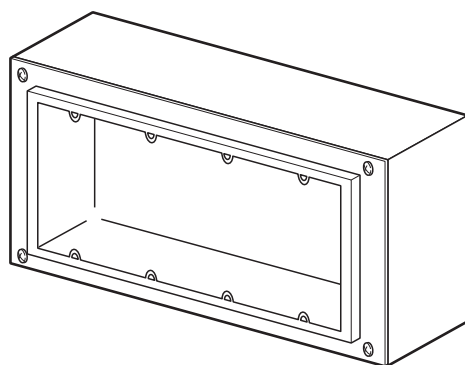
- 複数のシーンコントローラー(3台まで)をLANケーブルで接続してシーンを連動動作させることができます。親器の連動機能をご使用になる場合は、連動させるシーンコントローラーのID設定を行ってください。〔初期設定：親器（ID：1）〕※設定方法はP.514をご参照ください。
- 子器(DP-41925E(BE)(別売))は親器1台あたり10台まで接続可能です。
- ブースター(DP-41926E(BE)、DP-41927(B)、DP-42053E(BE))を使用することで、照明器具の接続台数を増設することができます。
- 1システムあたりの親器、子器、ブースターの最大接続台数は合計30台です。



- ・親器を連動させる場合は、親器ごとに重複しないようにID設定を行ってください。
- ・親器のID設定に合わせて、子器、ブースターのID設定を行ってください。詳細はDP-41925E(BE)、DP-41926E(BE)、DP-41927(B)の取扱説明書をご参照ください。
- ・正しくID設定を行わないと、正常に動作しません。
- ・4回路シーンコントローラー(DP-37643)と6回路シーンコントローラー(DP-39093)を混在して連動させることはできません。

施工前の確認

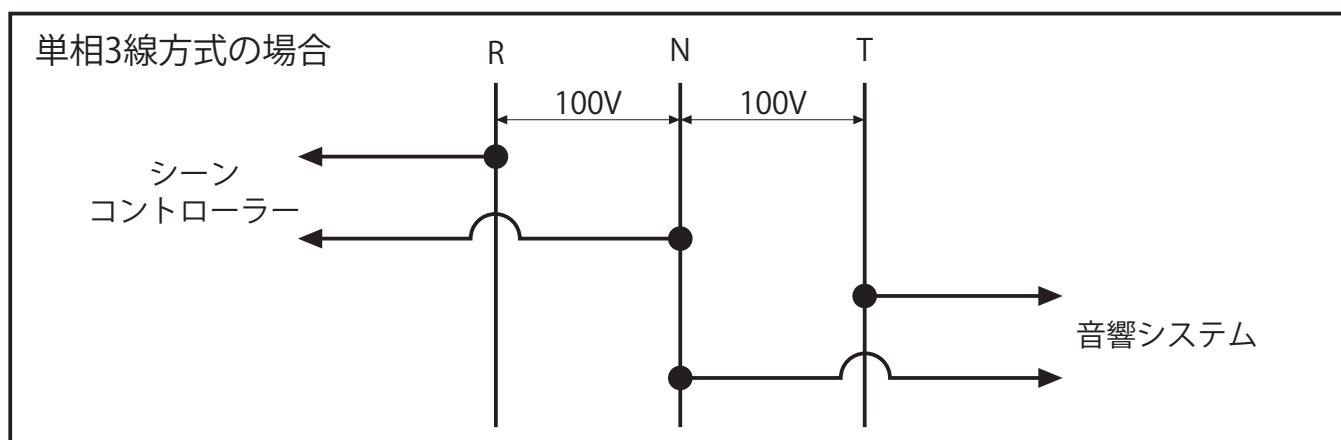
- 器具の取付けにはスイッチボックス(市販品)を使用してください。
- ※樹脂のスイッチボックスは使用できません。



4個用スイッチボックス(カバー付)
金属製

施工上に関するお願い

- 負荷出力は絶対に短絡させないでください。本器が故障する原因となります。
- 電源線、負荷線、調光信号線、LANケーブルの配線を間違えないようにしてください。本器、照明器具が故障する原因となります。
- 調光信号線はCPEV-1P ϕ 0.9~1.2(シールド付)を使用し、1回路あたり100m以内で使用してください。
- LANケーブルはカテゴリ5以上 STPケーブル ストレート(EIA/TIA-568B)を使用し、総配線長50m以内で使用してください。
- 本器は单相100V専用です。
- 本器は雑音防止装置を内蔵していますが、ラジオや音響システムに雑音障害を及ぼす場合がありますので、下記の対策を実施してください。
 - ※シーンコントローラーと音響システムは別の電源にしてください。または電源を別相にしてください。
 - ※シーンコントローラーと音響システムやアンテナ、配線、アース線とは1m以上離してください。
 - ※音響システムのアースを確実にとってください。



- 電源が单相3線式で、消費電力が1kw以上の機器がある場合は、その機器とは電源を別相にしてください。
- 電源波形にひずみが生じ、照明がちらつく場合があります。

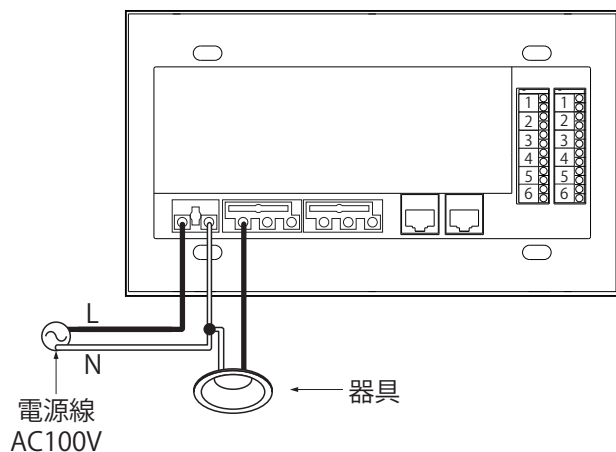
配線図

<LED調光(逆位相0制御)・(位相制御)>

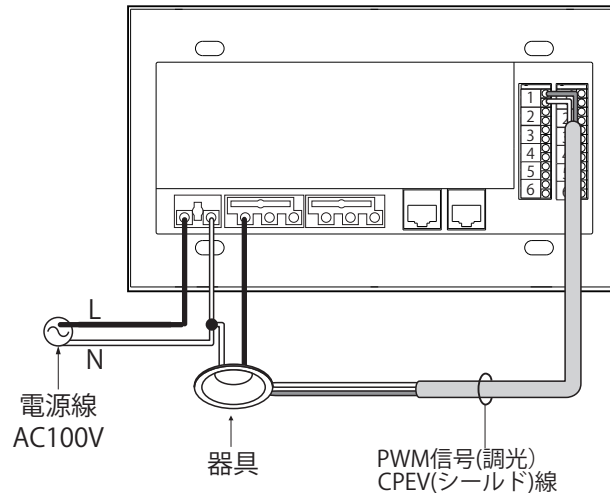
<白熱灯調光(逆位相制御)>

<ON-OFF>

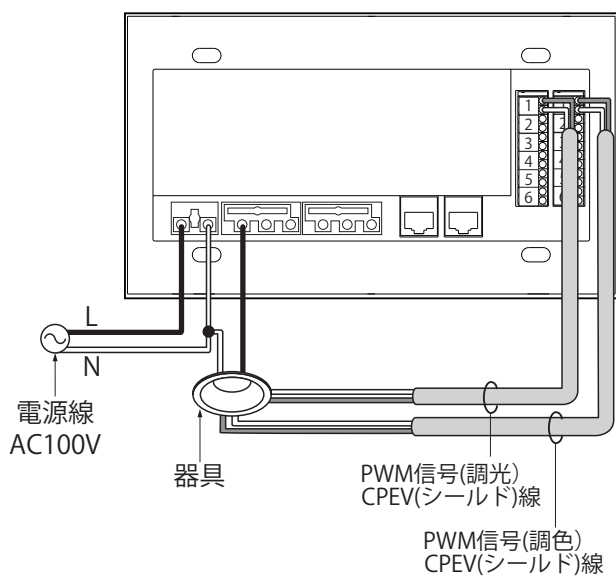
<LED調色調光(信号線不要タイプ)>



<LED調光(PWM制御)>



<LED調色調光(PWM制御)>



⚠ 警告

負荷側にコンセントを設置しないでください。定格負荷を超え、異常発熱や火災の原因となります。

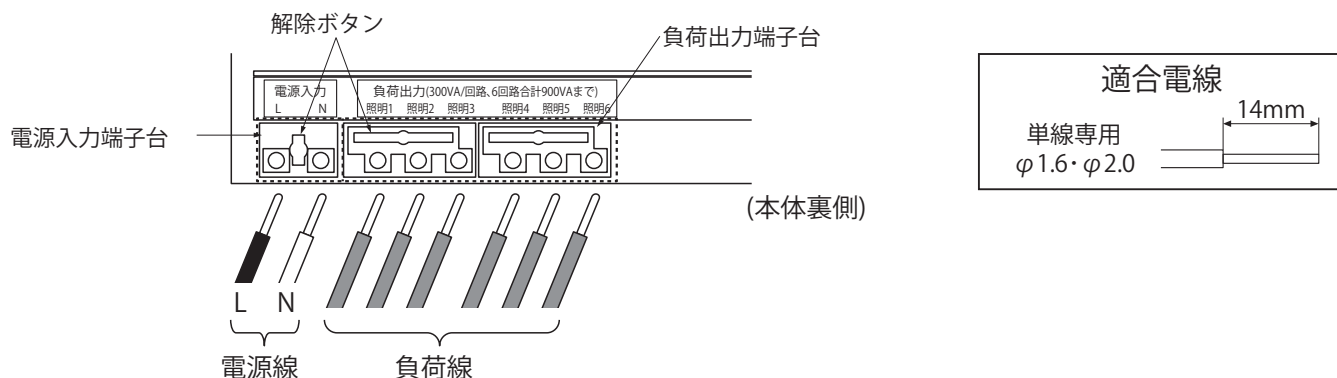
誤結線や負荷の両端を短絡させないでください。調光器内部の半導体が一瞬でこわれ、火災の原因となります。

施工手順

安全のため、電源を切ってから行ってください。

1 電源線・負荷線を接続する

- 電源線を電源入力端子台、負荷線を負荷出力端子台に適切、確実に差し込んでください。
- ※本器はニュートラル線が必要です。必ずニュートラル線を電源線のN側に接続してください。
- ※照明器具からのニュートラル線は外部で接続する必要があります。接続にはジョイントボックスを使用してください。(金属ボックス内で接続することはできません。)
- ※ニュートラル線は1ヶ所でまとめて接続してください。外来ノイズによるちらつきの原因となります。
- ※配線についてはP.S8をご参照ください。

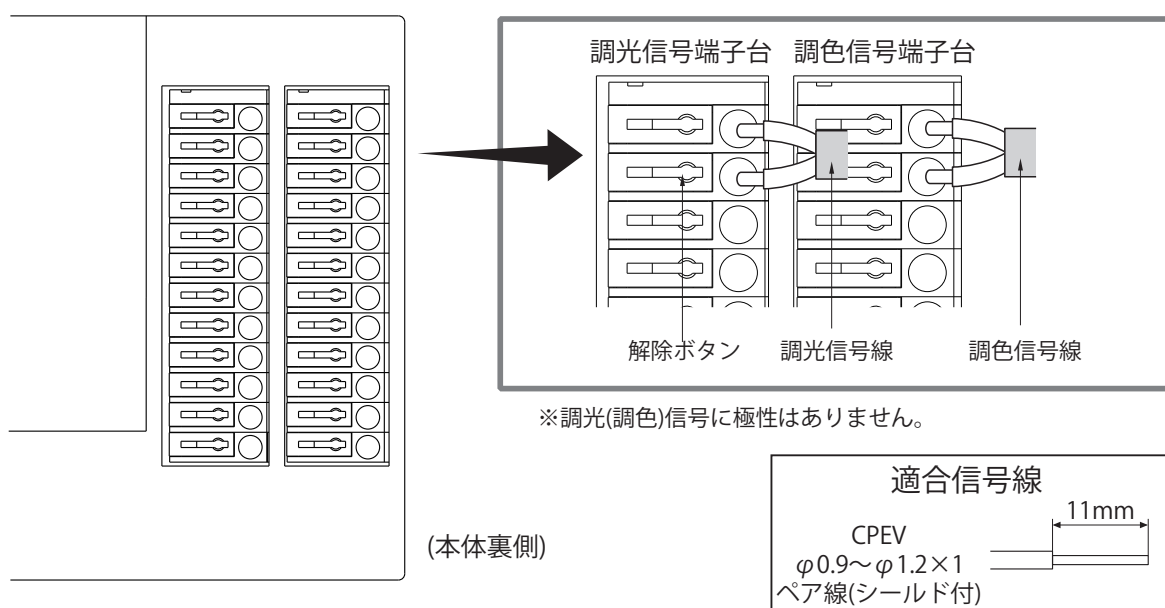


電源線・負荷線を取外す場合は、ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線・負荷線を引き抜いてください。

2 調光信号線を接続する

<LED調色調光タイプ(PWM制御)、LED調色調光タイプ(PWM制御)を使用する場合>

- 調光信号線を調光信号端子台に適切、確実に差し込んでください。
- ※調光信号線は1回路あたり100m以内にしてください。
- ※配線についてはP.S8をご参照ください。



調光信号線を取外す場合は、ドライバー等で解除ボタンを押しながら、調光信号線を引き抜いてください。

3) LANケーブルを接続する

＜シーンコントローラー、シーンコントローラー子器、ブースターを連動させる場合＞

●LANケーブルをLANケーブル差込口に確実に差し込んでください。

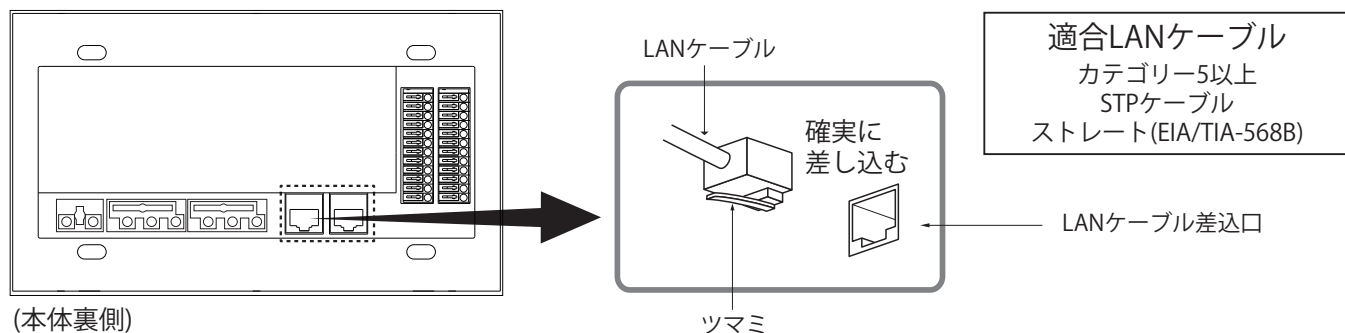
※LANケーブルは短絡させないでください。本器が故障する原因となります。

※LANケーブルの総配線長さは50m以下にしてください。

※LANケーブルはスイッチングハブ等で分岐させないでください。故障の原因となります。

※連動台数は、シーンコントローラー3台+シーンコントローラー子器10台までです。

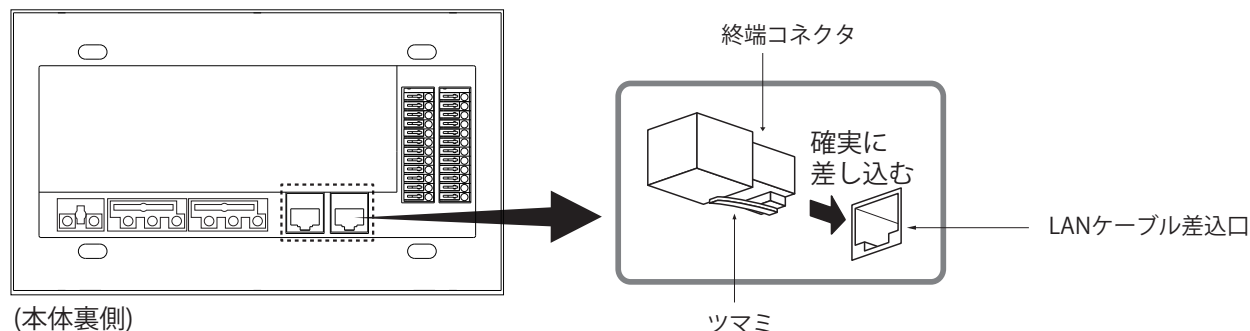
※LANケーブルは器具には付属していません。別途ご用意ください。



LANケーブルを取外す場合はツマミを押しながら引き抜いてください。

4) 終端コネクタを取付ける

●終端コネクタを使用していないLANケーブル差込口に確実に差し込んでください。

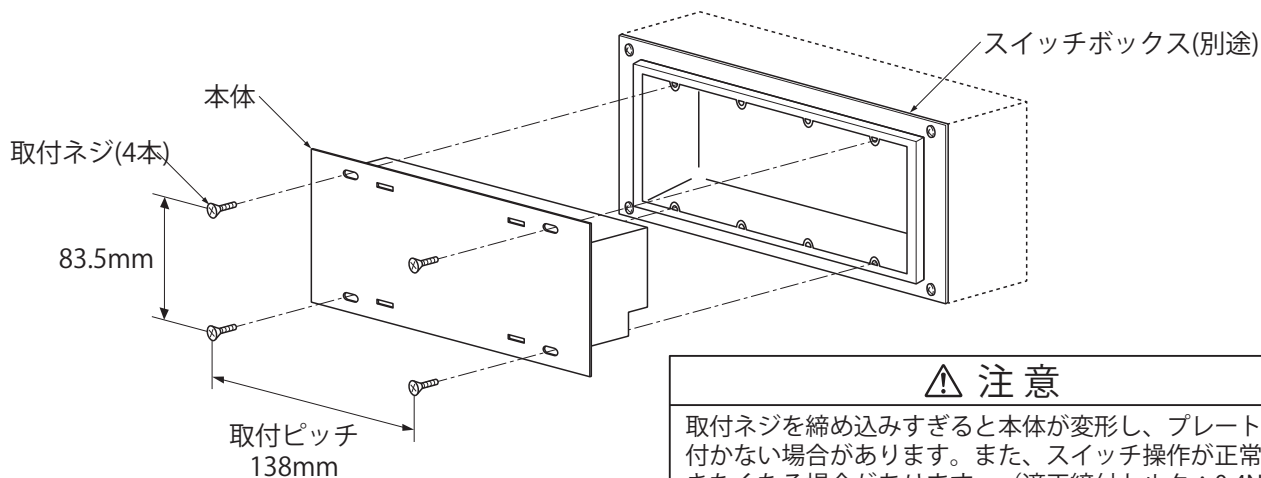


終端コネクタを取外す場合はツマミを押しながら引き抜いてください。

5 本体を取付ける

●本体をスイッチボックスに合わせ、取付ネジ(4本)で確実に締め付け固定してください。

※スイッチボックスは器具に付属していません。別途ご用意ください。



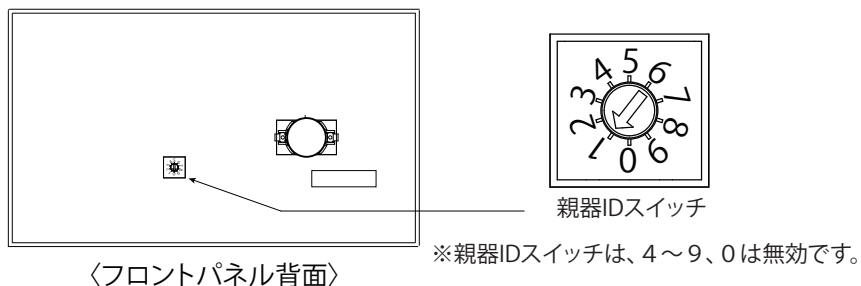
⚠ 注意

取付ネジを締め込みすぎると本体が変形し、プレートが取付かない場合があります。また、スイッチ操作が正常にできなくなる場合があります。(適正締め付トルク: 0.4N・m)

6 親器IDを設定する(複数の親器を連動して使用する場合)

●フロントパネル裏面の「親器IDスイッチ」で、ID1~3に設定してください。(IDは重複しないようにしてください)

●親器IDスイッチでの設定は、通電前の1回のみ有効となります。通電後に親器IDを変更する場合は、フロントパネルで設定をおこなってください。

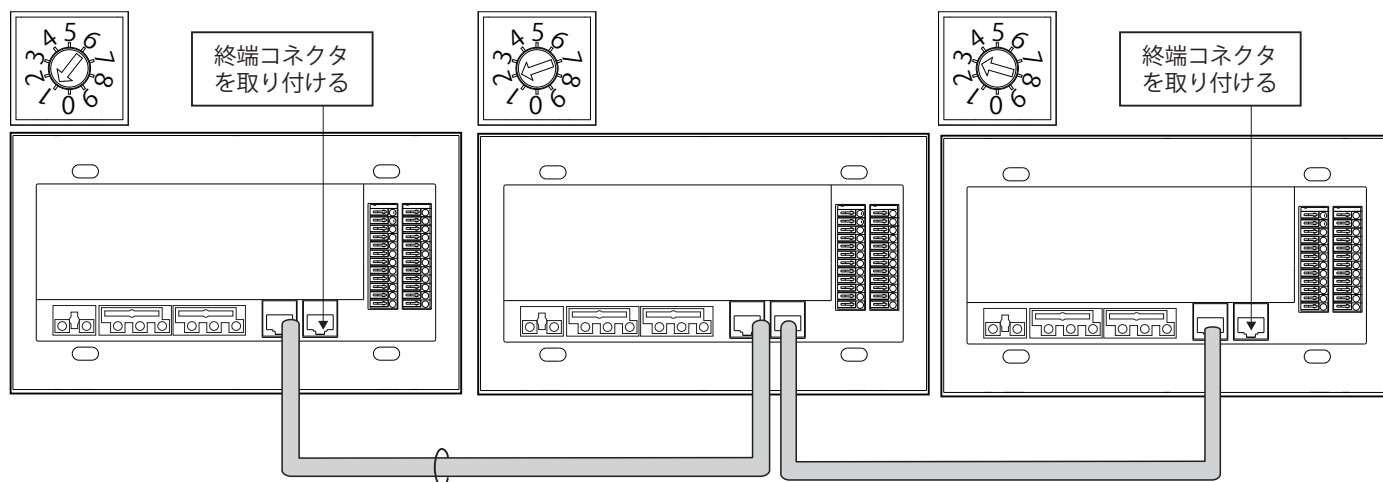


<例：親器3台を連動させる場合>

●親器IDスイッチを「1」に設定する。

●親器IDスイッチを「2」に設定する。

●親器IDスイッチを「3」に設定する。



LANケーブル カテゴリー5以上
STPケーブル ストレート(EIA/TIA-568B)

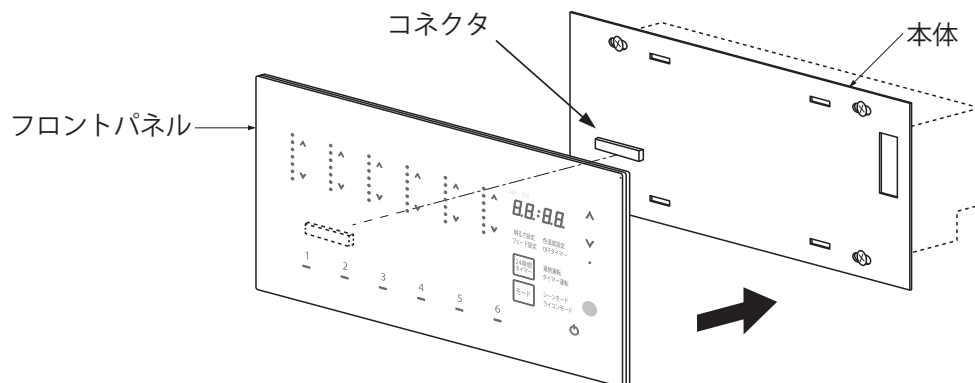
7) フロントパネルを取付ける

●フロントパネルのコネクタを本体側のコネクタに合わせ、確実に取付けてください。

※コネクタを破損させないようにご注意ください。

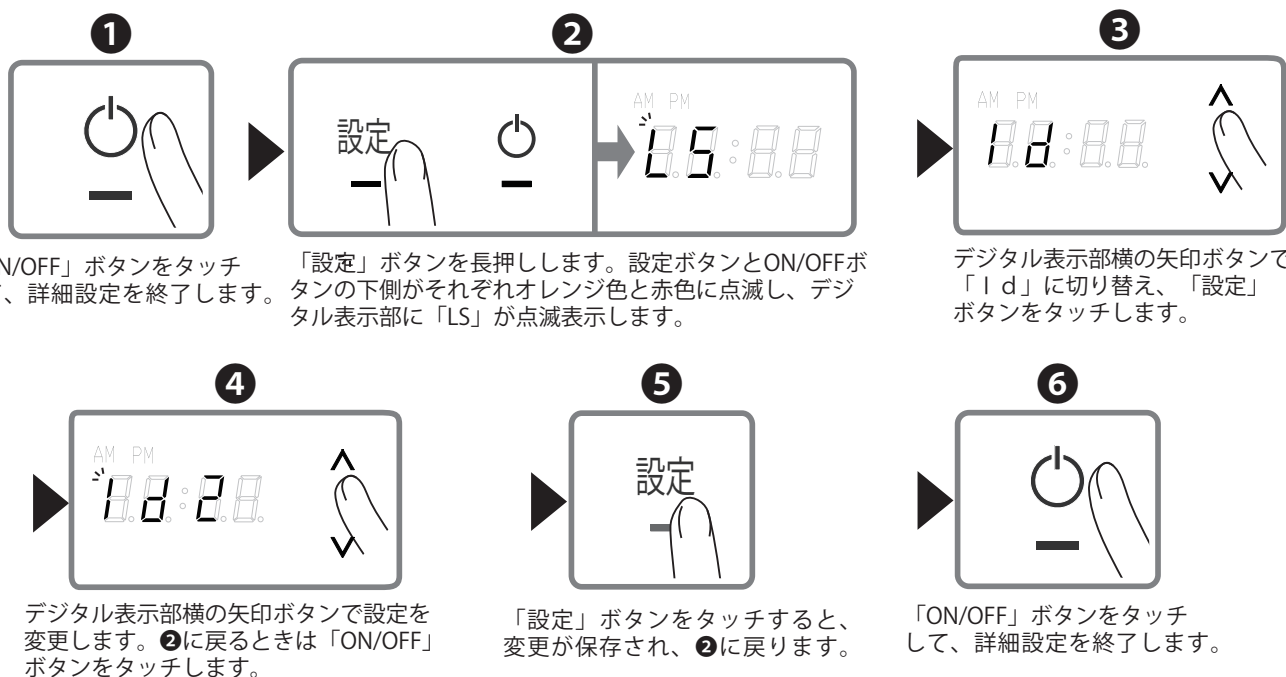
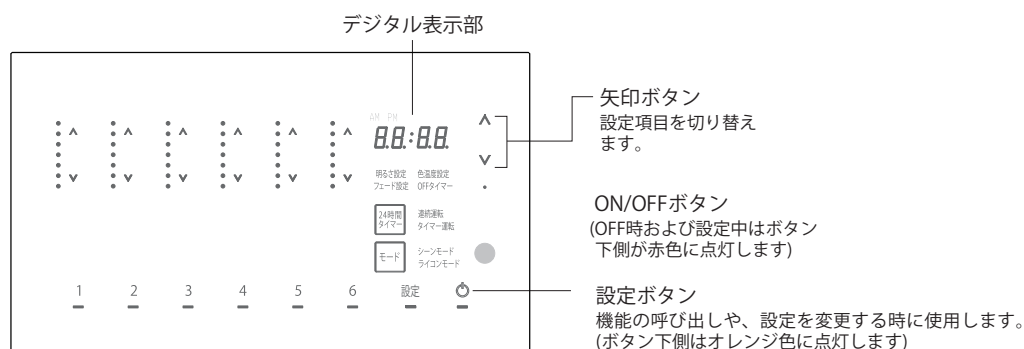
※フロントパネル表面に、キズ防止用の保護フィルムを張り付けています。

必ずご使用前に保護フィルムを外してご使用ください。



8) 親器 I Dを設定する（複数の親器を連動して使用する場合）

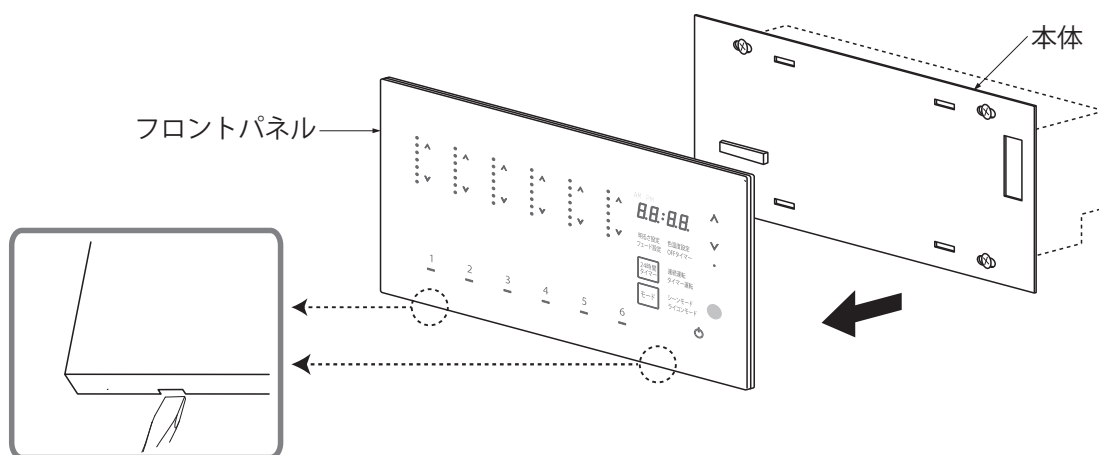
●フロントパネルから親器 I Dの設定・変更ができます。



9) フロントパネルの外し方

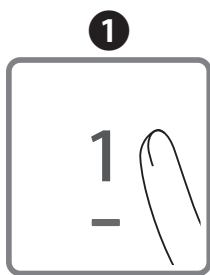
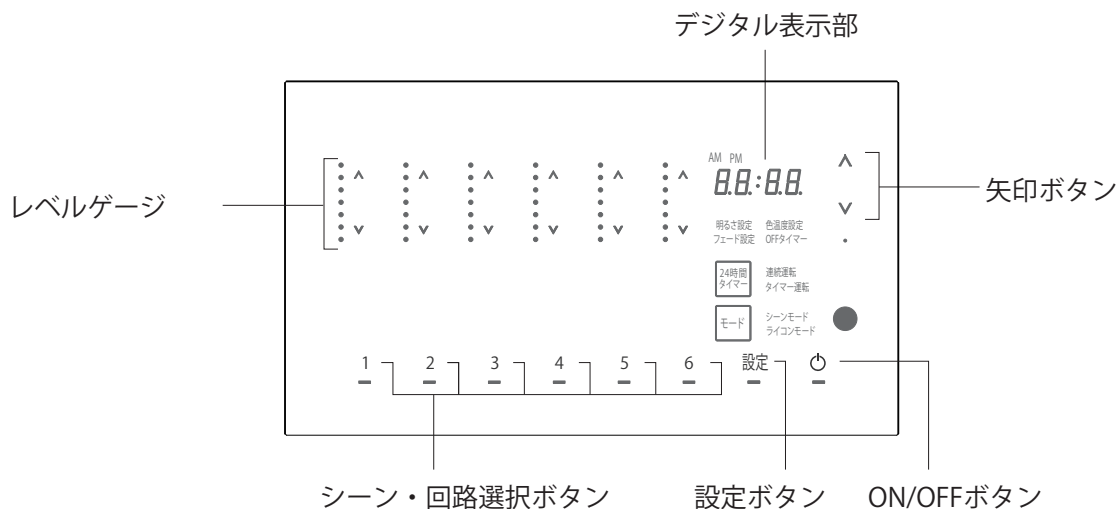
- フロントパネル下側の切欠（二か所）にマイナスドライバーを挿し込み、ドライバーを引き上げフロントパネルをまっすぐ取り外します。

※コネクタを破損させないようにご注意ください。

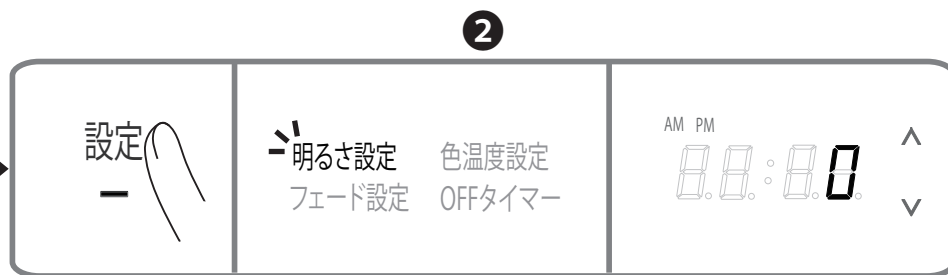


点灯確認

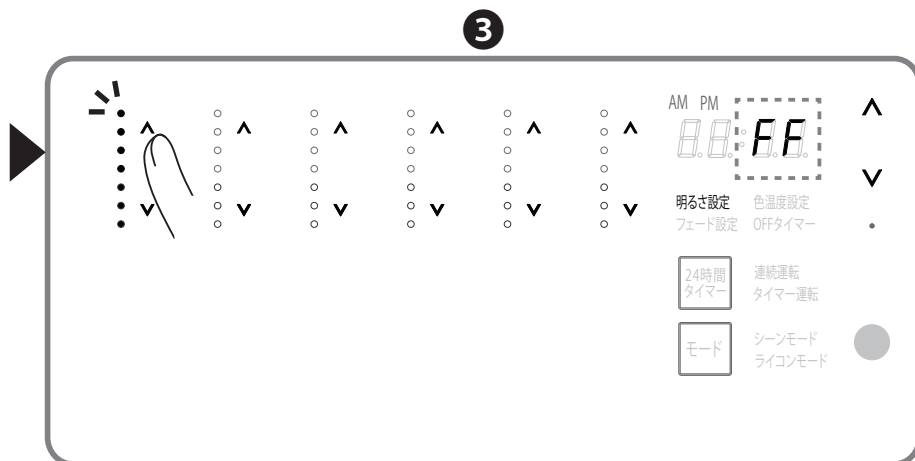
- 1回路ごとに照明器具の点灯が操作できることを確認してください。
(初期設定は 負荷設定：L3 (ON-OFFモード)、明るさ：0 です。)



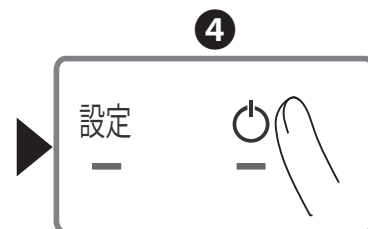
「1」～「6」ボタンいずれかをタッチしてください。



「設定」ボタンをタッチします。「明るさ設定」がオレンジ色に点灯します。



各回路(「1」～「6」)の矢印ボタンをタッチして、各回路に接続されている照明器具が点灯
消灯できることを確認してください。
※100%点灯は「FF」と表示されます。

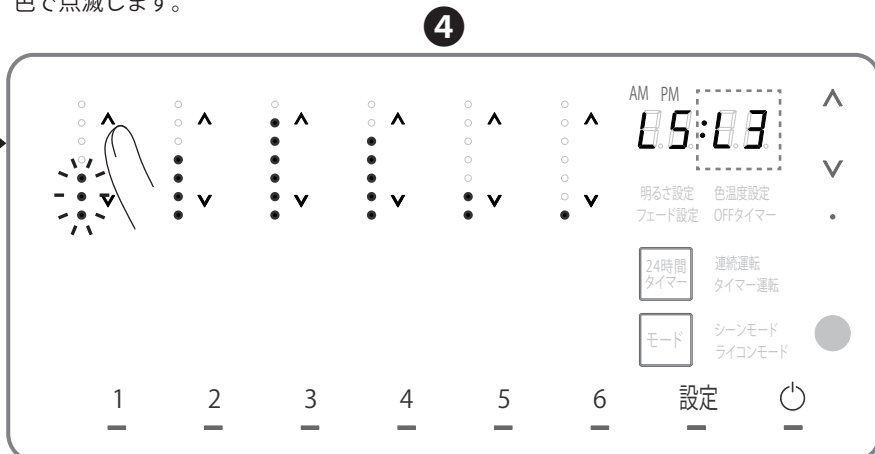
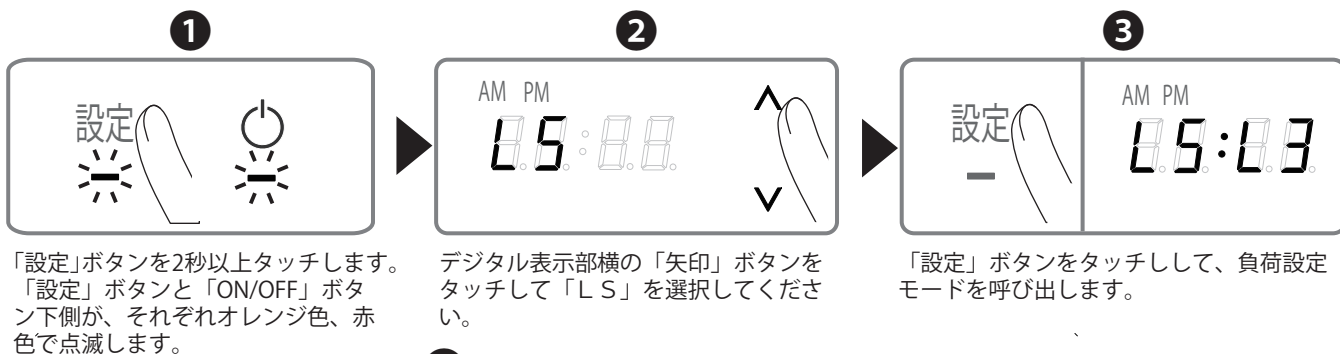
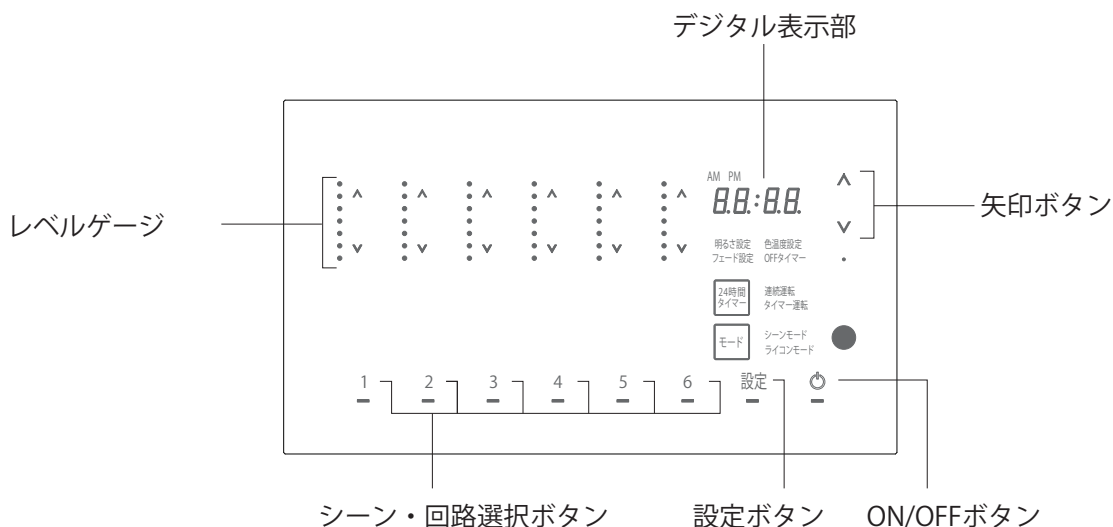


「ON/OFF」ボタンをタッチして終了します。

負荷の設定方法 ❶正常に動作させるために必ず行ってください。

負荷設定をする

- 各回路の負荷モードを設定します。
- 〔初期設定：L3 ON-OFFモード〕※負荷設定を正しく行わないと照明器具は正しく点灯しません。

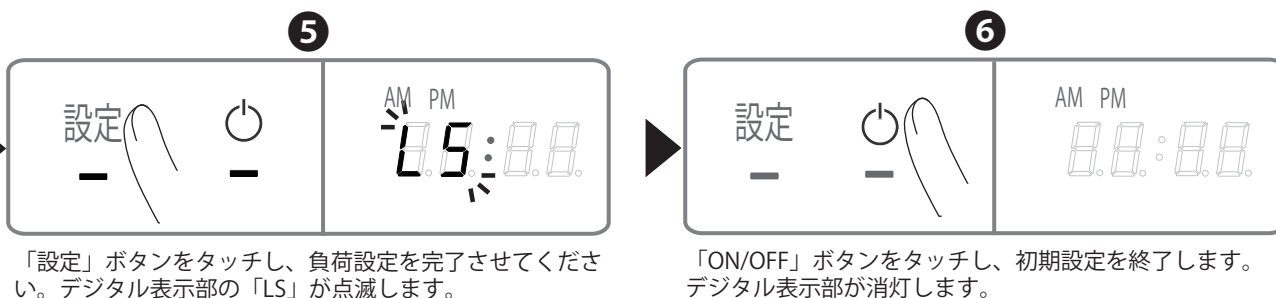


●負荷設定一覧

L1	LED調光モード(逆位相制御)
L2	白熱灯調光モード(逆位相制御)
L3	ON-OFFモード
L4	LED調光モード(PWM制御)
L5	LED調光・調色モード(PWM制御)
L6	LED調光・調色モード(信号線不要タイプ)

各回路(「1」～「6」)の矢印ボタンをタッチして、各回路に接続されている負荷に合わせて設定してください。レベルゲージの光っている数＝負荷設定番号です。

(上記は、回路1：L3、回路2：L4、回路3：L6、回路4：L5、回路5：L2、回路6：L1の設定例です。)



故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
ボタン・表示部が点灯しない	電源線が正しく接続されていない。	電源線を確認し、正しく接続してください。
	電源線を誤って負荷出力端子台または調光信号端子台に接続している。	本器の安全機能が作動している可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
	負荷線を短絡させた。	本器が安全機能が作動している可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
操作できない	電源が切れている。	電源を入れてください。
	キーロックが設定されている。	キーロックを解除してください。 (取扱説明書 P.16参照)
LEDが調光できない	負荷設定が間違っている。	負荷設定をやりなおしてください。 (負荷設定をする P.12参照)
LEDがちらつく	負荷設定が間違っている。	負荷設定をやりなおしてください。 (負荷設定をする P.12参照)
	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。
	電源が単相3線の場合で消費電力が1kw以上の機器がある。	電源の相を分けてください。
子器が操作できない (子器のON/OFFボタンが点滅している)	子器のキーロックが設定されている。	子器のON/OFFボタンを7秒以上長押ししてキーロックを解除してください。
子器・ブースターの表示部が点滅している	信号線の断線または誤接続。	親器、子器・ブースターのLANケーブルを差し込みなおしてください。
		適合LANケーブルではない可能性があります。LANケーブルを見直してください。

エラーコード	名称	エラー内容	処置
E:1	AC出力電流異常	過電流保護機能により、負荷器具への出力を停止しています。	定格を超えた負荷への接続や配線が短絡している可能性があります。ブレーカーを落とすなど本器への電源供給を停止したのち、接続状況をご確認ください。
E:2	PWM回路異常	PWM回路の短絡または接続台数を超過していることを検知したため、PWM出力を停止しています。	ブレーカーを落とすなど本器への電源供給を一旦停止したのち、PWM回路の接続状況をご確認ください。
E:3	通信異常(通信重複)	有線通信において衝突が発生しています。	シーンコントローラーIDの設定を確認してください。
E:4	伝送通信異常	有線通信において衝突が発生しています。	シーンコントローラーの伝送信号の配線状況をご確認ください。
E:5	内部温度異常	システム内部温度が高温となったため、負荷器具への出力を停止しています。	ブレーカーを落とすなど本器への電源供給を停止したのち、器具の設置状況をご確認ください。
E:6	ブースター動作異常	接続されたブースターに異常が発生しています。	異常がおきているブースターをご確認ください。
	親器ID重複	有線接続した親器どうしのIDが重複しています。	フロントパネルの「設定」ボタンで親器IDを変更してください。

ご使用に関して

【周囲の影響】

- 本製品の近くでは、ラジオやテレビ等の音響、映像機器に雑音が入ることがまれにあります。
- ※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

【ご注意】

- 本製品に殺虫剤などをかけたり、水分を含む布などで拭かないでください。変質・変色、さびの原因となります。

保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は3年です。
但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日
20時間以上の長時間使用の
場合は、上記の半分の期間
とします。
2. 保証書について
保証書が必要な場合は、下記
「CSセンター」までお申し出
ください。
3. 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能
部品を、製造打ち切り後最低
6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を
有する代替品含む)とは、その
製品の機能を維持するために
必要な部品です。

安全点検のお願い

1. 明るく安全にご使用いただくために6ヶ月に1回、安全点検を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

- ・LEDが切れていませんか
- ・正常に操作できますか
- ・取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか
- ・異常な臭いや音、煙、発熱はありませんか

(2)清掃 (安全のため、電源を切ってから行ってください)

- 器具のお手入れは軟らかい布で軽く拭いてください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください

2. 異常時の処置

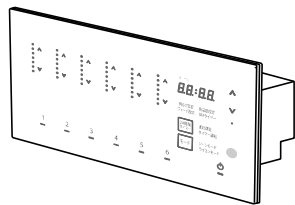
異常を感じた場合は速やかに電池を抜き、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル全国共通)へご連絡ください。

祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

取扱説明書

保管用



(6回路シーンコントローラー高機能タイプ)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。



お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
大光電機株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標
および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

目次

はじめに

- 安全上のご注意・・・・・・・・・・ P.2

シーンコントローラーについて

- シーンコントローラーとは・・・・・・・・ P.3
- 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
- 各部の名称とはたらき・・・・・・・・ P.4
- コントローラーのモードについて・・・・ P.5

<シーンモード編>

- 各シーンの明るさを設定する・・・・ P.6
- 各シーンの色温度を設定する・・・・ P.7
- フェードタイムを設定する・・・・ P.8
- シーンを呼び出す・・・・・・・・ P.9

<ライコンモード編>

- 各回路の明るさを調整する・・・・ P.10
- 各回路の色温度を調整する・・・・ P.11
- フェードタイムを設定する・・・・ P.12
- 回路を呼び出す・・・・・・・・ P.13

<シーンモード・ライコンモード共通編>

- モードを切り替える・・・・・・・・ P.14
- OFFタイマーを設定する・・・・ P.15
- ボタンによる操作を無効にする
(キーロック)・・・・・・・・ P.16
- 現在時刻を設定する P.16
- スケジュール(タイマー)を設定する・ P.17
- 詳細設定について・・・・・・・・ P.18
- リモコンをご使用になる前に・・・・ P.19
- リモコンで明るさや
色温度を調整する・・・・ P.20
- リモコンチャンネルを切り替える・・ P.21
- 専用アプリとペアリングする・・・・ P.22
- 照明器具のランプ交換について・・・・ P.23
- 故障かな？と思ったら・・・・・・・・ P.23
- ご使用に関して・・・・・・・・ P.24
- 点検とお手入れについて・・・・ P.24
- 保証について・・・・・・・・ P.24
- 商品についてのご相談・・・・ P.24

安全上のご注意

必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下図は図記号の一例です。)

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		実行しなければならない内容です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	 	してはいけない内容です。

 警告			
 厳守	●異常を感じた場合、速やかに電源を切る 火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。	 禁止	●器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない 火災・感電・落下の原因となります。
	●周囲温度5～35℃以外では使用しない 火災の原因となります。		●器具の近くにストーブ等の温度の高くなるものを置かない 火災の原因となります。
 禁止		 分解禁止	●器具の改造、部品の変更は行わない 火災・感電・落下等の原因となります。

 注意			
 厳守	●器具には寿命があります。 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。 ※目安として、使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間使用。 周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合は、寿命が短くなります。	 厳守	●お手入れの際は、必ずブレーカーを切る シーンコントローラーのON/OFFボタンで消灯状態にしても電源は切れないため、感電の原因となります。
	●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。		●器具の取外しは工事店、販売店に依頼する 器具の取外しには資格が必要です。

シーンコントローラーとは

- 本製品は、屋内専用6回路調光器です。回路はそれぞれ、白熱灯・LEDなど位相調光方式（逆位相制御）の照明器具、PWM調光方式照明器具（調光タイプ・調色調光タイプ）及び信号線不要調色調光タイプに対応しております。
- 本製品には6つのシーンを記憶・再生するシーンモードと、シンプルな負荷回路のON/OFF操作が出来るライコンモードの2つの機能を標準で搭載しております。
設置される場所や用途によって、最適な機能を選択して使用できます。
- 本製品は付属のリモコン送信機で、シーンの切替えや回路のON/OFF操作及び明るさと色温度の調整ができます。
- 本製品は、別売の適合部品との接続を行う事が出来ます。シーンコントローラー子器、逆位相制御ブースター、PWM制御ブースターとの接続・増設が可能です。
- 本製品はBluetooth®機能を搭載した器具です。専用アプリでの操作が可能です。
- 専用アプリ「SENMUmini」をご使用の場合は、二次元コードからサイトにアクセスしてダウンロードしてください。
- ネットワークブリッジ「DP-42518」（別売）に対応。



仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品名	6回路シーンコントローラー（高機能タイプ）	
品番	DP-41924E / DP41924BE	
定格電圧	交流 100V	
周波数	50/60Hz共用	
使用温度／相対湿度	5～35℃／40～85%RH	
回路数	6回路	
記憶シーン数	6シーン	
OFFタイマー	10・30秒・1・10・30・60分から設定	
シーン・回路の切替時間	0～59秒・1～99分の範囲で設定(初期設定2秒)	
負荷容量	断熱施工なし	900VA
	断熱施工あり(※1)	450VA
適合調光信号線(※2)	CPEV-1P φ0.9～1.2(シールド付)	
適合LANケーブル(※3)	カテゴリ5以上 STPケーブル ストレート(EIA/TIA-568B)	

※1：接続負荷ではなく、本器取付壁面が断熱施工の場合です。

※2：1回路あたり最大100m以内で使用してください。

※3：総配線長50m以内で使用してください。

●スイッチボックス取付専用です。〔4個用スイッチボックス(カバー付)金属製〕

●適合照明器具専用です。

●子器、ブースターを使用する場合は、必ず適合子器、ブースターを使用してください。

<適合部品(別売)>

品名		品番
6回路シーンコントローラー子器		DP-41925E / DP-41925BE
6回路シーンコントローラー ブースター	逆位相制御・調色調光信号線不要タイプ	DP-41926E / DP-41926BE
	PWM制御・ON/OFF	DP-41927 / DP-41927B
	位相制御・調色調光信号線不要タイプ	DP-42053E / DP-42053BE

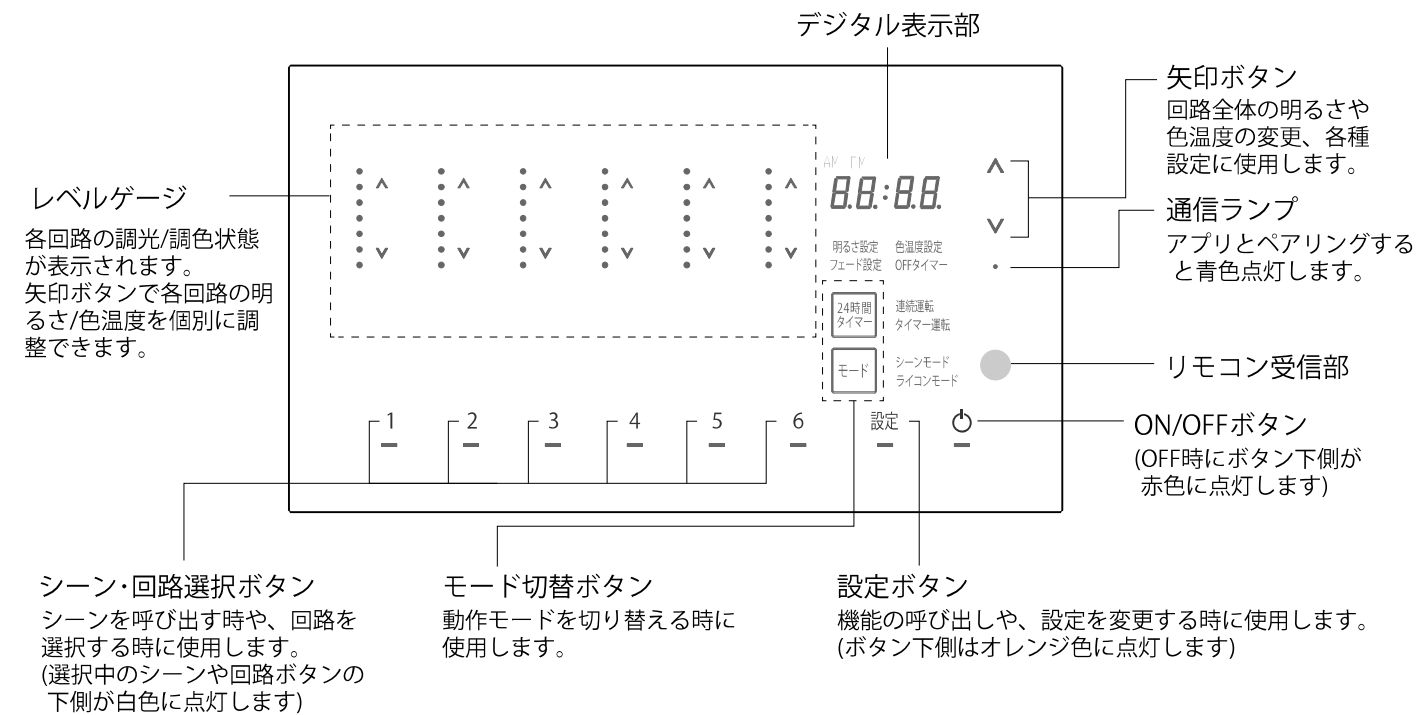
シーンコントローラーについて

各部の名称とはたらき

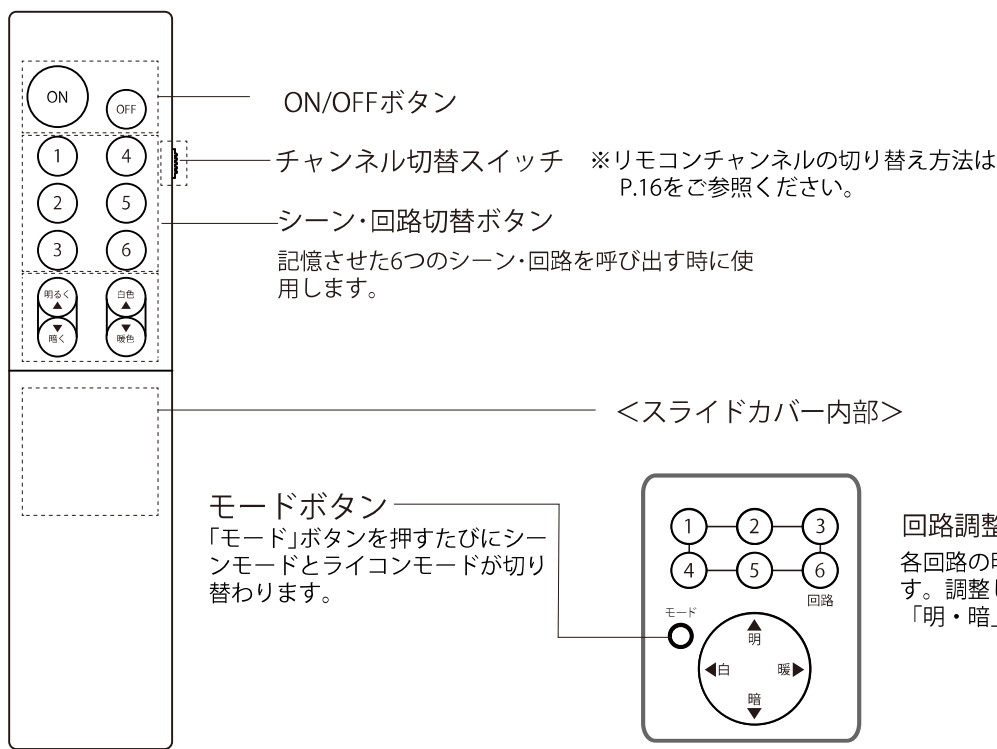
6回路シーンコントローラー本体

※下図は、簡略した図です。

※ボタンはタッチ式なので、指で触れるだけで操作できます。



リモコン送信機



付属部品

リモコンホルダー

サラ木ネジ (2本)

乾電池 単四形(2個)

コントローラーのモードについて

- 本製品には6つのシーンを記憶・再生するシーンモードと、シンプルな負荷回路のON/OFF操作が出来るライコンモードの2つの機能を選択して使用できます。

→P.14「モードを切り替える」

<シーンモードで使う場合の動作>

- 回路ごとの明るさを6つのシーン内に記憶し、1～6のボタンをタッチすることで、それぞれのシーンを呼び出すことができます。

※シーン別設定例



日常のあかり



団らんのあかり



作業のあかり



シアターのあかり



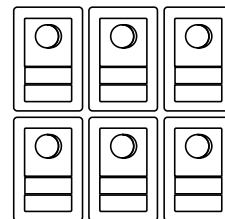
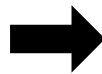
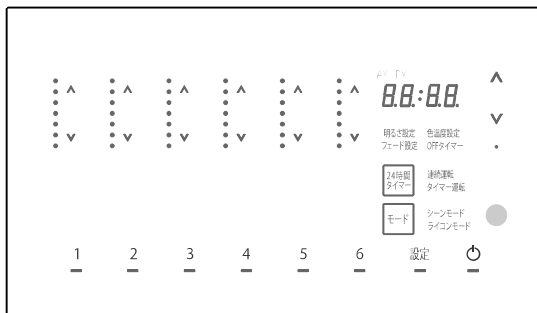
夕方のあかり



くつろぎのあかり

<ライコンモードで使う場合の動作>

- 6つの回路を個別に操作することができます。
- 各回路の明るさをそれぞれ記憶し、1～6のボタンを押すことにより個別に再生します。



調光器6台と同じような感覚で使用できます。

<24時間タイマーモード（スケジュール機能）>

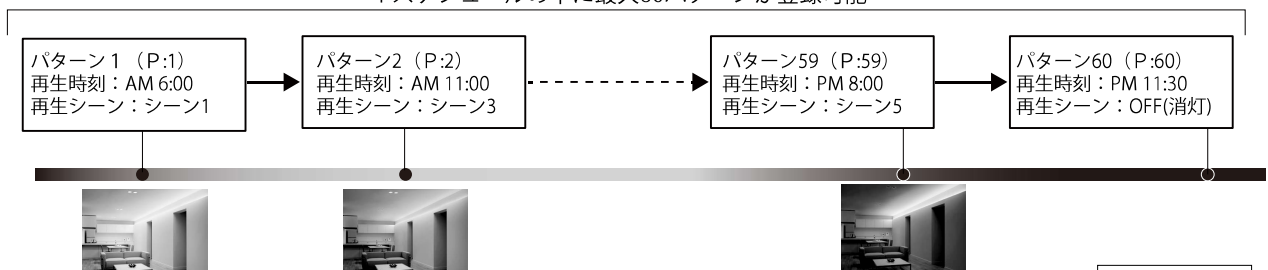
- 記憶したシーンを、設定した時刻に自動再生することができます。

→P.17

「スケジュール(タイマー)を設定する」

<例>

1 スケジュールの中に最大60パターンが登録可能



各シーンの明るさを設定する

●各シーンの明るさを回路ごとに設定します。

※明るさ設定をする前に負荷設定を確実に行ってください。(施工説明書 P.S15参照)

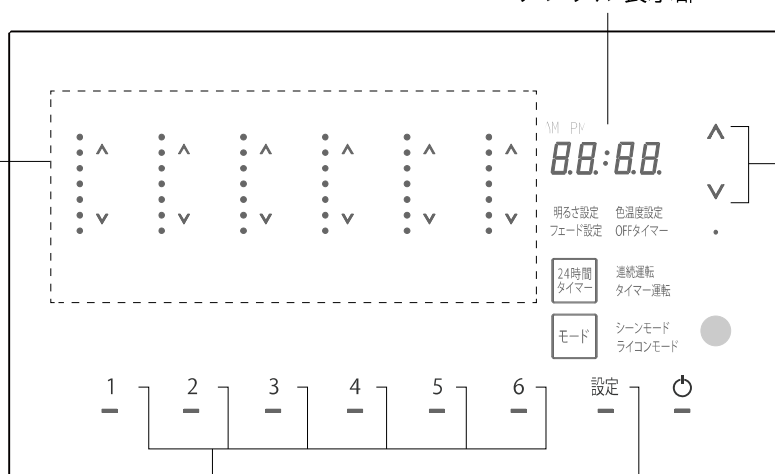
デジタル表示部

レベルゲージ

各回路の調光状態が表示されます。
矢印ボタンで各回路の明るさを個別に調整することができます。

矢印ボタン

シーン全体の明るさを調整することができます。



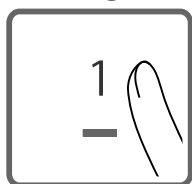
シーン選択ボタン

シーンを選択する時に使用します。
(選択中のシーンボタンの下側が白色に点灯します)

設定ボタン

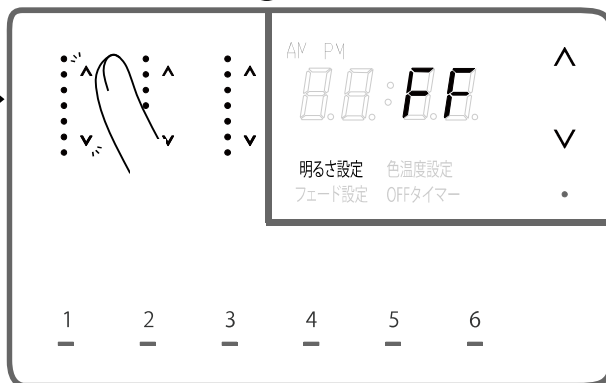
機能の呼び出しや、設定を変更する時に使用します。
(ボタン下側はオレンジ色に点灯します)

1



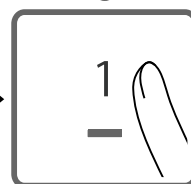
設定したいシーン番号のボタンをタッチしてください

2



明るさを設定したい回路のレベルゲージ横にある矢印ボタンの上下をタッチして、明るさを調整してください。
デジタル表示部横の矢印ボタンでは、シーン全体の明るさを調整することができます。

3



記憶させたいシーン番号のボタンを長押ししてください。

一時保存したい場合は、ON/OFFボタンをタッチしてください。
※編集中のシーンは一時的に記憶されますが、次回シーン呼び出し時は、編集前に記憶したシーンが再生されます。



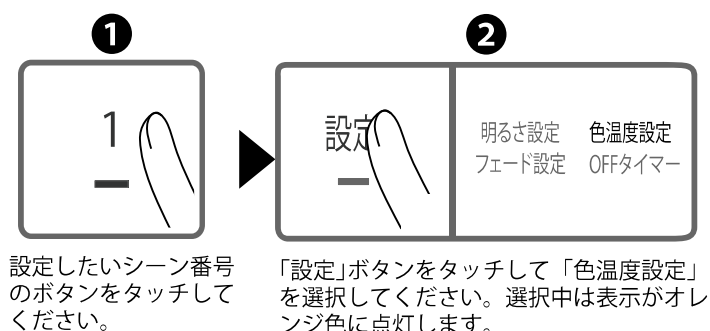
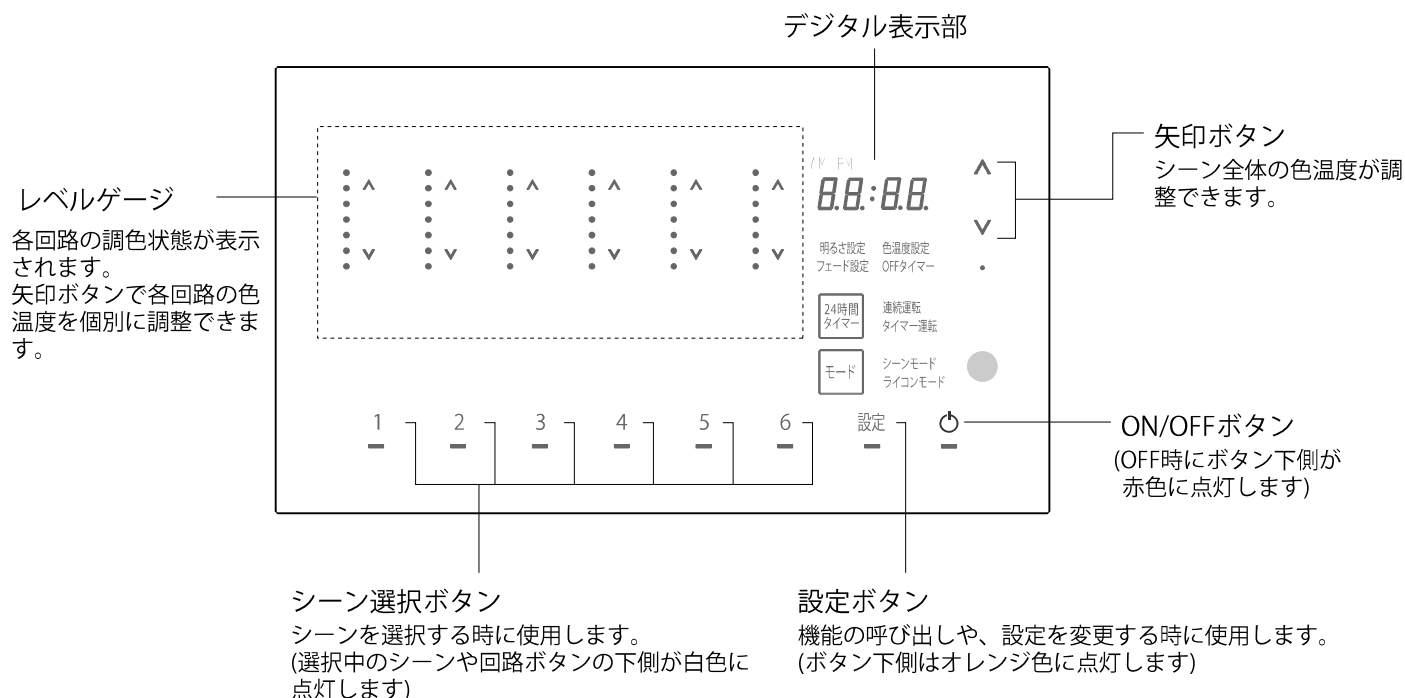
※100%は「FF」と表示されます。
※明るさの表示は目安です。
照明器具によって、明るさは異なります。

最後の操作から30秒経過すると、自動終了します。
編集中のシーンは一時的に記憶されますが、次のシーン呼び出し時は、編集前に記憶したシーンが再生されます。

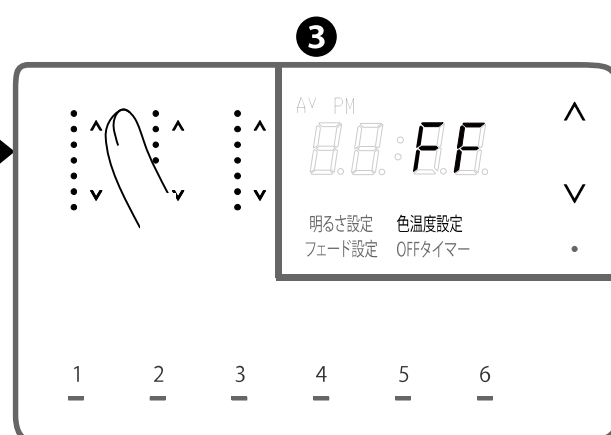
各シーンの色温度を設定する

●各シーンの色温度を回路ごとに設定します。

※色温度設定をする前に負荷設定を確実に行ってください。(施工説明書 P.S15参照)



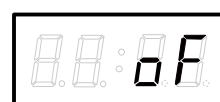
一時保存したい場合は、ON/OFFボタンを押してください。編集中のシーンは一時的に記憶されますが、次回シーン呼び出し時は、編集前に記憶したシーンが再生されます。



※100%は「FF」と表示されます。
※色温度の表示は目安です。
照明器具によって、色温度は異なります。

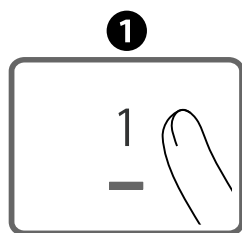
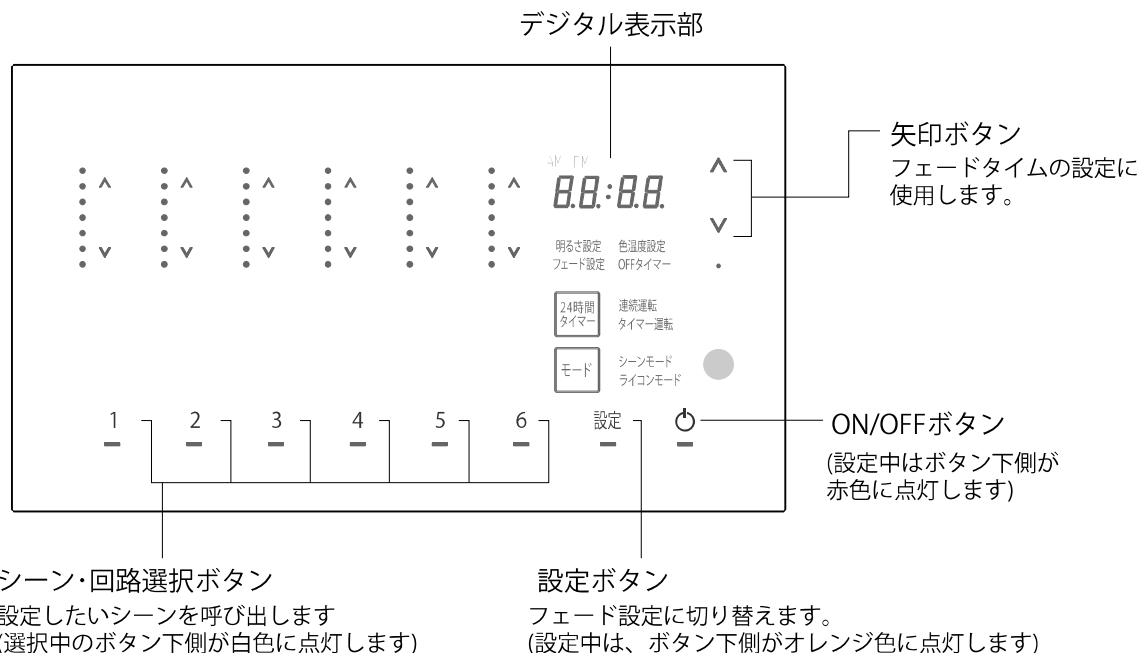
最後の操作から約30秒経過すると、自動終了します。編集中のシーンは一時的に記憶されますが、次回シーン呼び出し時は、編集前に記憶したシーンが再生されます。

※負荷設定がL1、L2、L3、L4に設定されている回路は色温度設定に対応していません。デジタル表示部に下記が表示されます。

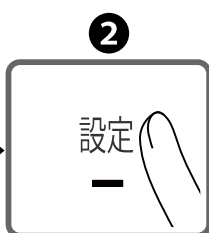


フェードタイムを設定する

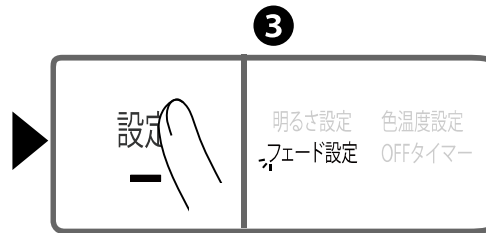
- シーン切り替わる時間(フェードタイム)を0～60秒・2分～99分の範囲で設定できます。
〔初期設定：2秒〕



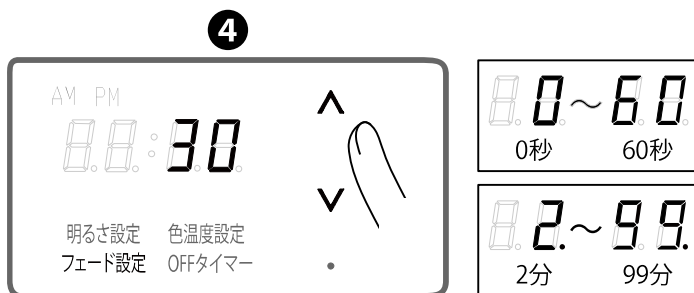
設定したいシーンをタッチ
してください。



「設定」ボタンを短押しします。設定
ボタン下側がオレンジ色に点灯します。

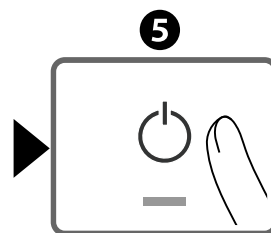


「設定」ボタンを押してフェード設定に切り替えます。
選択中は表示がオレンジ色に点灯します。



「矢印」ボタンで、フェードタイムを設定してください。
ひきつづき、他シーンの設定する時は、
設定したいシーン番号のボタンをタッチし、フェードタイムを設定
してください。

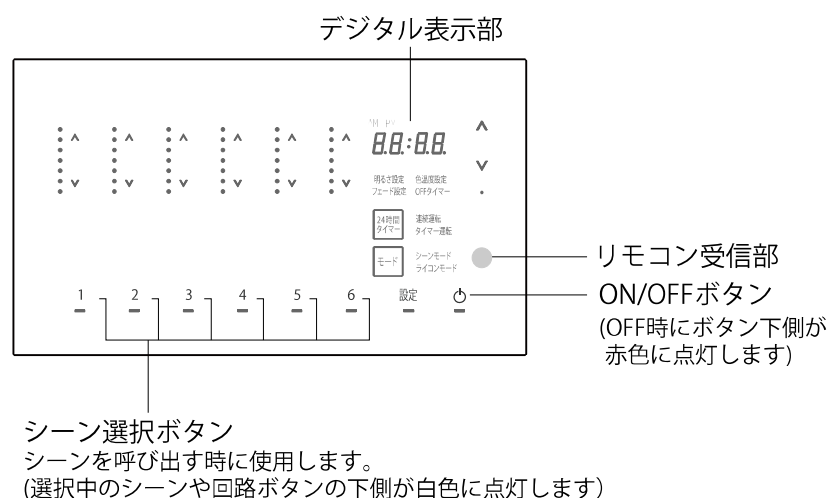
最後の操作から30秒経過すると、自動終了します。
(編集集中の設定は保存されます)



「ON/OFF」ボタンをタッチして、
設定を終了します。

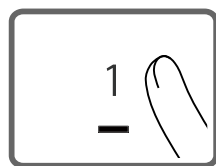
シーンを呼び出す

6回路シーンコントローラー本体



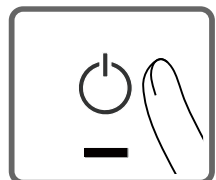
電源を入れる/シーンを呼び出す

6回路シーンコントローラー本体



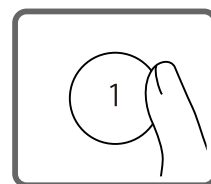
呼び出したいシーンの「1」～「6」ボタンをタッチします。
電源が入り、シーンが呼び出されます。

<前回使用したシーンを呼び出す場合>



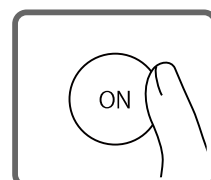
「ON/OFF」ボタンをタッチします。
電源が入り、前回使用したシーンが呼び出されます。

リモコン送信機



呼び出したいシーンの「1」～「6」ボタンを押します。
電源が入り、シーンが呼び出されます。

<前回使用したシーンを呼び出す場合>

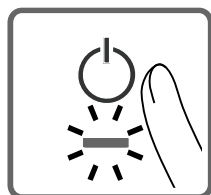


「ON/OFF」ボタンを押します。
電源が入り、前回使用したシーンが呼び出されます。

※各シーンごとに設定したフェードタイムで点灯します。設定した時間がデジタル表示部に表示されます。
※信号線不要調色調光タイプは器具の仕様上、シーン切替時に他の器具に比べて動作が遅い場合がありますが、異常ではありません。

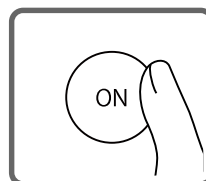
電源を切る

6回路シーンコントローラー本体



「ON/OFF」ボタンをタッチして、電源を切ります。

リモコン送信機



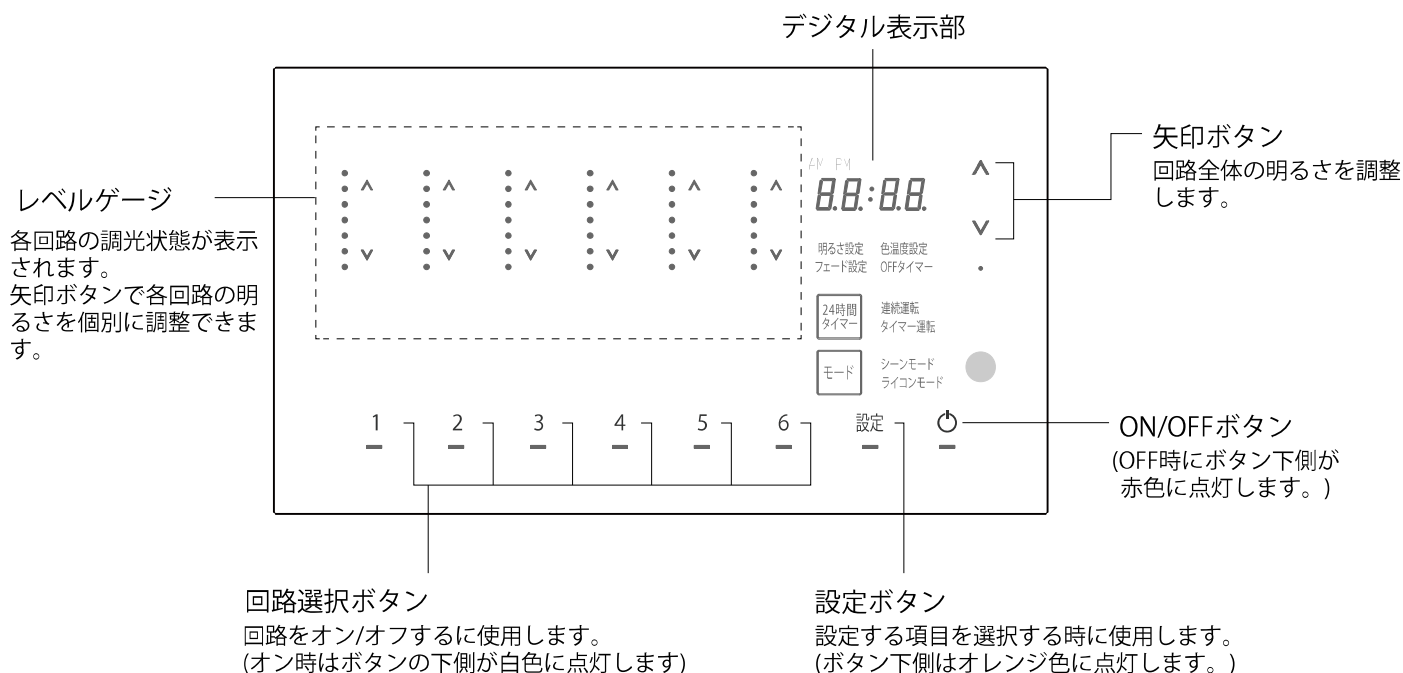
「ON/OFF」ボタンを押して、電源を切ります。

※電源が切れるまでの間は、「シーン・回路選択」ボタンは点灯、「ON/OFF」ボタンは点滅します。
※OFFタイマーを設定している場合は、設定した時間がデジタル表示部に表示されます。
※オフタイマー経過後、消灯するまでの時間は、負荷の種類によって異なり、また器具個々にバラツキがありますが、異常ではありません。
※信号線不要調色調光タイプは器具の仕様上、オフタイマー経過後、消灯するまで最大約12秒かかる場合がありますが、異常ではありません。

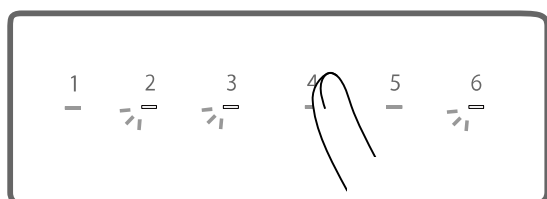
各回路の明るさを調整する

●各回路の明るさを調整します。

※明るさ調整をする前に負荷設定を確実に行ってください。(施工説明書 P.S15参照)



<回路をオン/オフする>



「回路選択」ボタンを押して、回路をオン/オフします。オン時はボタンの下側が白色に点灯します。

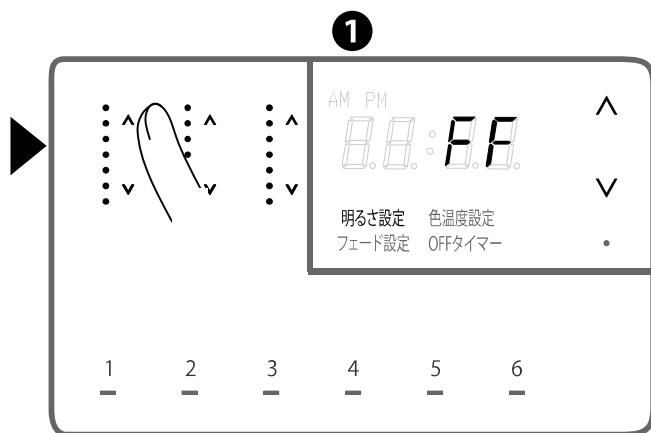
回路をオンにした直後、デジタル表示部には現在の明るさが表示されます。



回路をオフにした直後、デジタル表示部には「oF」が表示されます。



<明るさを調整する>



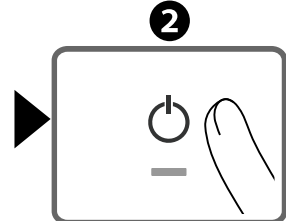
明るさを設定したい回路のレベルゲージ横にある矢印ボタンの上下をタッチして、明るさを調整してください。デジタル表示部横の矢印ボタンで、回路全体の明るさを調整することができます。



※100%は「FF」と表示されます。

※明るさの表示は目安です。
照明器具によって、明るさは異なります。

※最後の操作から30秒経過すると、自動終了します。

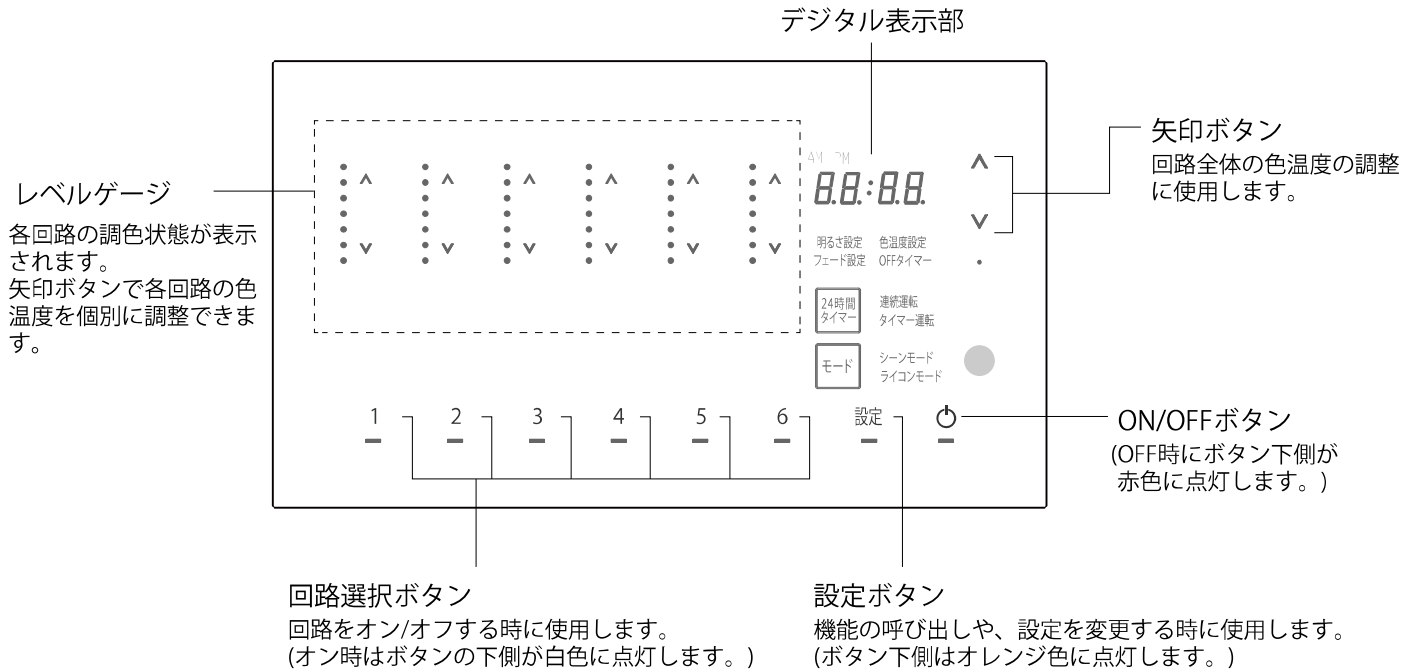


ON/OFFボタンを押して明るさ調整を終了します。

各回路の色温度を調整する

●各回路の色温度を調整します。

※色温度調整をする前に負荷設定を確実に行ってください。(施工説明書 P.S15参照)



①



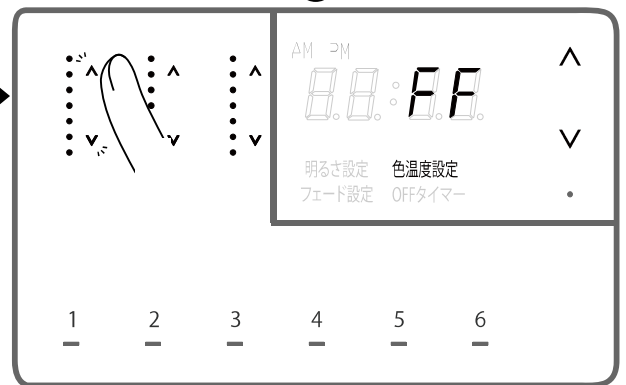
「設定」ボタンをタッチします。設定ボタン下側がオレンジ色に点灯します。

②



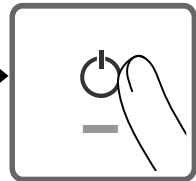
「設定」ボタンをタッチして、「色温度設定」を選択してください。選択中は表示がオレンジ色に点灯します。

③



色温度を設定したい回路のレベルゲージ横にある矢印ボタンの上下をタッチして、色温度を調整してください。
デジタル表示部横の矢印ボタンでは、シーン全体の色温度を調整することができます。

④



ON/OFFボタンを押して明るさ調整を終了します。

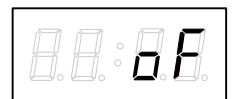


※100%は「FF」と表示されます。

※色温度の表示は目安です。
照明器具によって、色温度は異なります。

※最後の操作から30秒経過すると、自動終了します。

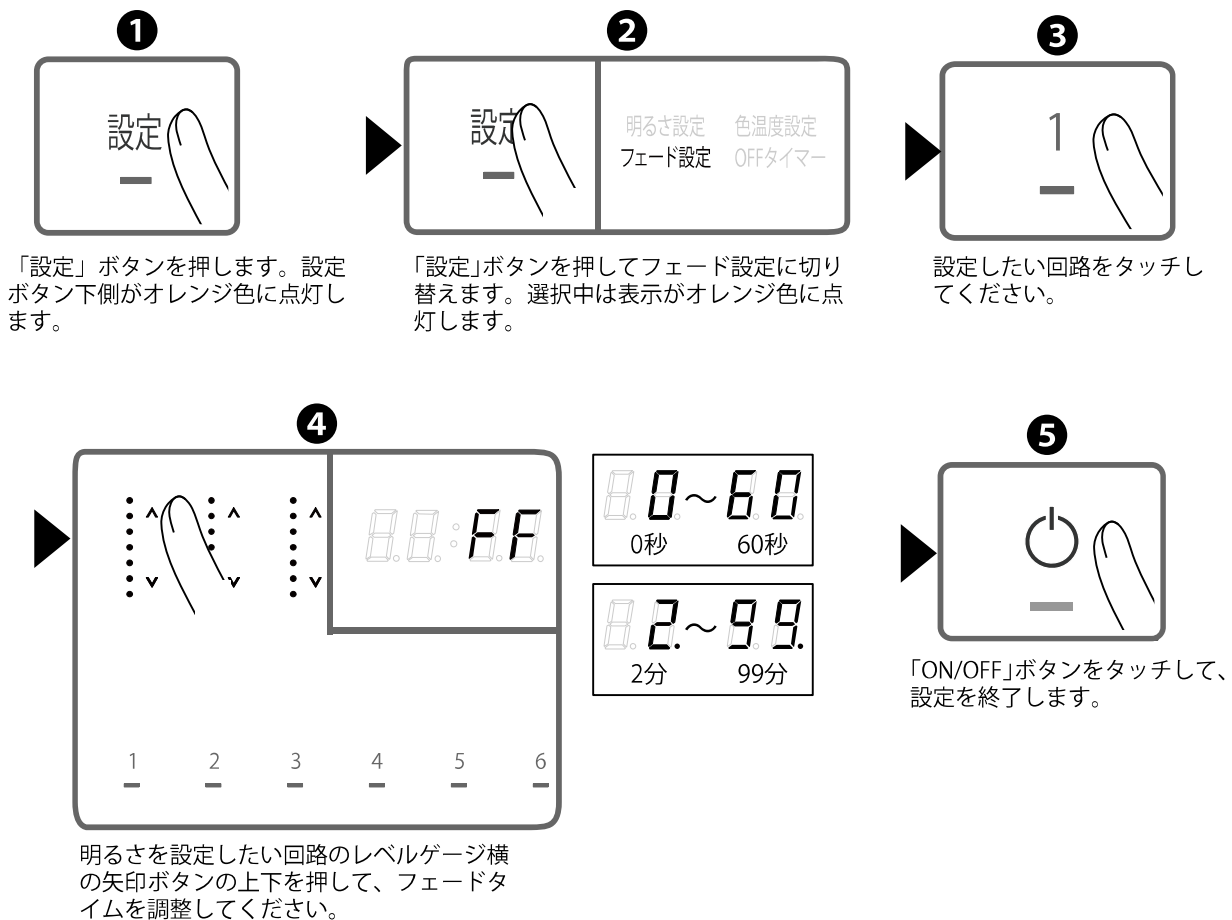
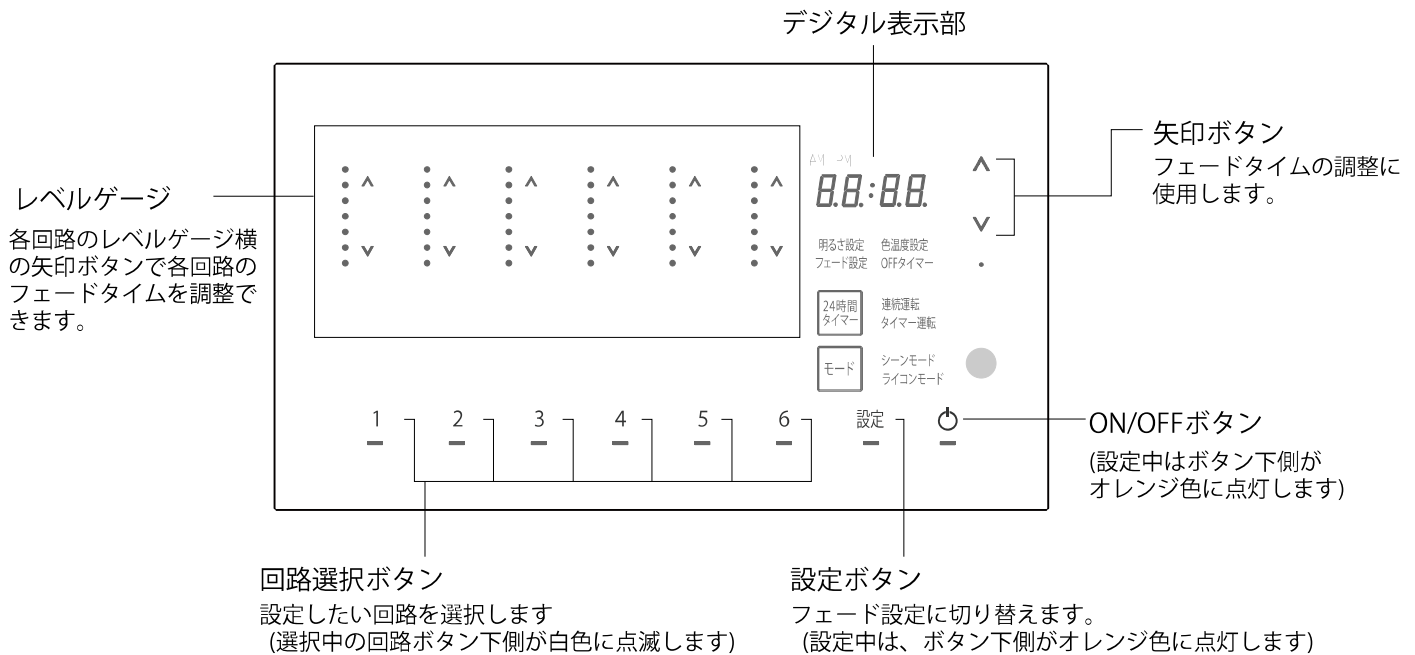
※負荷設定がL1、L2、L3、L4に設定されている回路は色温度設定に対応していません。デジタル表示部には「oF」が表示されます。



フェードタイムを設定する

●回路ごとにフェードタイムを設定できます。(0～60秒・2分～99分の範囲)

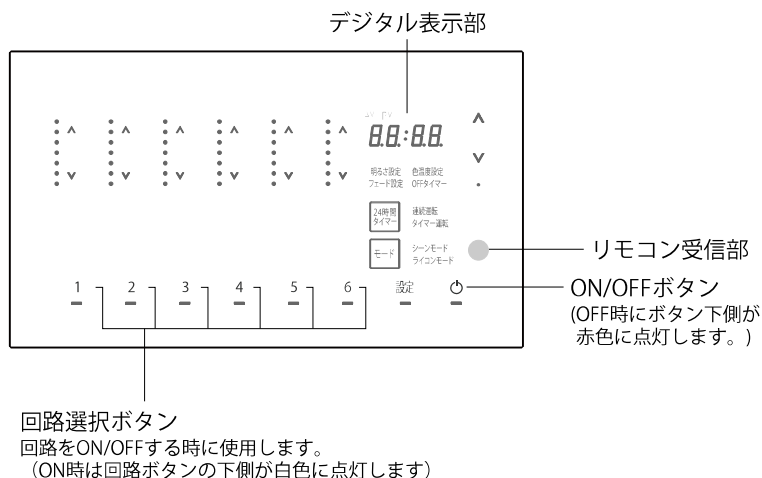
〔初期設定：2秒〕



最後の操作から30秒経過すると、自動終了します。
(設定は保存されます)

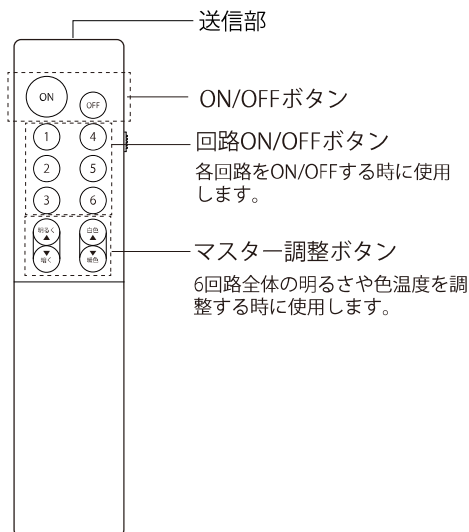
回路を呼び出す

6回路シーンコントローラー本体



リモコン送信機

※送信部をリモコン受信部に向けて操作してください。



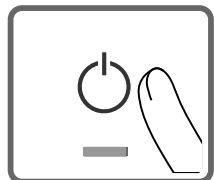
電源を入れる/回路を呼び出す

6回路シーンコントローラー本体



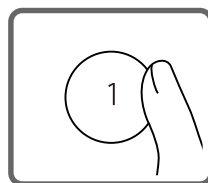
呼び出したい回路の「1」～「6」ボタンをタッチします。
電源が入り、回路が呼び出されます。
呼び出された回路のボタンを再びタッチすると消灯します。

<前回使用した回路を呼び出す場合>



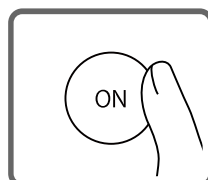
「ON/OFF」ボタンをタッチします。
電源が入り、前回使用した回路が呼び出されます。
呼び出された回路のボタンを再びタッチすると消灯します。

リモコン送信機



呼び出したい回路の「1」～「6」ボタンを押します。
電源が入り、回路が呼び出されます。
呼び出された回路のボタンを再び押すと消灯します。

<前回使用したシーンを呼び出す場合>



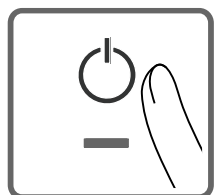
「ON/OFF」ボタンを押します。
電源が入り、前回使用した回路が呼び出されます。
呼び出された回路のボタンを再び押すと消灯します。

※各回路ごとに設定したフェードタイムで点灯します。

※信号線不要調色調光タイプは器具の仕様上、他の器具に比べてシーン切替に時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

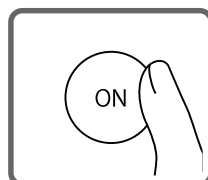
電源を切る

6回路シーンコントローラー本体



「ON/OFF」ボタンをタッチして、電源を切ります。

リモコン送信機



「ON/OFF」ボタンを押して、電源を切ります。

※電源が切れるまでの間は、「シーン・回路選択」ボタンは点灯、「ON/OFF」ボタンは点滅します。

※OFFタイマーを設定している場合は、設定した時間がデジタル表示部に表示されます。

※オフタイマー経過後消灯するまでの時間は、負荷の種類によって異なり、また器具個々にバラツキがありますが、異常ではありません。

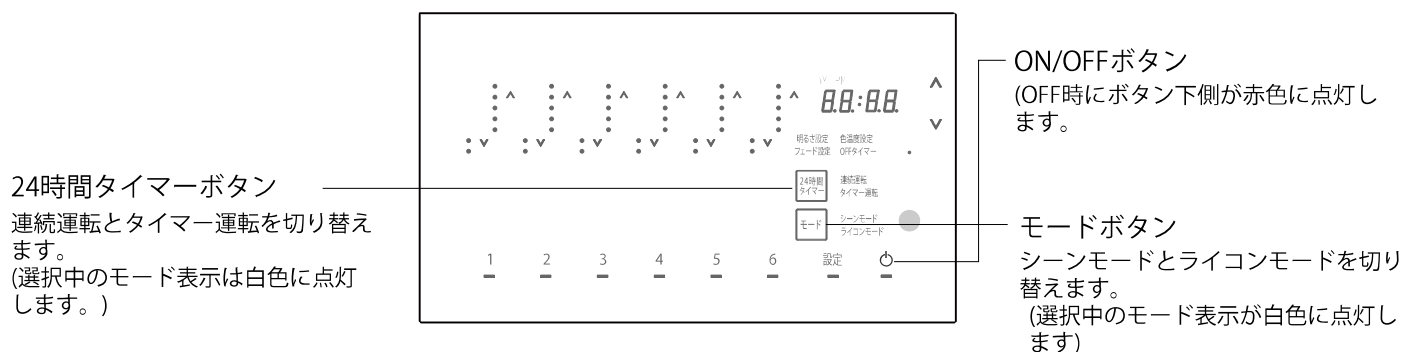
※信号線不要調色調光タイプは器具の仕様上、オフタイマー経過後、消灯するまで最大約12秒かかる場合がありますが、異常ではありません。

<シーンモード・ライコンモード共通編>

モードを切り替える

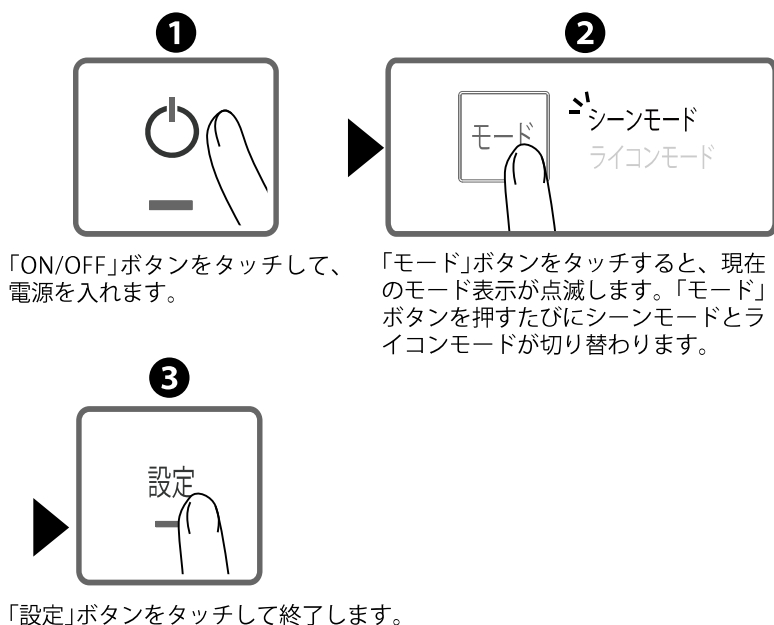
●ここでは、コントローラーのモード切替方法について説明します。

※下図は、簡略した図です。

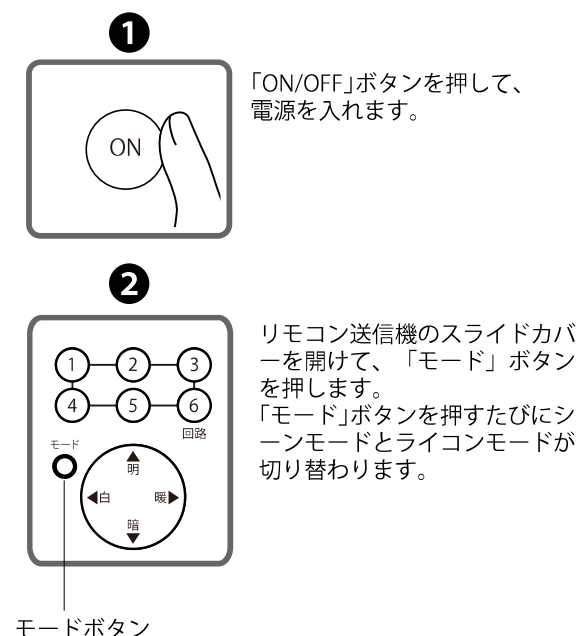


シーンモードとライコンモードを切り替える

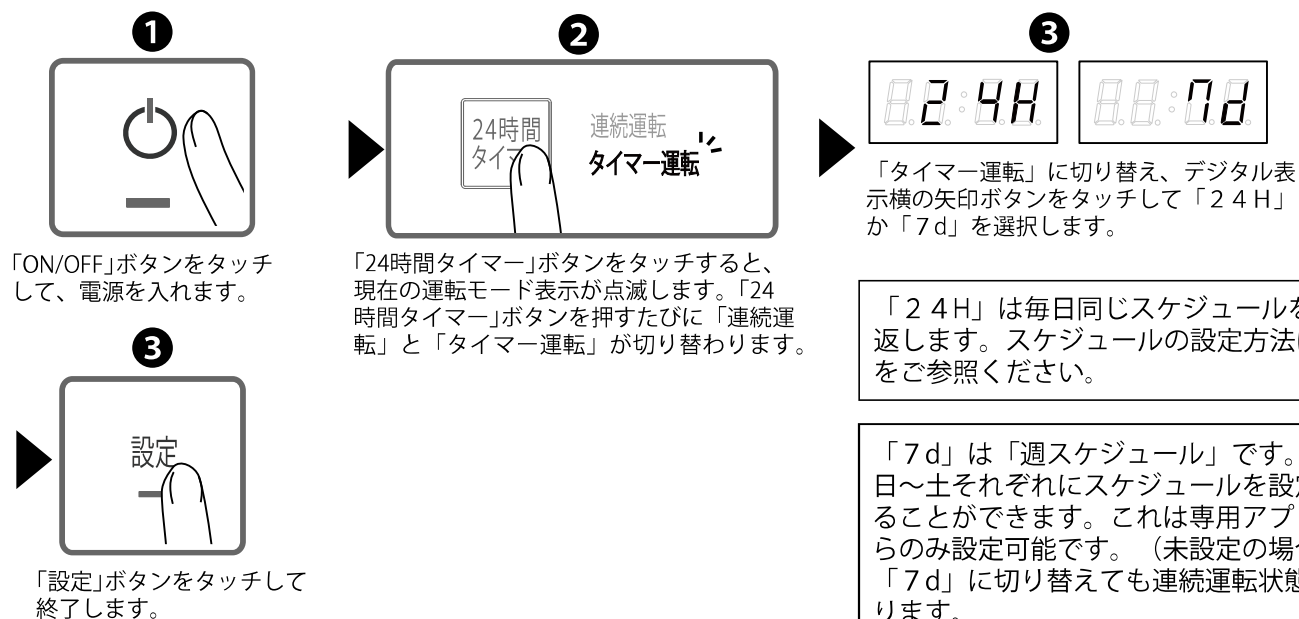
●シーンコントローラー本体



●リモコン送信機

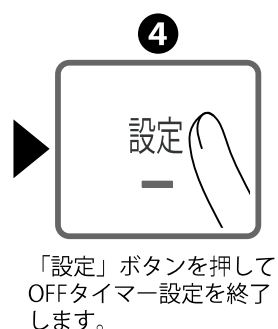
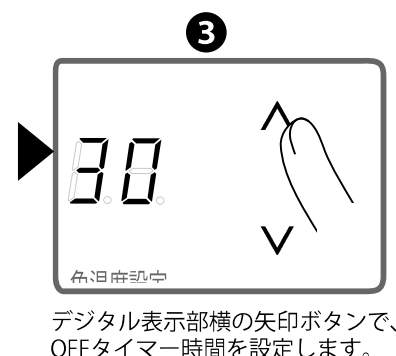
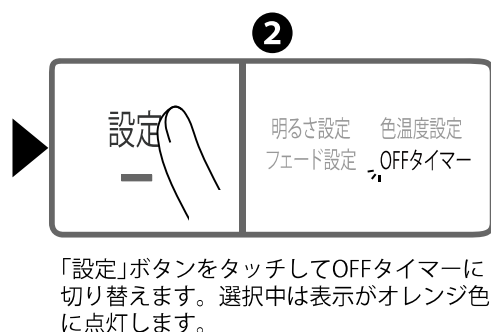
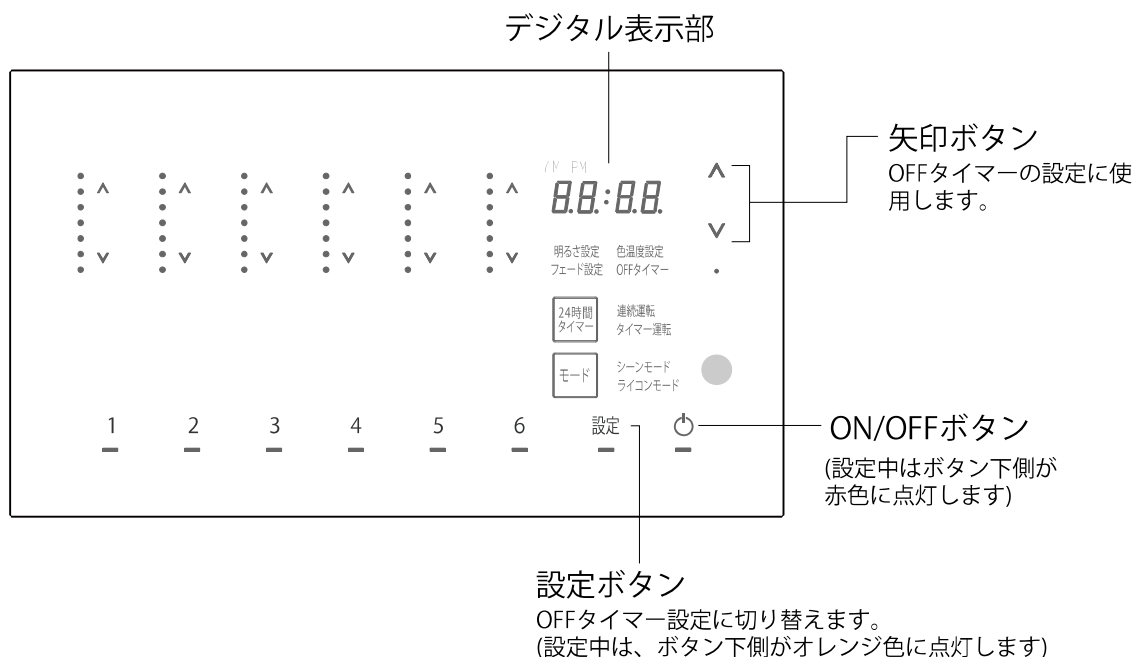


連続運転とタイマー運転を切り替える

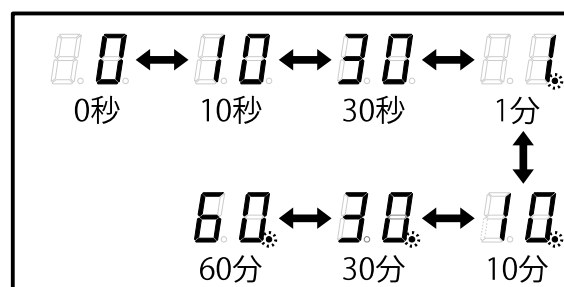


OFFタイマーを設定する

- ON/OFFボタンをタッチしてから電源がOFFになるまでの時間を設定します。
(OFFタイマーは、0、10、30秒、1、10、30、60分が選択できます。)
初期設定：0秒(OFFタイマーが設定されていない状態)



OFFタイマー



※分表示の場合はコンマが点灯します。

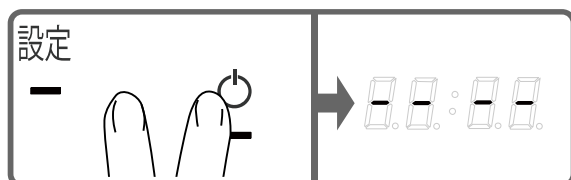
最後の操作から30秒経過すると、自動終了します。
(設定は保存されます)

- ・オフタイマー経過後、消灯するまでの時間は、負荷の種類によって異なり、また器具個々にバラツキがありますが、異常ではありません。
- ・信号線不要調色調光タイプは器具の仕様上、オフタイマー経過後、消灯するまで最大約12秒かかる場合がありますが、異常ではありません。

ボタンによる操作を無効にする（キーロック）

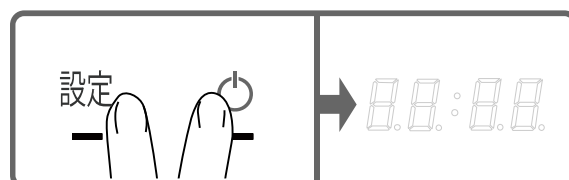
- ボタンによる操作を無効にし、誤動作を防ぐことができます。
 - キーロック中でも、付属のリモコン操作やアプリでの操作は受け付けます。
- ※この機能は、停電などで電源が切れると解除されます。

キーロックを設定する



「設定」・「ON/OFF」ボタンを同時に2秒以上タッチします。
デジタル表示部に「- - -」が点灯します。
これでキーロックが設定されました。

キーロックを解除する



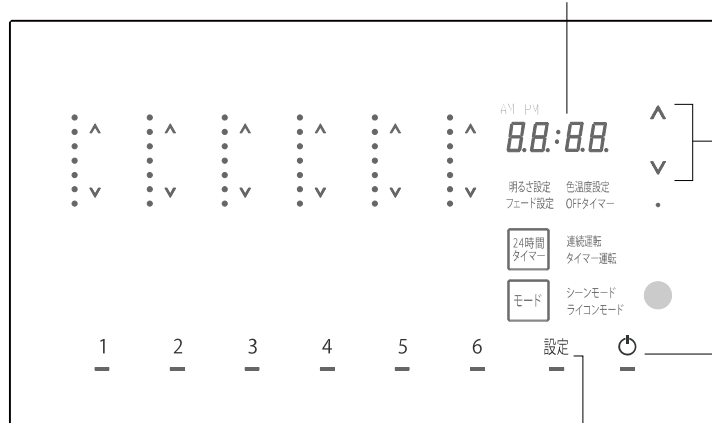
「設定」・「ON/OFF」ボタンを同時に2秒以上タッチします。
デジタル表示部が消灯します。
これでキーロックが解除されました。

現在時刻を設定する

- 現在時刻を設定します。

※下図は、簡略した図です。

デジタル表示部



矢印ボタン
各種設定の切り替えや変更に使用します。

ON/OFFボタン
(OFF時および設定中はボタン下側が赤色に点灯します)
変更作業時にタッチすると、ひとつ前に戻ります。

設定ボタン
機能の呼び出しや、設定を変更する時に使用します。(ボタン下側はオレンジ色に点灯します。)

①

電源を入れ「設定」ボタンを長押しします。設定ボタンとON/OFFボタンの下側がそれぞれオレンジ色と赤色に点滅し、デジタル表示部に「L S」が点滅表示します。

②

デジタル表示部横の矢印ボタンで「CL」を選択し「設定」ボタンをタッチします。

③

デジタル表示部横の矢印ボタンで西暦の下二桁を変更し「設定」ボタンをタッチします。

④

次に、月を変更→「設定」ボタンをタッチ→日を変更→「設定」ボタンをタッチしてください。

⑤

現在時刻を設定します。「設定」ボタンをタッチすると、変更が保存され、②に戻ります。

⑥

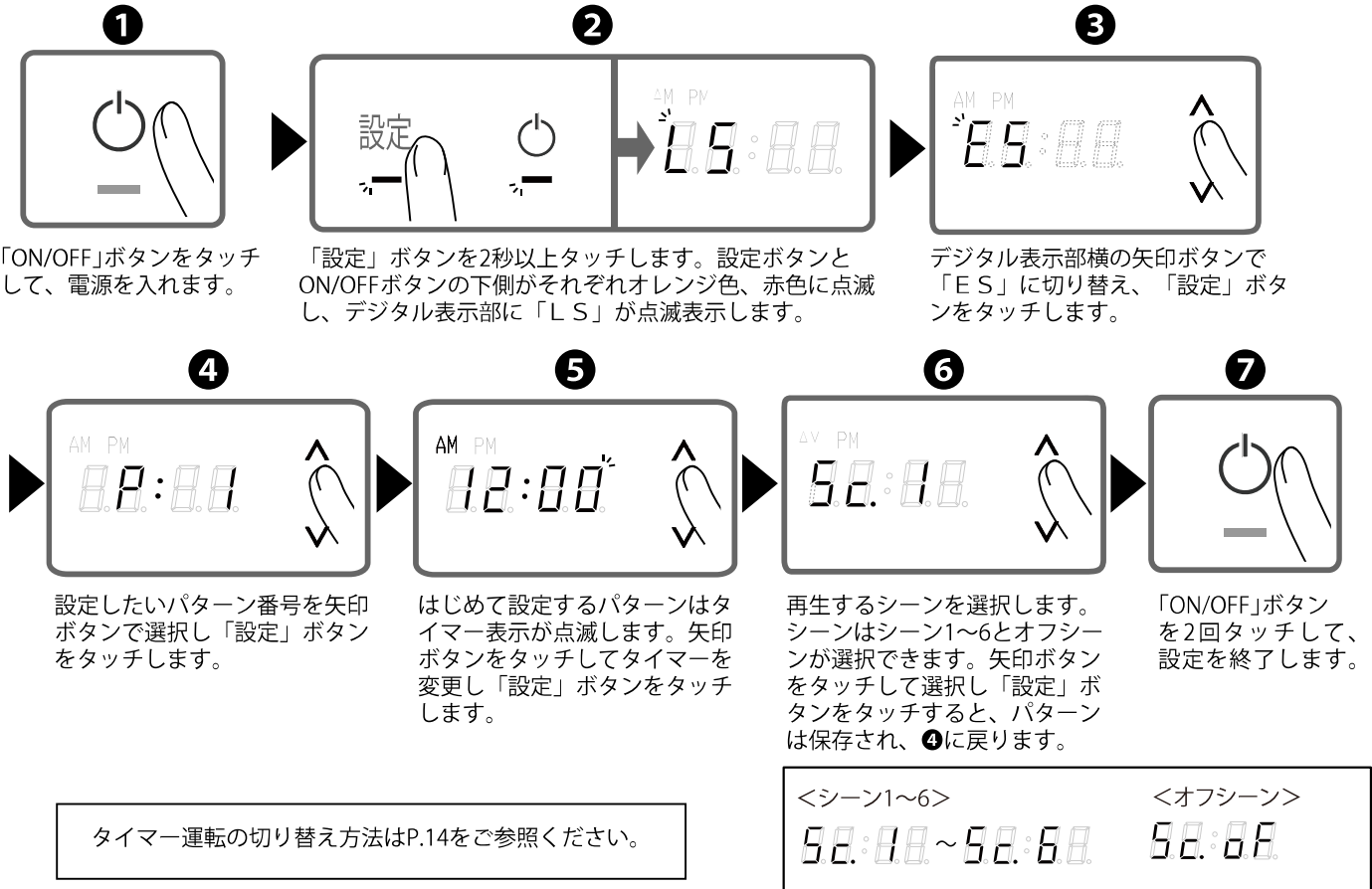
「ON/OFF」ボタンをタッチして、詳細設定を終了します。

スケジュール（タイマー）を設定する

設定した時刻にシーンを自動再生することができます。最大60パターンのタイマーを設定時刻順に再生します。

※スケジュール設定の前に、現在時刻の設定を行ってください。（P.16）

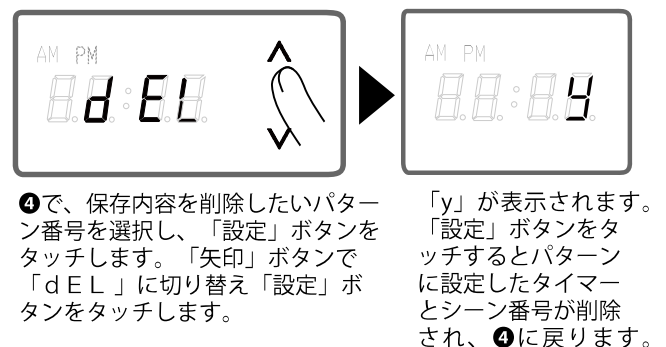
スケジュールの設定方法について



<イベントを無効にするには>



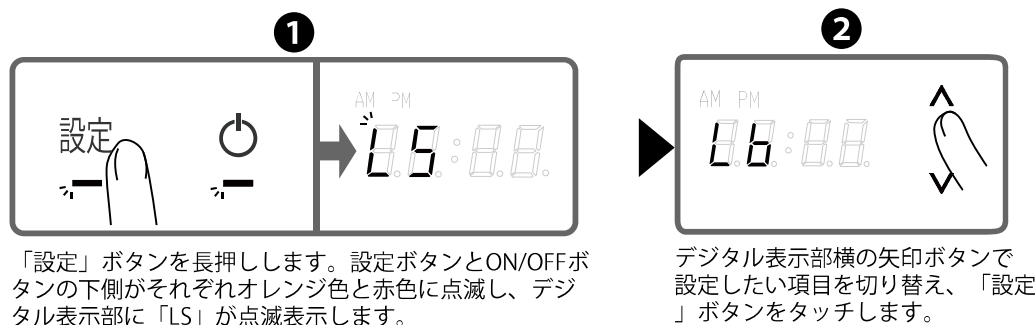
<イベントに保存したタイマーとシーンを削除するには>



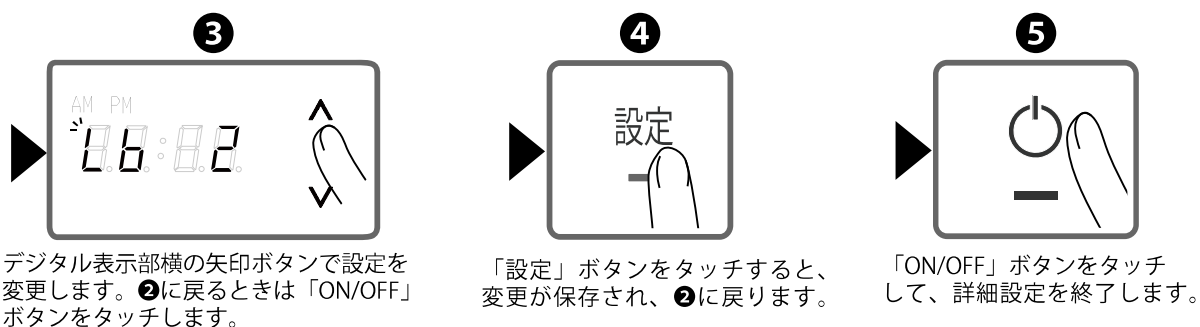
- ・④～⑥で最後の操作から約2分経過すると、自動終了します。編集集中の各種設定は保存されません。
- ・パターンはP:1～P:60まで、最大60パターン設定できます。
- ・再生できるシーンは、シーン1～6とオフシーンです。
- ・パターンは設定したタイマーの順に再生します。
- ・時刻が重複する複数のパターンがある場合、小さい番号のパターンが優先されます。

詳細設定について

- 機能の詳細設定を行います。



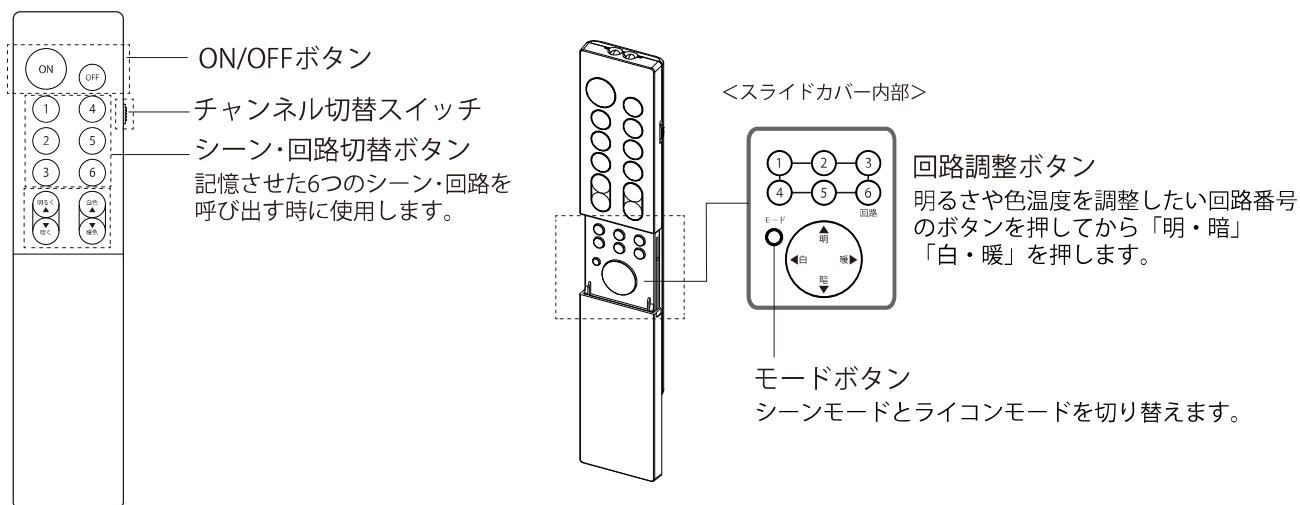
項 目	説 明	表 示
09	各回路に接続されている負荷に合わせてL1～L6を設定します。詳細は施工説明書のP.S15をご参照ください。	09:00 ~ :00
00	複数台の6回路シーンコントローラーを連動モードで使用する場合、それぞれのID番号を設定します。詳細は施工説明書のP.S12をご参照ください。	00:00 ~ :00
00	各種表示の明るさを設定します。 (明るさ5段階選択できます。)	00:00 ~ :05 暗い 明るい
00	Bluetooth通信を設定します。Bluetoothのオン/オフ、ペアリング解除ができます。詳細はP.22をご参照ください。	00:00 :00 :00 Bluetooth オン Bluetooth オフ ペアリング解除
09	スケジュールに登録するイベントを設定します。詳細はP.17をご参照ください。	09:00 ~ :00
00	現在時刻の設定（西暦→月日→時刻）ができます。タイマー運転する場合は、必ず時刻設定をおこなってください。詳細はP.16をご参照ください。	20:24 → 00:00 → 00:00 AM PM
00	リモコンのチャンネル設定をします。詳細はP.21をご参照ください。	00:00 ~ :00 CH1 CH3
00	本体表示の設定を行います。常時表示、常時非表示※オート（最後の操作から約秒後に消灯）の三種類から選択します。	00:00 :00 :00
00	バイブレーション機能のオン/オフが選択できます。	00:00 :00
00	操作音を設定します。操作音オン（Hi/Loの二種類）、操作音オフが選択できます。	00:00 :00 :00
00	親器連動時のスケジュール動作を単独で行うか、連動するかを設定します。 ON：スケジュール動作を単独で実行します。 OFF：スケジュール動作を連動します。	00:00 :00



リモコンをご使用になる前に

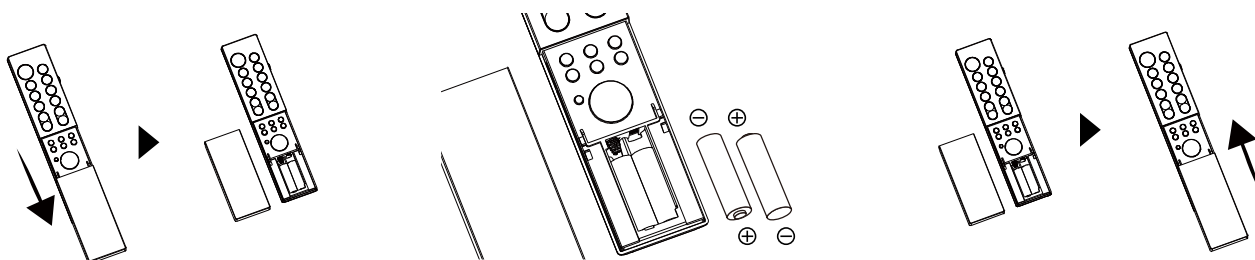
●リモコンを準備してください。

※下図は、簡略した図です。



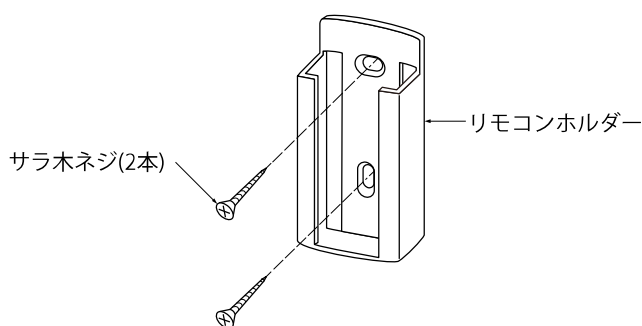
●リモコンに電池を入れる。(※付属の電池は動作確認用です。)

- 裏側のフタを軽く押しながら、スライドさせます。
- 電池は、単4形2本を極性を合わせて入れてください。
- カチッと音がするまでフタを押し込んでください。



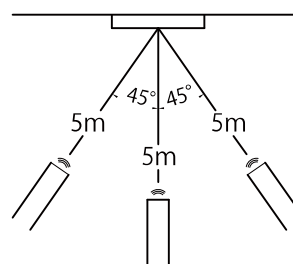
●リモコンホルダーを取付ける。

リモコンホルダーをサラ木ネジ(2本)で壁面の補強材のある位置に取付ける。



●リモコンの受信範囲

- リモコン送信部を受信部に向けて操作する。
- 受信距離は直線で約5m。



※受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信します。以下のような所で使用しますと、信号が遮断されたり受信できない場合があります。

- 受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があるところ。
- ネットやガラス等、光を減衰または反射するものがあるところ。

⚠ 警告

- 電池の⊕⊖の向きを正しく確認し、接続してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱・分解・ショートさせないでください。
- 電池を火の中に投入しないでください。
- 充電式電池を使用しないでください。

- 長期間で使用にならないときは、電池を取出してください。

次のような場所では使わないでください。故障の原因となります。

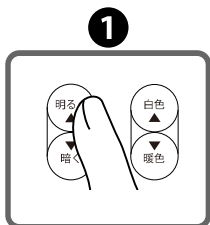
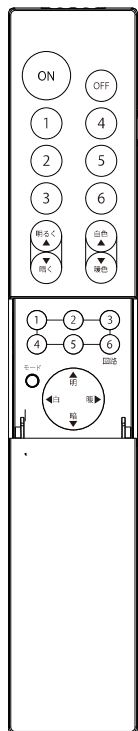
- 高温(常時35℃以上)なところ
- 多湿(風呂場等)なところ
- 水のかかるところ

明るさや色温度を調整する

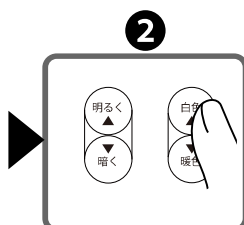
- 再生中のシーン全体の明るさ色温度、各回路の明るさや色温度を、リモコンで変更することができます。

リモコン送信機

<全体の明るさや色温度を調整する>

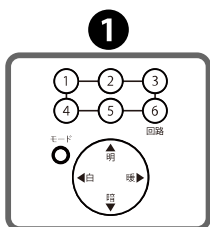


「明るく」「暗く」ボタンでシーン全体の明るさを調整します。

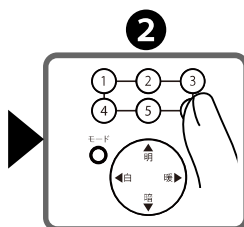


「白色」「暖色」ボタンでシーン全体の色温度を調整します。

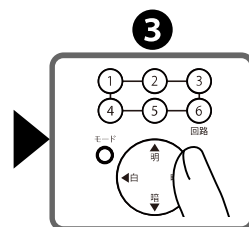
<各回路の明るさや色温度を調整する>



リモコンのスライドカバーを開けます。



一時的に変更したい回路番号のボタンを押します。



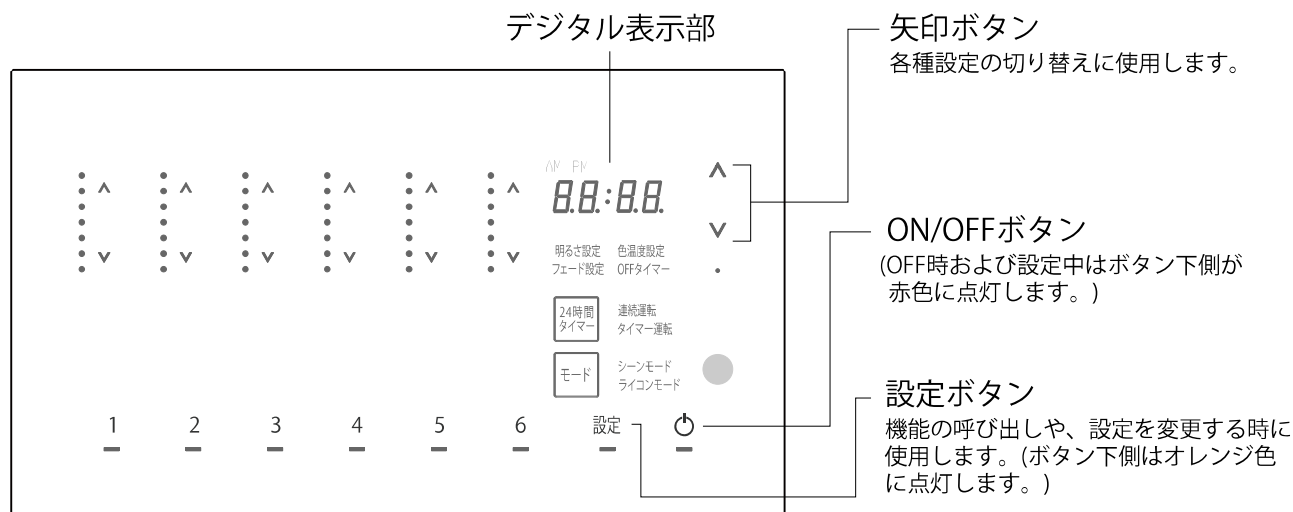
続けて、調整したいボタンを押します。

シーンモード時は、リモコン操作での明るさ・色温度の編集は一時的に記憶されますが、次のシーン呼び出し時は、編集前に記憶したシーンが再生されます。

リモコンチャンネルを切り替える

- リモコンチャンネルを切り替えることで、リモコン1つで複数台のシーンコントローラーを操作することができます。〔初期設定：リモコンチャンネル1〕

シーンコントローラー本体のリモコンチャンネルを切り替える



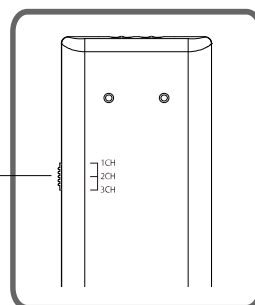
- 「ON/OFF」ボタンをタッチして、電源を入れます。
- 「設定」ボタンを長押しします。設定ボタンとON/OFFボタンの下側がオレンジ色に点滅し、デジタル表示部に「LS」が点滅表示します。
- デジタル表示部横の矢印ボタンで「rC」に切り替え、「設定」ボタンを長押しします。
- 矢印ボタンをタッチして、リモコンチャンネルを変更します。
※最後の操作から30秒経過すると、自動終了して保存されません。
- 「設定」ボタンを短押しし設定を完了します。
- 「ON/OFF」ボタンを短押しし終了します。

リモコン送信機のチャンネルを切り替える

設定したリモコンチャンネルにリモコン送信機のチャンネル切替スイッチを合わせます。

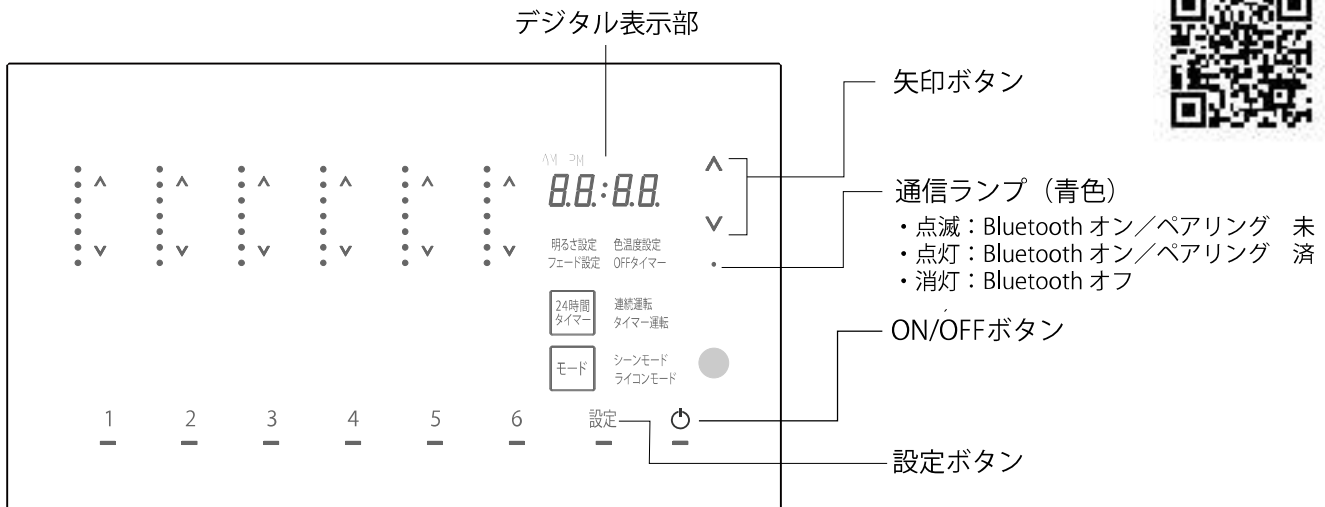
チャンネル切り替えスイッチはリモコン送信機の側面にあります。

チャンネル切替スイッチ



専用アプリとペアリングする

- この製品はBluetooth®機能を搭載した器具です。
- 専用アプリをご使用の場合は、二次元コードからサイトにアクセスしてダウンロードしてください。
- 1台の親器に対して、複数のスマートフォンを同時に使用できません。



お使いのスマートフォンのBluetooth®機器の設定方法に従い、Bluetooth®をONにしてください。

1

「ON/OFF」ボタンをタッチして電源を入れます。

2

「設定」ボタンを長押しします。設定ボタンとON/OFFボタンの下側がそれぞれオレンジ色と赤色に点滅し、デジタル表示部に「bL」が点滅表示します。

3

デジタル表示部横の矢印ボタンで「bL」に切り替え「設定」ボタンをタッチします。

3

デジタル表示部横の矢印ボタンで「bL: on」に切り替え「設定」ボタンをタッチします。通信ランプが青色に点滅します。

4

「ON/OFF」ボタンをタッチして、詳細設定を終了します。

アプリを起動し「検索を行う」を実行します。ペアリングが完了すると通信ランプが青色点灯に変わります。

【接続が解除される例】

- ・アプリダウンロードには別途通信料が発生します。
- ・ご使用の端末やご使用環境によっては、アプリが正常に動作しない場合があります。

<Bluetoothをオフにするには>

デジタル表示部横の矢印ボタンで「bL: on」に切り替え「設定」ボタンをタッチします。通信ランプが消灯します。

「ON/OFF」ボタンをタッチして、詳細設定を終了します。

<ペアリングを解除するには>

デジタル表示部横の矢印ボタンで「bL: on」に切り替え「設定」ボタンをタッチします。

「y」が表示されます。「設定」ボタンをタッチするとペアリングが解除され③に戻ります。

照明器具のランプ交換について

- 照明器具のランプ交換の際、ブレーカーによって機械的に電源を切ってから行ってください。
- ※ シーンコントローラーのON/OFFボタンで消灯状態にしても電源は切れていません。

⚠ 警告



機械的に電源を切らない場合、感電の原因となります。

故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
操作できない	電源が切れている。	電源を入れてください。
	照明器具のランプが切れている。	照明器具のランプを交換してください。
	キーロックが設定されている。	キーロックを解除してください。 (ボタンによる操作を無効にする P.16参照)
触ると熱い	表面温度は40℃ぐらいまで上がることがあります。これは正常です。	———
うなり音がする	本器はわずかにうなり音がします。これは正常です。	———
調光できない	負荷設定が間違っている。	照明器具によって設定が異なります。お買い上げの工事店等にお問い合わせください。
	調光できない照明器具を使用している。	お買い上げの工事店等にお問い合わせの上、照明器具を調光可能なタイプに交換してください。
		そのまま「ON/OFF対応」で使用してください。
あかりがちらつく	適合外の照明器具を使用している。	お買い上げの工事店等にお問い合わせの上、適合の照明器具に交換してください。
リモコンが操作できない	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換してください。
	チャンネル設定が間違っている	本器とリモコンのチャンネルを合わせてください。
消灯しない	OFFタイマーが作動中になっている。	OFFタイマーを解除してください。
	フェードタイムが長く設定されている。	フェードタイムを短く設定してください。
子器が操作できない	子器のキーロックが設定されている。	子器のキーロックを解除してください。
子器・ブースターの表示部が点滅している	本器との接続が間違っている。	本器との通信不良のおそれがあります。お買い上げの工事店等にお問い合わせください。

エラーコード	名称	エラー内容	処置
E:1	AC出力電流異常	過電流保護機能により、負荷器具への出力を停止しています。	定格を超えた負荷への接続や配線が短絡している可能性があります。ブレーカーを落とすなど本器への電源供給を停止したのち、接続状況をご確認ください。
E:2	PWM回路異常	PWM回路の短絡または接続台数を超過していることを検知したため、PWM出力を停止しています。	ブレーカーを落とすなど本器への電源供給を一旦停止したのち、PWM回路の接続状況をご確認ください。
E:3	通信異常(通信重複)	有線通信において衝突が発生しています。	シーンコントローラーIDの設定を確認してください。
E:4	伝送通信異常	有線通信において衝突が発生しています。	シーンコントローラーの伝送信号の配線状況をご確認ください。
E:5	内部温度異常	システム内部温度が高温となったため、負荷器具への出力を停止しています。	ブレーカーを落とすなど本器への電源供給を停止したのち、器具の設置状況をご確認ください。
E:6	ブースター動作異常	接続されたブースターに異常が発生しています。	異常がおきているブースターをご確認ください。
	親器ID重複	有線接続した親器どうしのIDが重複しています。	フロントパネルの設定「設定」ボタンで親器IDを変更してください。

ご使用に関して

周辺機器のノイズや障害物の影響を受けて正常に動作しないことがあります。

- 電波到達距離は、障害物のない水平見通し空間で約10mです。障害物や設置環境によっては電波到達距離が短くなったり、電波が弱くなったりします。
- 照明器具やスマートフォンなどのBluetooth®機器の近くで
 1. 携帯電話やPHS電話、スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器をご使用の時
 2. 直流電圧で駆動するベルやモーターをご使用の時
 3. 電子レンジなどの家電製品、無線LAN対応機器、パソコンやOA機器、その他2.4GHz帯の電波を使用する機器をご使用の時
 4. マイクロ波治療器をご使用の時
 5. 天井埋込形エアコンや天井吊りプロジェクターなどの金型製品を設置している時
- スマートフォンなどのBluetooth®機器と照明器具の間を、間仕切りなどで遮っている時
- スマートフォンなどのBluetooth®機器・照明器具の周りを、家具や金属製のキャビネット、パーティションなどで囲んでいる時
- テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域、または近くに各種無線局のある場所でご使用の時

【電波について】

本器の使用周波数帯域(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この器具から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止してください。

- 端末(スマートフォン、タブレット)の対応機種確認および専用アプリのダウンロードには別途通信料が発生します。

- 専用アプリは、iPhone用とAndroid™用があります。

- 対応しているスマートフォンでもお客様のご使用環境によっては正常に動作しない場合があります。

- 新発売のスマートフォンについては、対応確認に時間がかかる場合があります。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

※iPhoneは、米国および他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

※Android™はGoogle Inc.の商標、登録商標です。

※Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です

点検とお手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください。

- 明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

- ・正常に点灯しますか。
- ・壁面との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・パネル等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

※シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。

保証について

- この商品の保証期間は3年です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

※保証期間の例外

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

- 保証書について

保証書が必要な場合は、弊社「CSセンター」までお申し出ください。

- 補修用性能部品の保有期間

弊社は照明器具の補修用性能部品の、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

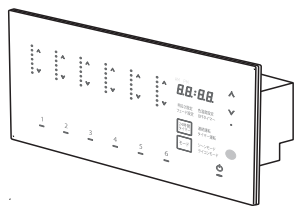
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品を維持するために必要な部品です。

商品についてのご相談

CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通) へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。

大光電機株式会社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F



(6回路シーンコントローラー 高機能タイプ)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。

お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

※施工手順

本体設置準備 ⇒ 負荷結線 ⇒ 本体設置 ⇒ 点灯確認 ⇒ 負荷設定

目次

はじめに

■安全上のご注意	P.S2
----------	------

シーンコントローラーについて

■仕様	P.S3
■接続できる照明器具(負荷)について	P.S4

施工について

■各部の名称	P.S5
■システム図	P.S6
■施工前の確認	P.S7
■施工上に関するお願い	P.S7
■配線図	P.S7～S10
■施工手順	P.S11
■点灯確認	P.S14

負荷の設定方法 **!** 正常に動作させるために必ず行ってください。

■負荷設定をする	P.S15
----------	-------

故障かな?と思ったら

ご使用に関して

安全上のご注意

必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下図は図記号の一例です。)

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。



してはいけない内容です。

警告

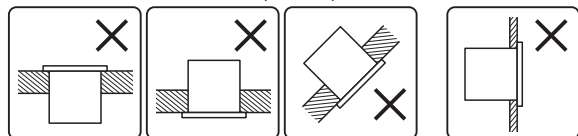
●取付面

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。

- 指定場所以外には取付けない
火災・落下の原因となります。
※この器具は壁面取付専用(埋込式)です。



厳守



- 取付面の強度を確保する
取付面が強度不足の場合、落下の原因となります。



水ぬれ禁止

- 湿気の多い場所や屋外では使用しない
火災・感電の原因となります。
※この器具は非防水です。

- 周囲温度 5～35℃以外では使用しない
火災の原因となります。

- ガス機器等の温度の高くなるものの近くに取付けない
火災の原因となります。

- 器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない
火災・感電・落下の原因となります。



禁止

- 最大負荷容量を超えて使用しない
発熱し、火災の原因となります。取付状態によって最大負荷容量が異なります。
下記の範囲内でご使用ください。
取付壁面断熱施工なし：6回路合計 900VA
取付壁面断熱施工あり：6回路合計 450VA
※1回路あたりの接続可能容量は「適合負荷について」(P.54)をご参照ください。

- 負荷側にコンセントを設置しない
発熱し、火災の原因となります。

- 負荷、配線を短絡させない
破損の原因となります。

●その他

- 取付けは器具本体表示または本説明書に従って確実に
取付けに不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

- 交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災・感電の原因となります。

- 曲がったり、傷ついたり、変色した電線を使用しない。
火災の原因となります。

- 電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

- LANケーブル・コネクタは最後まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災・操作不良の原因となります。

- 器具を壁面の造営材・ダクト等の設備に接触させない
火災・感電の原因となります。

- 屋内配線の電源・LANケーブル等は器具に接触させない
火災・感電の原因となります。

- 当社製適合照明器具を使用する

指定以外の照明器具と組み合わせて使用すると、火災・故障の原因となります。

※照明器具の注意事項については、照明器具の説明書をご確認ください。



分解禁止

- 器具の改造、部品の変更は行わない
火災・感電・落下等の原因となります。

注意

厳守

- 器具には寿命があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。
※目安として、使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間使用。
周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。



禁止

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付ける
乾燥が不十分な場合、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

- リモコンを落としたり、踏まない
故障の原因となります。

仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品名	6回路シーンコントローラー	
品番	DP-41924E / DP-41924BE	
定格電圧	交流 100V	
周波数	50/60Hz共用	
使用温度／相対湿度	5～35℃／40～85%RH	
回路数	6回路	
記憶シーン数	6シーン	
OFFタイマー	10・30秒・1・10・30・60分から設定	
シーン・回路の切替時間	0～60秒・2～99分の範囲で設定(初期設定2秒)	
負荷容量	断熱施工なし	900VA
	断熱施工あり(※1)	450VA
適合調光信号線(※2)		CPEV-1P ϕ 0.9～1.2(シールド付)
適合LANケーブル(※3)		カテゴリー5以上 STPケーブル ストレート(EIA/TIA-568B)

※1：接続負荷ではなく、本器取付壁面が断熱施工の場合です。

※2：1回路あたり最大100m以内で使用してください。

※3：総配線長50m以内で使用してください。

●スイッチボックス取付専用です。〔4個用スイッチボックス(カバー付)金属製〕

●適合照明器具専用です。

●子器、ブースターを使用する場合は、必ず適合子器、ブースターを使用してください。

＜適合部品(別売)＞

品名		品番
6回路シーンコントローラー子器		DP-41925E / DP-41925BE
6回路シーンコントローラー ブースター	逆位相制御・調色调光信号線不要タイプ	DP-41926E / DP-41926BE
	PWM制御・ON/OFF	DP-41927 / DP-41927B
	位相制御・調色调光信号線不要タイプ	DP-42053E / DP-42053BE

接続できる照明器具(負荷)について

- 接続する負荷によって負荷設定をする必要があります。
「負荷」とはシーンコントローラーに接続する照明器具のことを指します。
 - リモコン照明器具、センサー機能付照明器具、プルレス機能付照明器具は接続できません。
 - 1回路に違う種類の負荷を混在させないでください。必ず同じ負荷を接続してください。
(負荷の種類は下記をご参照ください。)
 - 他社製の蛍光灯、LED照明器具、電子トランスは接続できません。
 - 当社指定以外のLEDランプは接続できません。
 - シーンコントローラーの6回路総負荷容量は900VA(※450VA)までです。
(※取付壁面が断熱施工時の負荷容量です。)
 - 各回路に接続できる負荷容量は、種類により異なります。
- ※適合負荷はP.S4、負荷設定の方法はP.S15をご参照ください。

●負荷の種類

- L1：LED調光モード(逆位相制御)
- L2：白熱灯調光モード(逆位相制御)
- L3：ON-OFFモード
- L4：LED調光モード(PWM制御)
- L5：LED調光・調色モード(PWM制御)
- L6：LED調光・調色モード(信号線不要タイプ)

適合負荷

●接続する負荷によって負荷設定をする必要があります。

※リモコン照明器具、センサー機能付照明器具、プルレス機能付照明器具は接続できません。

※設定方法はP.S15をご参照ください。

断熱施工なし 6回路合計 900VAまで

負荷の種類	接続可能容量(1回路あたり)
LED(PWM制御 調色・調光タイプ)	器具台数10台(※)まで、但し300VAまで
LED(PWM制御 調光タイプ)	器具台数20台まで、但し300VAまで
LED(PWM制御タイプ)温調タイプ	器具台数20台まで、但し300VAまで
LED(信号線不要 調色調光タイプ)	1台～300VAまで
LED(調光タイプ)	1台～300VAまで
LED(非調光タイプ)	1台～300VAまで
LED電球タイプ	3灯～300VAまで
LED DECO-S	3灯～300VAまで
白熱灯	300Wまで

断熱施工あり 6回路合計 450VAまで

負荷の種類	接続可能容量(1回路あたり)
LED(PWM制御調色・調光タイプ)	器具台数5台(※)まで、但し200VAまで
LED(PWM制御調光タイプ)	器具台数10台まで、但し200VAまで
LED(PWM制御タイプ)温調タイプ	器具台数10台まで、但し200VAまで
LED(信号線不要 調色調光タイプ)	1台～200VAまで
LED(調光タイプ)	1台～200VAまで
LED(非調光タイプ)	1台～200VAまで
LED電球タイプ	3灯～200VAまで
LED DECO-S	3灯～200VAまで
白熱灯	200Wまで

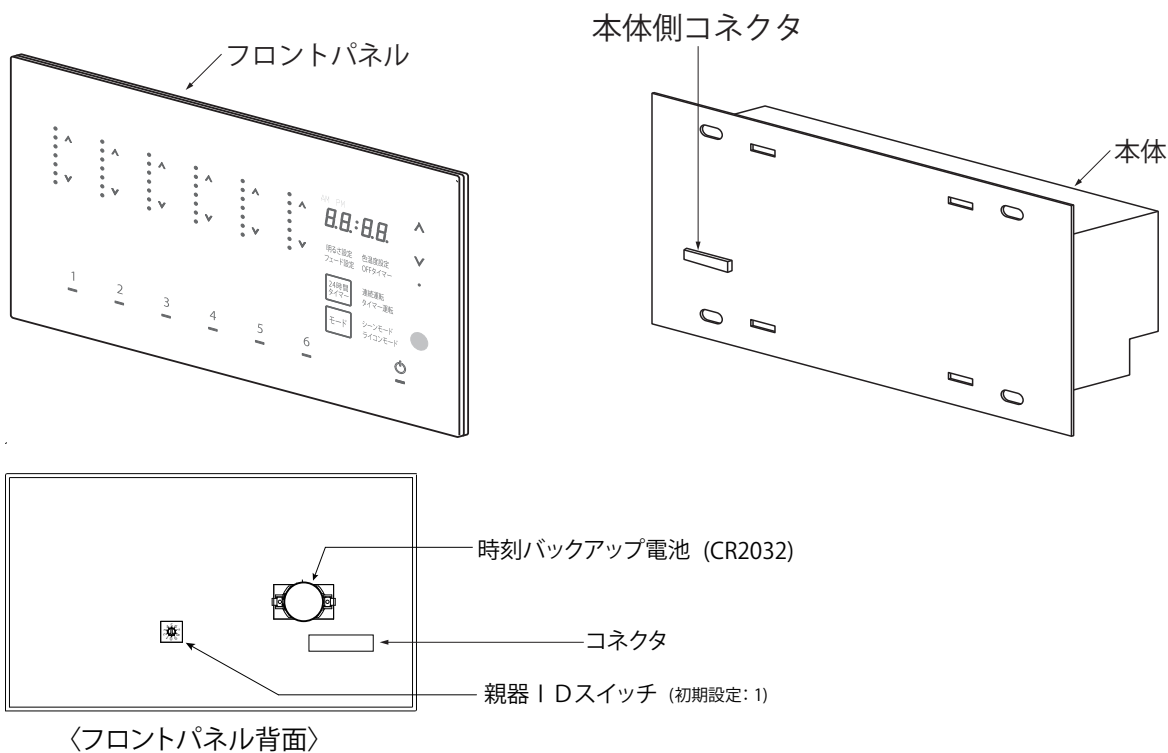
【LED信号線不要 調色調光タイプについて】

以下の動作になる場合がありますが、器具の仕様によるものであり、異常ではありません。

- ・シーン切替時に他の器具に比べて動作が遅い場合があります
- ・オフタイマー経過後、消灯するまで最大約8秒かかる場合があります。
- ・電源投入直後、負荷設定時に初期化動作(点灯→消灯)が実施されます。

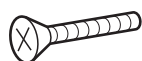
各部の名称

※下図は、簡略した図です。

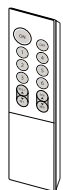


付属部品

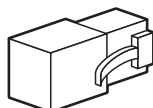
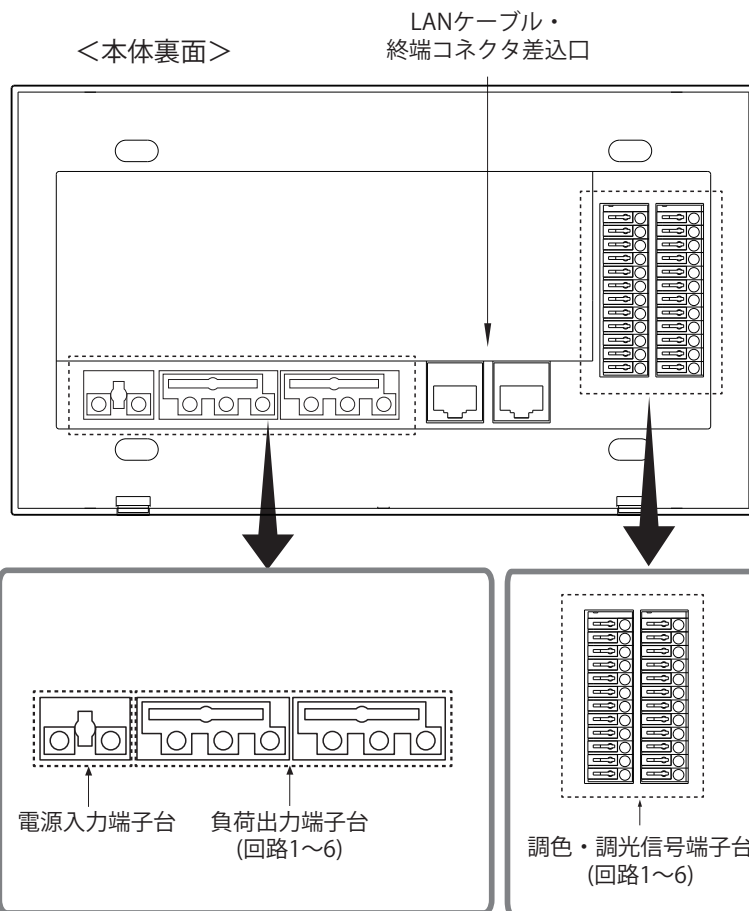
取付けする前にまず付属部品をご確認ください



☐取付ネジ(4本)

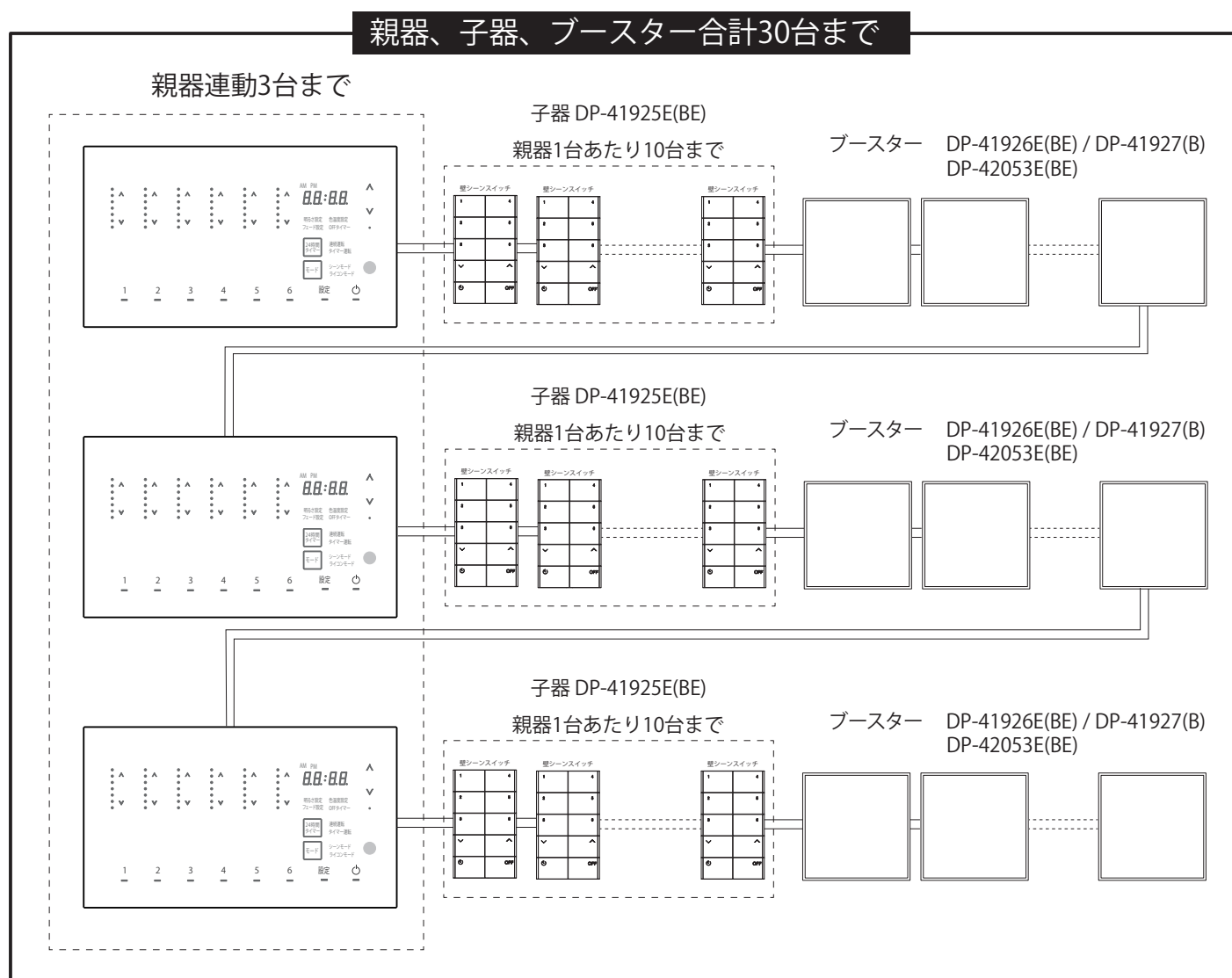
☐リモコン送信機☐ リモコンホルダー

☐ サラ木ネジ(2本)

☐ 単4形電池(2本)☐ 終端コネクタ(2個)

システム図

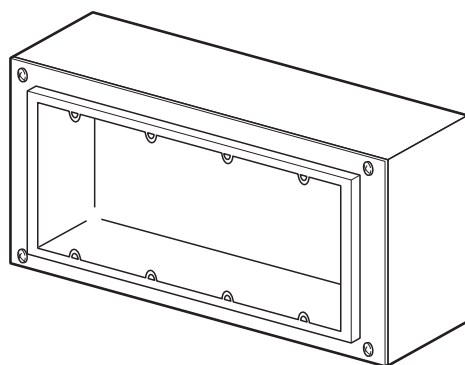
- 複数のシーンコントローラー(3台まで)をLANケーブルで接続してシーンを連動動作させることができます。親器の連動機能をご使用になる場合は、連動させるシーンコントローラーのID設定を行ってください。〔初期設定：親器（ID：1）〕※設定方法はP.514をご参照ください。
- 子器(DP-41925E(BE)(別売))は親器1台あたり10台まで接続可能です。
- ブースター(DP-41926E(BE)、DP-41927(B)、DP-42053E(BE))を使用することで、照明器具の接続台数を増設することができます。
- 1システムあたりの親器、子器、ブースターの最大接続台数は合計30台です。



- ・親器を連動させる場合は、親器ごとに重複しないようにID設定を行ってください。
- ・親器のID設定に合わせて、子器、ブースターのID設定を行ってください。詳細はDP-41925E(BE)、DP-41926E(BE)、DP-41927(B)の取扱説明書をご参照ください。
- ・正しくID設定を行わないと、正常に動作しません。
- ・4回路シーンコントローラー(DP-37643)と6回路シーンコントローラー(DP-39093)を混在して連動させることはできません。

施工前の確認

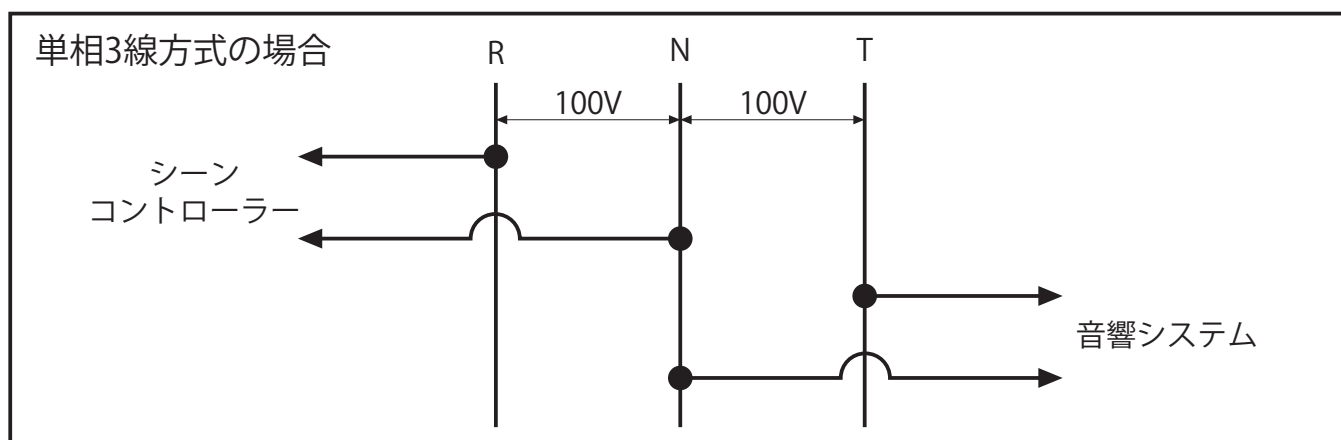
- 器具の取付けにはスイッチボックス(市販品)を使用してください。
- ※樹脂のスイッチボックスは使用できません。



4個用スイッチボックス(カバー付)
金属製

施工上に関するお願い

- 負荷出力は絶対に短絡させないでください。本器が故障する原因となります。
- 電源線、負荷線、調光信号線、LANケーブルの配線を間違えないようにしてください。本器、照明器具が故障する原因となります。
- 調光信号線はCPEV-1P ϕ 0.9~1.2(シールド付)を使用し、1回路あたり100m以内で使用してください。
- LANケーブルはカテゴリ5以上 STPケーブル ストレート(EIA/TIA-568B)を使用し、総配線長50m以内で使用してください。
- 本器は单相100V専用です。
- 本器は雑音防止装置を内蔵していますが、ラジオや音響システムに雑音障害を及ぼす場合がありますので、下記の対策を実施してください。
 - ※シーンコントローラーと音響システムは別の電源にしてください。または電源を別相にしてください。
 - ※シーンコントローラーと音響システムやアンテナ、配線、アース線とは1m以上離してください。
 - ※音響システムのアースを確実にとってください。



- 電源が单相3線式で、消費電力が1kw以上の機器がある場合は、その機器とは電源を別相にしてください。
- 電源波形にひずみが生じ、照明がちらつく場合があります。

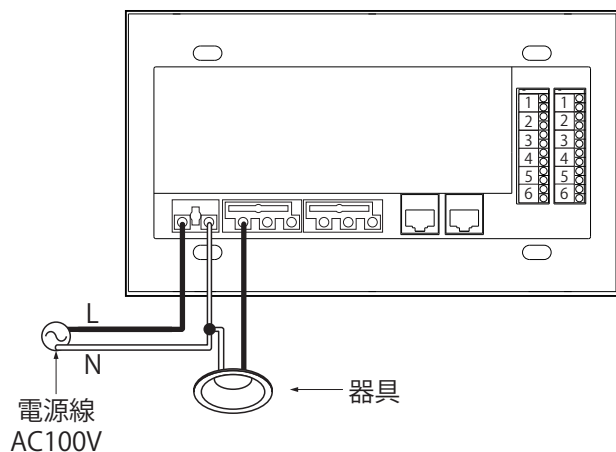
配線図

<LED調光(逆位相0制御)・(位相制御)>

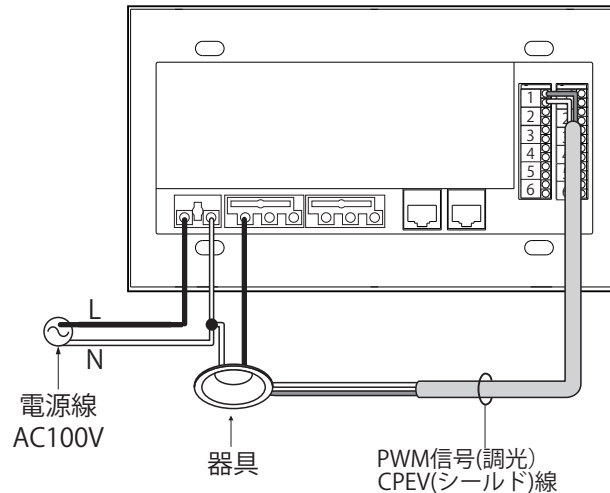
<白熱灯調光(逆位相制御)>

<ON-OFF>

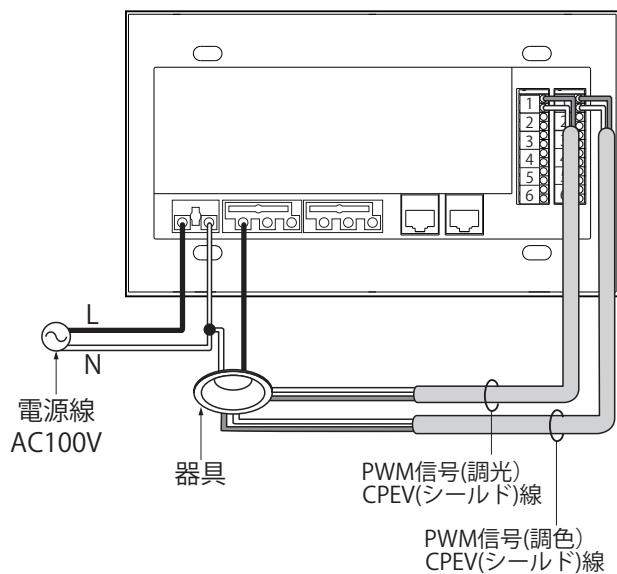
<LED調色調光(信号線不要タイプ)>



<LED調光(PWM制御)>



<LED調色調光(PWM制御)>



⚠ 警告

負荷側にコンセントを設置しないでください。定格負荷を超え、異常発熱や火災の原因となります。

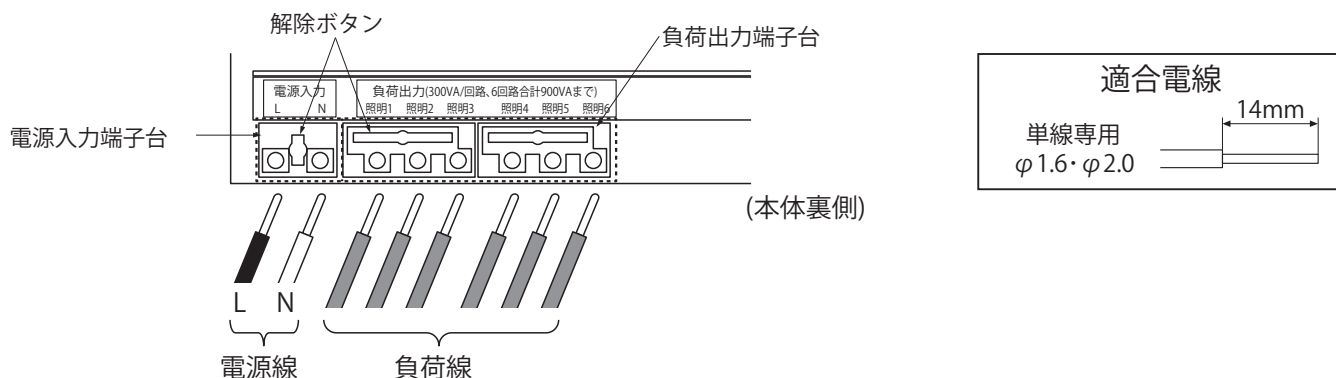
誤結線や負荷の両端を短絡させないでください。調光器内部の半導体が一瞬でこわれ、火災の原因となります。

施工手順

安全のため、電源を切ってから行ってください。

1 電源線・負荷線を接続する

- 電源線を電源入力端子台、負荷線を負荷出力端子台に適切、確実に差し込んでください。
- ※本器はニュートラル線が必要です。必ずニュートラル線を電源線のN側に接続してください。
- ※照明器具からのニュートラル線は外部で接続する必要があります。接続にはジョイントボックスを使用してください。(金属ボックス内で接続することはできません。)
- ※ニュートラル線は1ヶ所ですべて接続してください。外来ノイズによるちらつきの原因となります。
- ※配線についてはP.S8をご参照ください。

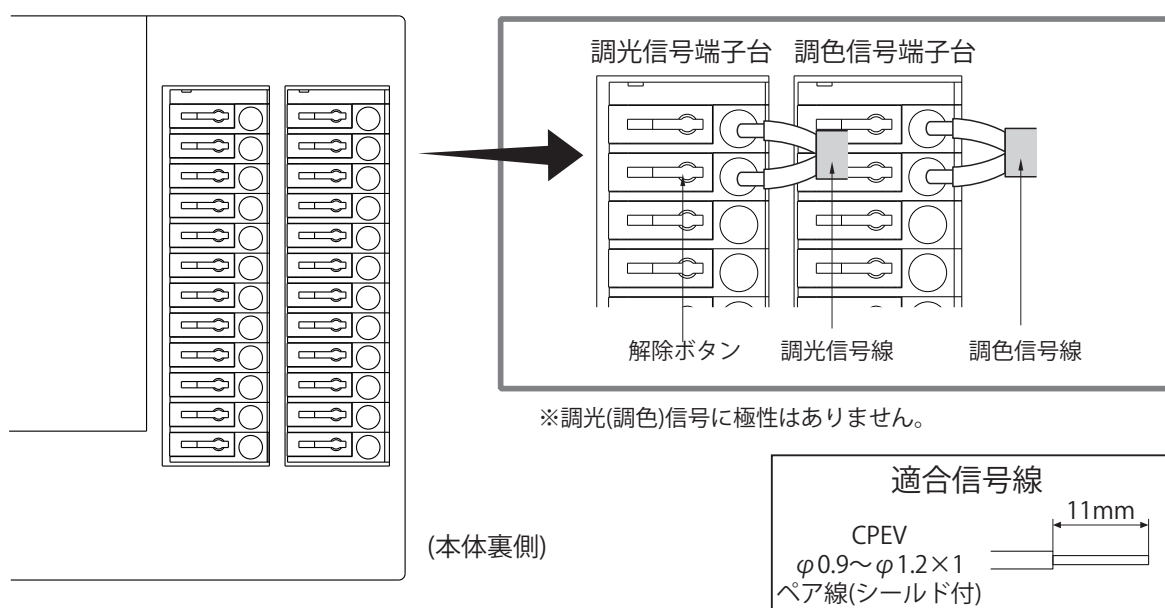


電源線・負荷線を取外す場合は、ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線・負荷線を引き抜いてください。

2 調光信号線を接続する

<LED調色調光タイプ(PWM制御)、LED調色調光タイプ(PWM制御)を使用する場合>

- 調光信号線を調光信号端子台に適切、確実に差し込んでください。
- ※調光信号線は1回路あたり100m以内にしてください。
- ※配線についてはP.S8をご参照ください。



調光信号線を取外す場合は、ドライバー等で解除ボタンを押しながら、調光信号線を引き抜いてください。

3) LANケーブルを接続する

＜シーンコントローラー、シーンコントローラー子器、ブースターを連動させる場合＞

●LANケーブルをLANケーブル差込口に確実に差し込んでください。

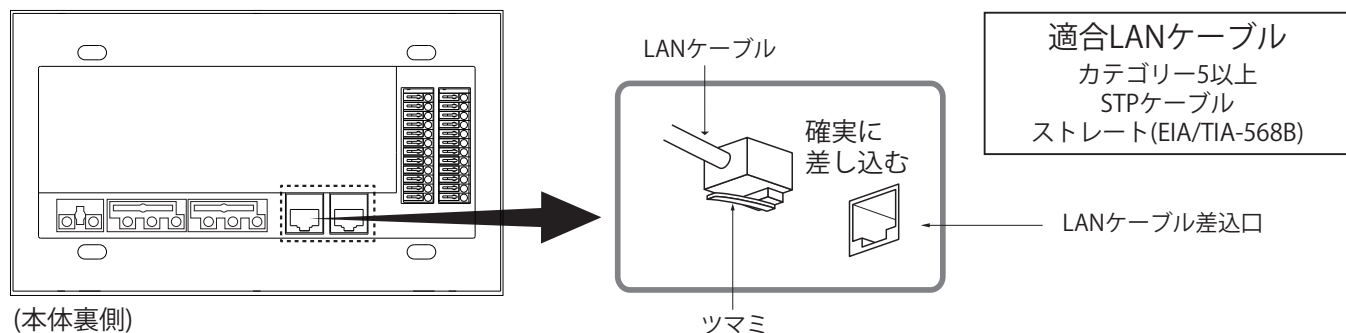
※LANケーブルは短絡させないでください。本器が故障する原因となります。

※LANケーブルの総配線長さは50m以下にしてください。

※LANケーブルはスイッチングハブ等で分岐させないでください。故障の原因となります。

※連動台数は、シーンコントローラー3台+シーンコントローラー子器10台までです。

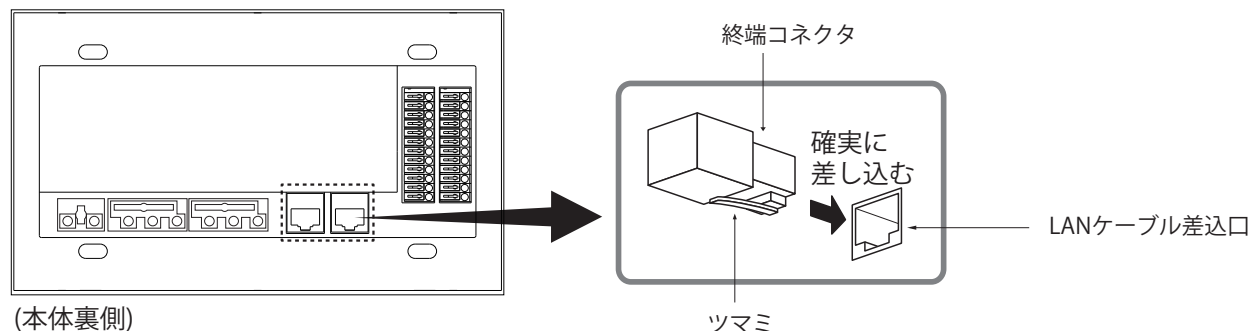
※LANケーブルは器具には付属していません。別途ご用意ください。



LANケーブルを取外す場合はツマミを押しながら引き抜いてください。

4) 終端コネクタを取付ける

●終端コネクタを使用していないLANケーブル差込口に確実に差し込んでください。

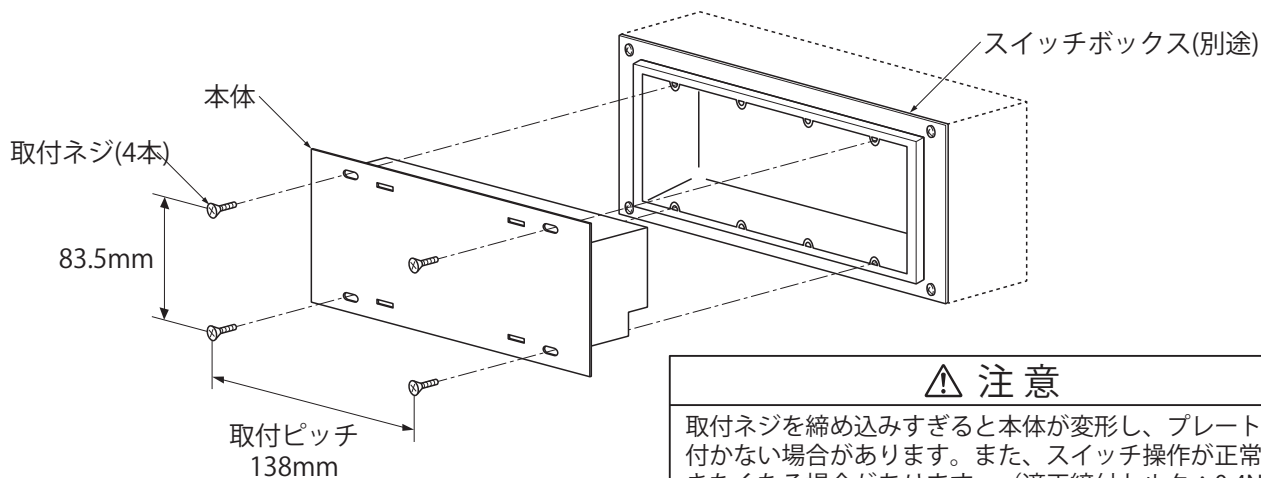


終端コネクタを取外す場合はツマミを押しながら引き抜いてください。

5 本体を取付ける

●本体をスイッチボックスに合わせ、取付ネジ(4本)で確実に締め付け固定してください。

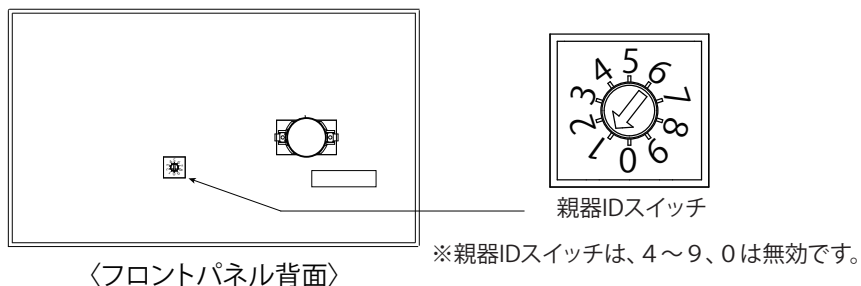
※スイッチボックスは器具に付属していません。別途ご用意ください。



6 親器IDを設定する（複数の親器を連動して使用する場合）

●フロントパネル裏面の「親器IDスイッチ」で、ID1～3に設定してください。（IDは重複しないようにしてください）

●親器IDスイッチでの設定は、通電前の1回のみ有効となります。通電後に親器IDを変更する場合は、フロントパネルで設定をおこなってください。

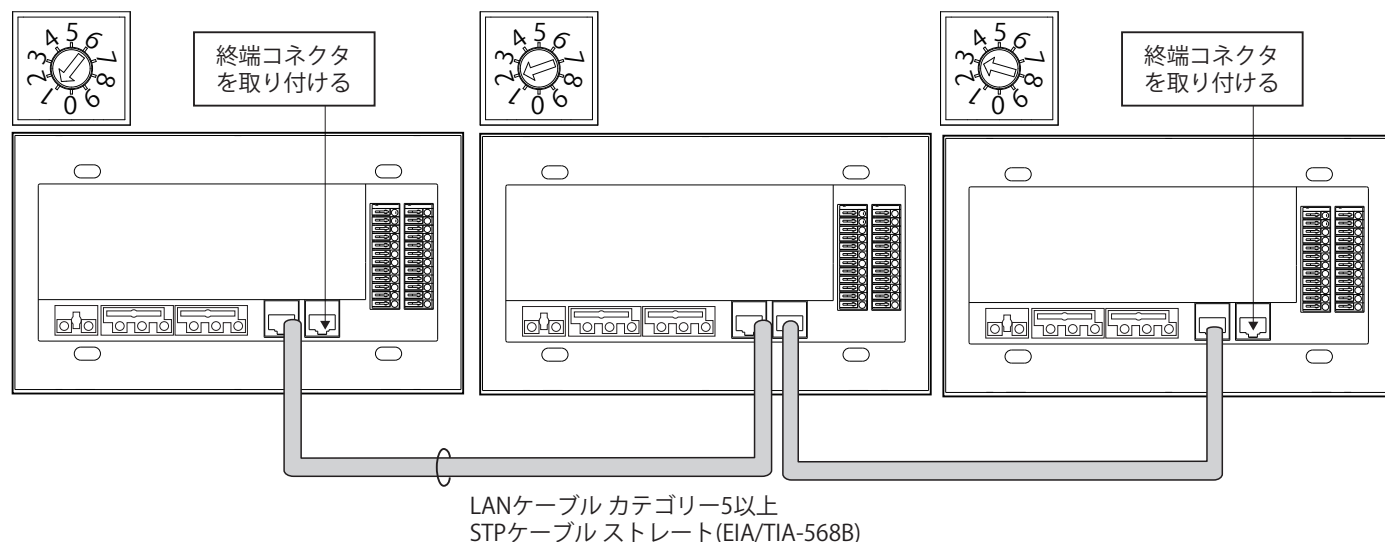


<例：親器3台を連動させる場合>

●親器IDスイッチを「1」に設定する。

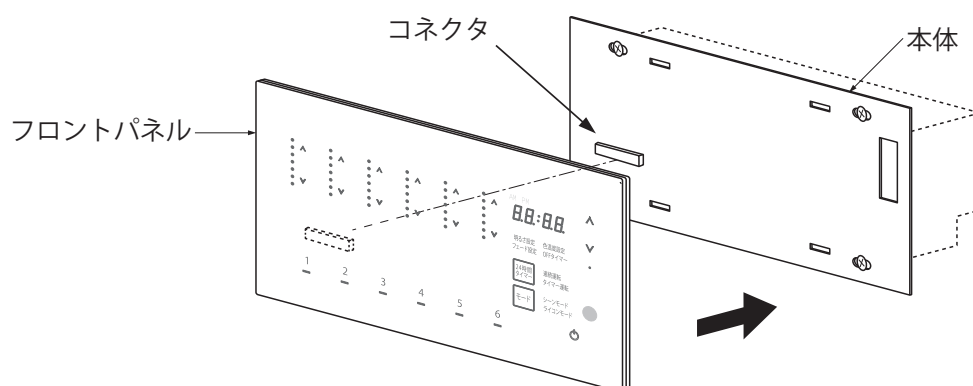
●親器IDスイッチを「2」に設定する。

●親器IDスイッチを「3」に設定する。



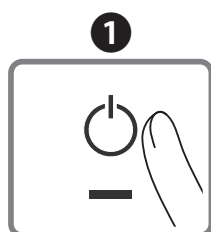
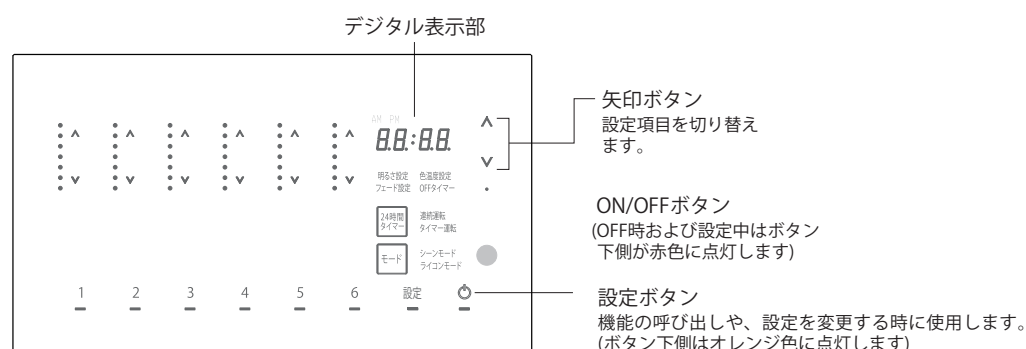
7) フロントパネルを取付ける

- フロントパネルのコネクタを本体側のコネクタに合わせ、確実に取付けてください。
※コネクタを破損させないようにご注意ください。

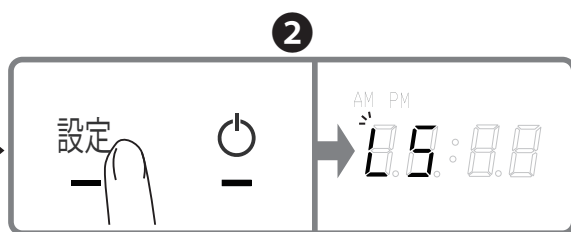


8) 親器 I Dを設定する（複数の親器を連動して使用する場合）

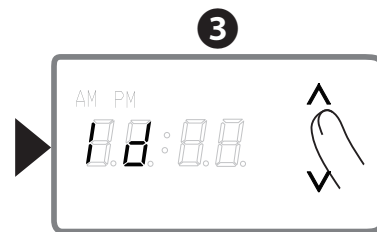
- フロントパネルから親器 I Dの設定・変更ができます。



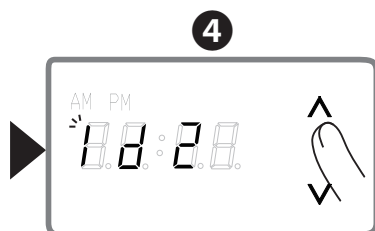
「ON/OFF」ボタンをタッチして、詳細設定を終了します。



「設定」ボタンを長押しします。設定ボタンとON/OFFボタンの下側がそれぞれオレンジ色と赤色に点滅し、デジタル表示部に「LS」が点滅表示します。



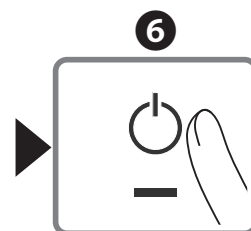
デジタル表示部横の矢印ボタンで「I d」に切り替え、「設定」ボタンをタッチします。



デジタル表示部横の矢印ボタンで設定を変更します。②に戻るときは「ON/OFF」ボタンをタッチします。



「設定」ボタンをタッチすると、変更が保存され、②に戻ります。

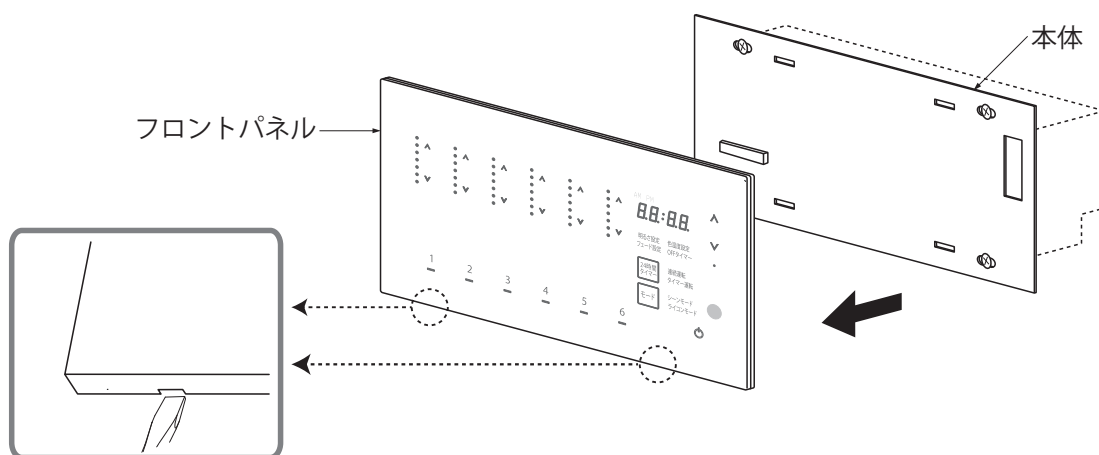


「ON/OFF」ボタンをタッチして、詳細設定を終了します。

9) フロントパネルの外し方

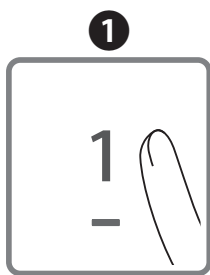
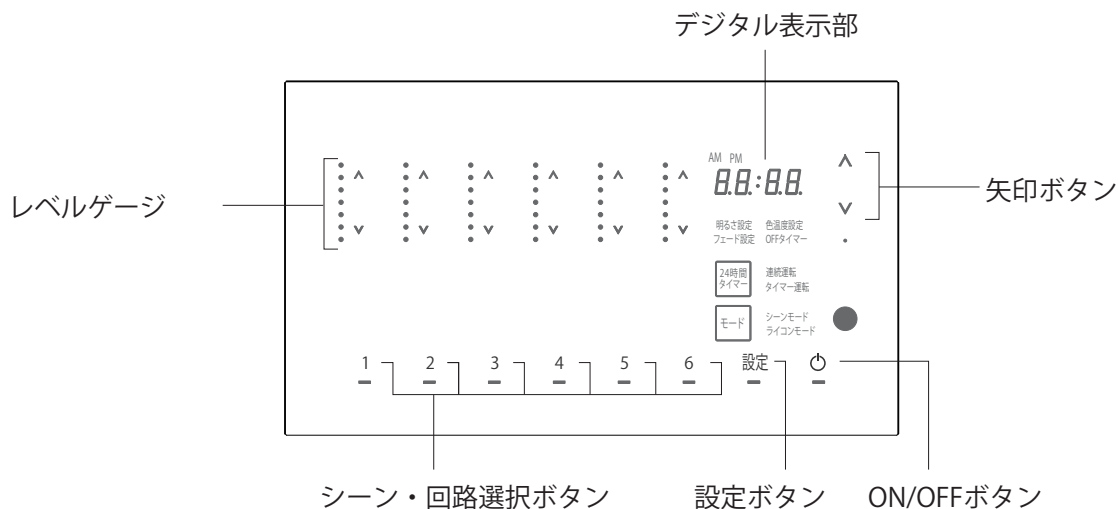
- フロントパネル下側の切欠（二か所）にマイナスドライバーを挿し込み、ドライバーを引き上げフロントパネルをまっすぐ取り外します。

※コネクタを破損させないようにご注意ください。

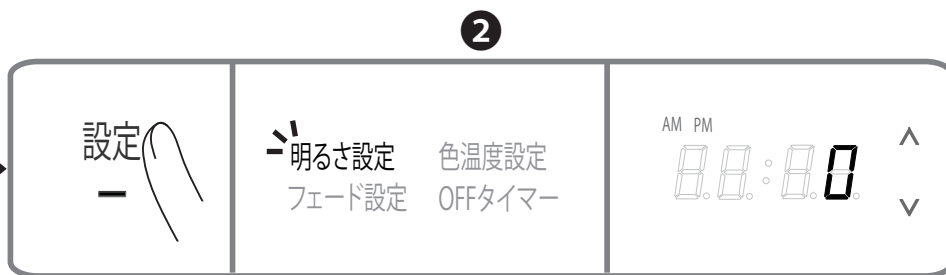


点灯確認

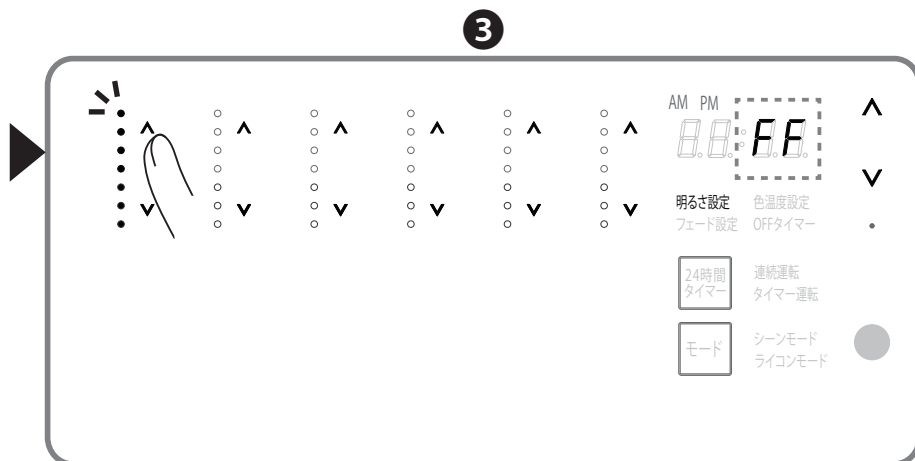
- 1回路ごとに照明器具の点灯が操作できることを確認してください。
(初期設定は 負荷設定：L3 (ON-OFFモード)、明るさ：0 です。)



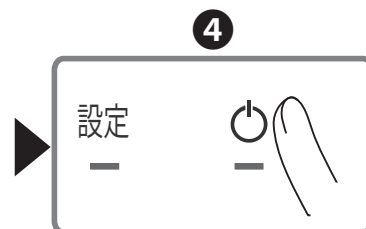
「1」～「6」ボタンいずれかをタッチしてください。



「設定」ボタンをタッチします。「明るさ設定」がオレンジ色に点灯します。



各回路(「1」～「6」)の矢印ボタンをタッチして、各回路に接続されている照明器具が点灯消灯できることを確認してください。
※100%点灯は「FF」と表示されます。

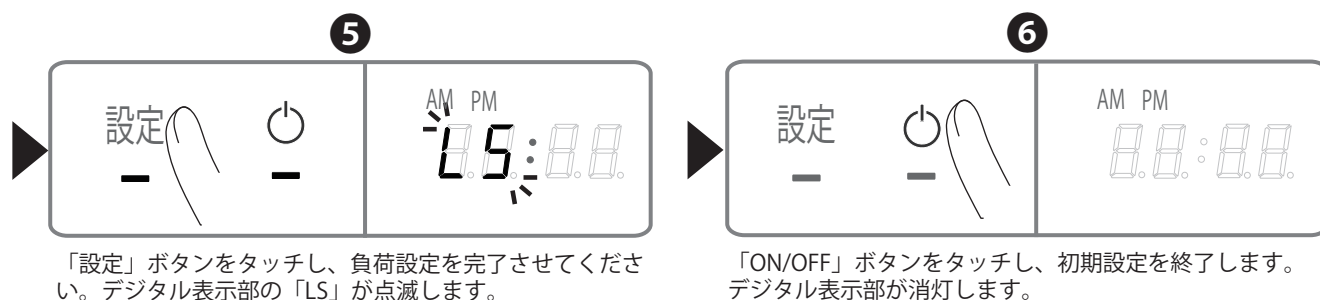
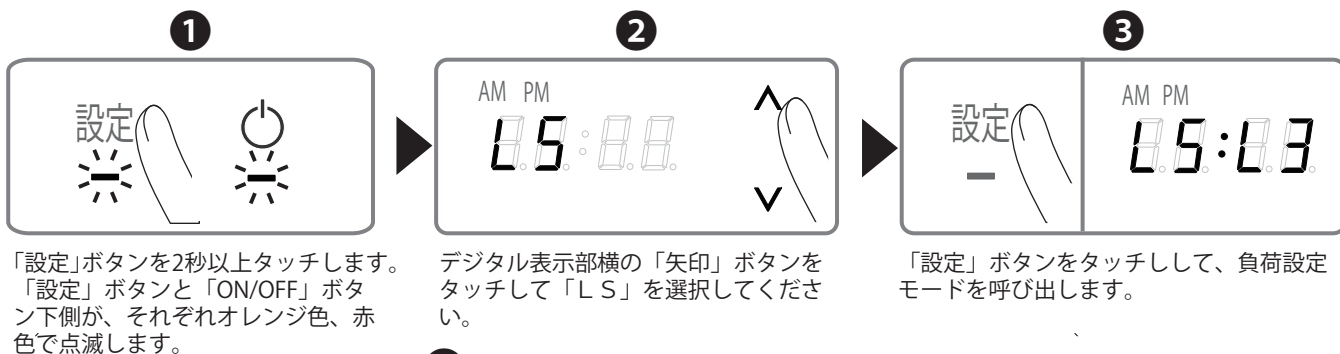
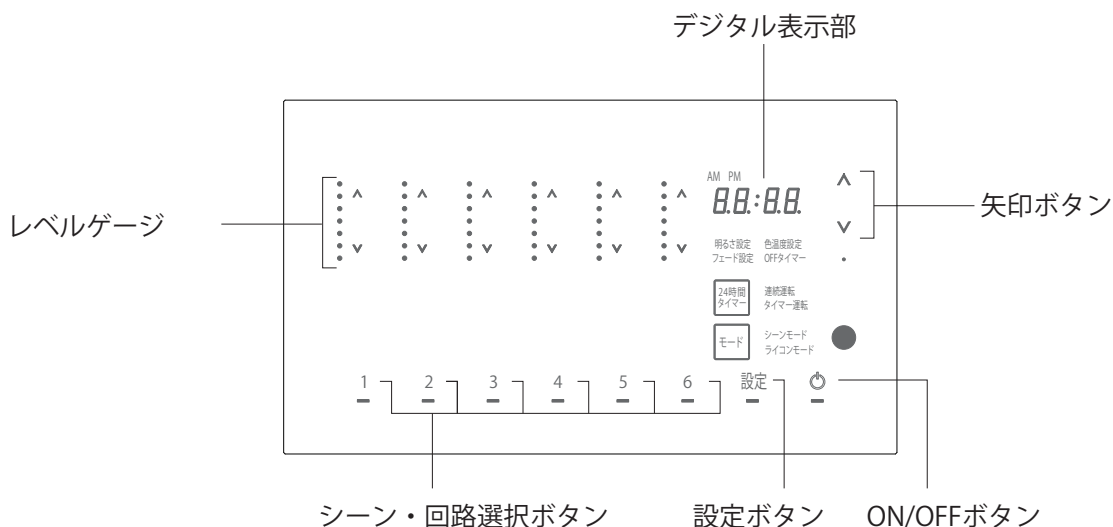


「ON/OFF」ボタンをタッチして終了します。

負荷の設定方法 ❶正常に動作させるために必ず行ってください。

負荷設定をする

- 各回路の負荷モードを設定します。
- 〔初期設定：L3 ON-OFFモード〕※負荷設定を正しく行わないと照明器具は正しく点灯しません。



故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
ボタン・表示部が点灯しない	電源線が正しく接続されていない。	電源線を確認し、正しく接続してください。
	電源線を誤って負荷出力端子台または調光信号端子台に接続している。	本器の安全機能が作動している可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
	負荷線を短絡させた。	本器が安全機能が作動している可能性があります。電源を切って確認してください。壊れている場合は交換してください。
操作できない	電源が切れている。	電源を入れてください。
	キーロックが設定されている。	キーロックを解除してください。 (取扱説明書 P.16参照)
LEDが調光できない	負荷設定が間違っている。	負荷設定をやりなおしてください。 (負荷設定をする P.S12参照)
LEDがちらつく	負荷設定が間違っている。	負荷設定をやりなおしてください。 (負荷設定をする P.S12参照)
	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。
	電源が単相3線の場合で消費電力が1kw以上の機器がある。	電源の相を分けてください。
子器が操作できない (子器のON/OFFボタンが点滅している)	子器のキーロックが設定されている。	子器のON/OFFボタンを7秒以上長押ししてキーロックを解除してください。
子器・ブースターの表示部が点滅している	信号線の断線または誤接続。	親器、子器・ブースターのLANケーブルを差し込みなおしてください。
		適合LANケーブルではない可能性があります。LANケーブルを見直してください。

エラーコード	名称	エラー内容	処置
E:1	AC出力電流異常	過電流保護機能により、負荷器具への出力を停止しています。	定格を超えた負荷への接続や配線が短絡している可能性があります。ブレーカーを落とすなど本器への電源供給を停止したのち、接続状況をご確認ください。
E:2	PWM回路異常	PWM回路の短絡または接続台数を超過していることを検知したため、PWM出力を停止しています。	ブレーカーを落とすなど本器への電源供給を一旦停止したのち、PWM回路の接続状況をご確認ください。
E:3	通信異常(通信重複)	有線通信において衝突が発生しています。	シーンコントローラーIDの設定を確認してください。
E:4	伝送通信異常	有線通信において衝突が発生しています。	シーンコントローラーの伝送信号の配線状況をご確認ください。
E:5	内部温度異常	システム内部温度が高温となったため、負荷器具への出力を停止しています。	ブレーカーを落とすなど本器への電源供給を停止したのち、器具の設置状況をご確認ください。
E:6	ブースター動作異常	接続されたブースターに異常が発生しています。	異常がおきているブースターをご確認ください。
	親器ID重複	有線接続した親器どうしのIDが重複しています。	フロントパネルの「設定」ボタンで親器IDを変更してください。

ご使用に関して

【周囲の影響】

- 本製品の近くでは、ラジオやテレビ等の音響、映像機器に雑音が入ることがまれにあります。
- ※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

【ご注意】

- 本製品に殺虫剤などをかけたり、水分を含む布などで拭かないでください。変質・変色、さびの原因となります。

保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は3年です。
但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日
20時間以上の長時間使用の
場合は、上記の半分の期間
とします。
2. 保証書について
保証書が必要な場合は、下記
「CSセンター」までお申し出
ください。
3. 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能
部品を、製造打ち切り後最低
6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を
有する代替品含む)とは、その
製品の機能を維持するために
必要な部品です。

安全点検のお願い

1. 明るく安全にご使用いただくために6ヶ月に1回、安全点検を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

- ・LEDが切れていませんか
- ・正常に操作できますか
- ・取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか
- ・異常な臭いや音、煙、発熱はありませんか

(2)清掃 (安全のため、電源を切ってから行ってください)

- 器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は速やかに電池を抜き、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。